言語学講義b：名詞句の意味論入門　シラバス

　　火曜4限

　山泉実 yamaizumi@lang.osaka-u.ac.jp

研究室：箕面802

授業の目的・概要　文中の意味機能という視点からの名詞句の意味論は、あまり広くは知られていないものの、今後の展開が期待される領域である。本授業ではこれまでの成果を概観し、今後の発展に寄与する準備を整えることを目的とする。

学習目標　名詞句の意味論の基本的な概念が理解でき、それを応用できる。応用例：あいまいな表現が原因によるミスコミュニケーションが起こった場合に、どうしてそれが起こったのかを説明できる。

履修条件・受講条件　特に無し。前期の言語学講義aの内容を知っているとなおよい。

**授業のやり方**

* 講義はYoutubeにアップロード（いつ見ても何倍速で見てもよい）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLL2tl_GIi-RKNpoV_yJ-nz-X16AiB5CbA>

**期末テストの週以外の授業時間：反転授業的なもの**

**授業前**　毎週あらかじめ次回の出題者を何人か指名。人数は履修者数による。

* **全員：テキストの該当箇所（下記）を読む。わからなかったら動画を見る。**
* 出題者：その回までの範囲で答えられる問題を１つ作って、CLEの掲示板に問題を投稿。同じ趣旨の問題を他の人が既に投稿していないか、投稿前に確認し、同じ趣旨の問題はなるべく避ける。例文はなるべく自分で作る。
  + 全然わからなくて問題が作れない人は、その回の範囲に関する質問を投稿するのでも結構。指名されてない人も聴きたいことがあったら質問を投稿。

投稿締め切り：前々日（日曜日）の23:59。

* **全員：授業までに問題を解いておく。**

**授業時間**　質問が投稿されていたら、まずそれに答える。山泉が答える前に適当に指名するので、受講者も質問の答えを考えてくる。  
次に、出題者が答える人を適当に指名して答えてもらう。→出題者が解説（単に答えを言うだけでなく、違う選択肢がなぜ間違いかなども解説）。  
必要があれば山泉が補足や訂正。  
**出題者：授業後に解説を投稿（良問は期末に出るかも？）。**

* CLE

https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/\_173224\_1/cl/outline

* 資料はこちらにアップロード

<https://bit.ly/20191001ka4> 　**配布資料はここから入手。**

授業計画　※受講者数、理解度等の不確定要因のために変更することがあり得る。

第1回/1st　ガイダンス、イントロダクション

第2回/2nd　教科書4章最初～4.3.2（を含む）まで　意味とは、曖昧と不明瞭

第3回/3rd　教科書4.3.5.1まで　名詞修飾の意味論

第4回/4th　教科書4.3.6まで　外の関係の名詞修飾、数量詞

第5回/5th　教科書4章終わりまで　名詞句の曖昧性

第6回/6th　教科書5.3.3まで　文構造・作用域のもたらす曖昧性

第7回/7th 　教科書5.4.3.2まで　名詞句の意味機能

第8回/8th　教科書5.4.4.2 (186)の前まで　コピュラ文の曖昧性

第9回/9th　 教科書5.4.5まで　存在文の曖昧性

第10回/10th　教科書5.5まで（5.6はとばす）　潜伏疑問文、変化文、変項の束縛

第11回/11th　教科書5章終わりまで　指示的不透明性、２階の変項名詞句

第12回/12th　教科書6.3.2まで　意味論・語用論の区別とウナギ文

第13回/13th　教科書6.4.4まで　do soテストと「良い」の曖昧性

第14回/14th　教科書終わりまで　語用論的操作への意味論的制約

第15回/15th

試験期間中　期末試験（オンライン。URLをCLEに掲示）

授業外における学習

教科書、参考文献を読む。日常の言語使用の中に授業で扱った現象を見出す。

CLEをチェック。質問・問題に答える。

教科書　今井邦彦・西山佑司. 2012. 『ことばの意味とはなんだろう：意味論と語用論の役割』岩波書店. ４～６章.

参考文献

西山佑司. 2003. 『日本語名詞句の意味論と語用論：指示的名詞句と非指示的名詞句』ひつじ書房.

西山佑司編. 2013.『名詞句の世界：その意味と解釈の神秘に迫る』ひつじ書房.

他、適宜指示する.

成績評価

期末テスト。担当の出題・質問。

~~20200921~~

~~課題　期末レポート（課すかどうかは履修者数が確定してから決定）~~

* ~~締切：2月2日16:40。ただし、第15回にピア・レビューをするので、それまでに一通り書く必要がある。~~
* ~~分量はA4 4～8ページ程度。選んだプラン（下記参照）も明記すること。~~

~~論文の書式も整えて、https://bit.ly/2QLPxYM にアップロードし、https://bit.ly/2POL6es でアップロードできているか確認。~~

* ~~Plan A：意味論・語用論に関連したテーマを自分で設定して自由に論じなさい。~~

~~対象とする言語は自由。複数の言語を取り上げてもよい。日本語・英語以外は例に日本語and/or英語の訳をつけること。~~

~~問い・答え・答えに至る論証の少なくともどれかに独自性があることが望ましい。~~

* ~~先学期の授業で研究計画書を出した者は、そこに書いたテーマでなくてもよいが、先学期の期末レポートと今学期の期末レポートの合計枚数がA4　8枚以上になるようにすること。~~

~~どうしてもできそうにない場合は以下のプランがある。~~

* ~~Plan B：意味論・語用論に関する同じ問いについて異なる見解を述べている複数の論文・研究書（それぞれ12ページ以上、入門書は不可）を比較し、問いと答え、それに至る論証の異同を論じる。~~
* ~~Plan C：20ページ以上ある意味論・語用論の研究論文や研究書（入門書は不可）の問いと答え、それに至る論証をまとめる。~~
* ~~（B/C/共通）疑問に思う所、おかしいと思う所、理解できない所は、わかったふりをせずにそのように書くこと。それ以上の自分の見解はあっても付け足し程度でよい。~~
* ~~ハンドアウトの~~**~~Q~~**~~はレポート・復習の参考になるかも。~~

**~~参　 考~~**~~CiNii 日本の論文をさがす　http://ci.nii.ac.jp/ja~~

第１回　イントロダクション

## 意味論と語用論：意味を扱う二つの分野

言葉で伝わるもの：意味

　意味論　文脈に左右されない符号化された意味を扱う

　語用論　話し手が伝えようと意図した意味を扱う

どこまでが符号化されているのかは、語用論をどう考えるかによる。

両者の関係・境界線についての意見も様々。

**本授業の分け方**

意味論：言語使用者の頭にある「辞書」と「文法」だけからわかる意味、文脈なしにその表現を見ただけで理解される意味を扱う。

語用論：それ以外の伝わった意味を扱う。

（詳しくは以下参照：【対照しない】第4回 指示参照ファイル理論の基盤【言語学研究A】 https://youtu.be/fY0ADQfwaW8）

1. 太郎：明日のパーティー行く？

花子：明日バイト！

意味論的意味　明日〈発話の日の次の日〉、バイト〈アルバイト〉

↓語用論的推論

語用論的意味

明示的意味〈花子は9月18日にアルバイトをする。〉

非明示的意味〈そのために、花子は同日のパーティーに行かない。〉

**語用論の問い**

「明日バイト」だけからなぜこれだけ多くのことが花子の意図した通りに伝わるのか

**様々な意味論**

形式意味論、認知意味論…この授業ではやらない。

扱う言語表現の種類

語彙意味論：名詞、動詞、形容詞といった内容語の意味

文法的意味論：時制やアスペクト、助詞・助動詞などの意味

この授業は名詞句の意味論

## 名詞句とは

名詞を中心としたまとまり。

品詞…辞書の中での分類。

句…文の中での構成要素。名詞句、動詞句、副詞句などなど。

名詞句：主語、目的語、補語、述語などになる。

1. この大学は　賢い学生が 多い。
2. My black cat ate the popular mouse.
3. 私の主人は、この猫だ。
4. John is a student of linguistics.　※名詞一つでも文の中では名詞句になる。

エクササイズ　名詞句に線を引きなさい

1. 「文形式の意味」を扱う意味論と、脈絡に左右されることに特徴をもつ「発話の意味」を扱う語用論
2. Should relevance theory analyse what is non-propositional, non-intentional but yet affects the eventual relevance?

## 授業で主にやる名詞句の意味論：N-意味理論

西山佑司の研究（１９８５年頃～）

・MITで1970年代に博士号。指導教官はKatz（哲学・意味論）

・ロンドン大学で８０年台始めに客員研究員。関連性理論を日本に紹介。

### 文献

* 2003年の『日本語名詞句の意味論と語用論：指示的名詞句と非指示的名詞句』
* 教科書の４章～６章
* 古稀記念論文集の『名詞句の世界』。2003年の後の展開。
* 『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』に載った論文

## 通言語的普遍性

関連性理論：基本的に言語に関わらずどの言語のコミュニケーションにもあてはまる。

名詞句の意味論：基本的にはどの言語にもあてはまる。言語ごとに関係する個別の形式は異なる。

## N-意味理論と担当者の関係

この枠組で研究していたが、近年、新たな理論（2020年度「対照言語学研究」）を構築中。

参 考 文 献

Jackendoff, Ray. 2012. *A User’s Guide to Thought and Meaning.* Oxford: Oxford University Press.

Sperber, D. and Wilson, D. 1995. *Relevance* (2nd ed.). MA: Blackwell.

西山佑司. 2003.『日本語名詞句の意味論と語用論：指示的名詞句と非指示的名詞句』ひつじ書房.

西山佑司. 2013. 「第II部 コピュラ文と名詞句の解釈　総論」西山編 2013: 159－165.

西山佑司編 2013.『名詞句の世界：その意味と解釈の神秘に迫る』pp. 407­­­­－­­­­­­­­430. ひつじ書房.

1. 研究成果を学ぶ　２．理論言語学とはどんなものか：理論で言語を分析　３．N-意味理論　 vs RFT

第2回　意味とは、曖昧と不明瞭

### はじめに：意味とは何をするものか(ジャッケンドフ 2012/2019：ch. 9)

関連性理論を前提とするなら、意味は心理的なもの。

(i) 意味は発音と結びつけられている。

《dog》―dog/dɑg/ 　《this》―this/ðis/　 φ―thit/ðit/

(ii) 文の意味はその部品の意味（と他のもの）から作られる。

文の意味はそれを構成する語の意味だけから成るわけではない。

1. a. The cat chased the dog. b. The dog chased the cat.

違いを生じさせているのは単語ではなく、文法構造（これも符号化されている）。

1. The it appears war lost is that.

それぞれの単語は意味があるけれども、文全体の意味がない。

→文法構造のレベルでの意味。

※文の意味は思考thought。概念と同様、言語に結び付けられていない思考もある。

(iii) 翻訳は意味を維持する。

dog→「犬」。(1)a→「猫が犬を追いかけた」。

語の意味、文の意味をその言語固有のものと考えると説明できない。

→語の意味、文の意味は基本的には言語中立的。

(iv)意味は言語を世界と結びつける：指示機能

1. これはあなたのペンですか？

意味は頭の中にある心理的なものなのになぜこれができるのか。要説明。

(v) 意味は互いに結びつく：推論機能

1. a. 太郎か花子が鍵を持っている。b. 太郎は鍵を持っていない。

→c. 花子が鍵を持っている。

1. a. John stopped smoking. → b. John has smoked before.
2. a. John is a dog. → b. John is an animal.

翻訳しても保たれるので、意味の性質。特に意味同士の関係。

(vi) 意味は意識awarenessから隠れている。意識できないunconscious

頭にあることで意識できることに意味は含まれていない。

唯一の例外は、言語表現が有意味か無意味か。例：this vs. thit、(1) vs. (2)

有意味と感じられるときでも、概念も思考も意識できない。

考え事している時に経験できるのは、思考が結びつけられている発音のイメージ。

発音という意味のハンドル使って推論や指示などの操作はできるが、ハンドルの先にある概念や思考は意識できない。→言語がないと思考の存在を意識できない。

※思考と思考を比べた結果も意識できそう。

1. The dog was chased by the cat.

「概念構造が世界の中の何かの記号だとか表示だとかということ，つまり，何かを意味するのだということを明確に否定しないといけない．むしろ，概念構造こそが意味なのだと言いたい．概念構造は，推論や判断を助けるなど，まさに意味がするはずのことをするのである．すると，言語が意味をもつのは，概念構造と結びつくからだということになる．」（ジャッケンドフ 2002/2006: 360–361）

# 第４章　語や句の曖昧性はどこからくるか

### 4.1　曖昧性とは何か

曖昧なambiguous表現：複数の意味が対応する形（語、句、文、（形態素））

曖昧であるとわかるためには、当該言語の知識を有していなければならない。

###### 日本語の例

1. おかしい　①面白い　②変な
2. 曖昧な語の例：　　　　　　　　　　①　　　　　　　　　②
3. 良寛さんが好きな子供たち　①the children whom Ryokan likes

② the children who like Ryokan

1. この曖昧性をどうやって説明するか？
2. 曖昧な句の例：　　　　　　　　　　　　　①

②

1. 花子の欲しいものがない。　① Hanako wants nothing.　② We can’t find the thing Hanako wants.
2. この曖昧性をどうやって説明するか？
3. 曖昧な文の例

①

②

###### 英語の例

1. ball　①ボール　②舞踏会
2. 曖昧な語の例：　　　　　　　　　　①　　　　　　　　　②
3. The boy is ready to eat.　①その坊やは、いつでも食事ができる状態にある。

②いつでもその坊やを食べることができる。

1. この曖昧性をどうやって説明するか？
2. 曖昧な句の例：　　　　　　　　　　　　　①

②

1. The door was unlocked.　①ドアは鍵がかけられていなかった。②ドアは鍵があけられた。
2. この曖昧性をどうやって説明するか？ 真理条件は同じか？
3. 曖昧な文の例：

①

②

1. 曖昧性はなぜ重要か？

意味は意識できない。(ジャッケンドフ 2012/2019、意味の無意識仮説)

→意味について論じる際、結局は意味の表示の仕方が問題。

ある表現の１つの意味はどのようにでも表示できて、どの表示がよいのか不明。

意味の点で特徴のある表現の意味をどう表示するべきかを検討。

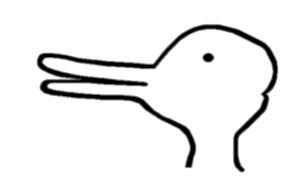
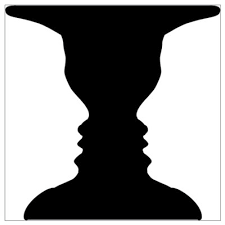
曖昧な表現：複数の意味を表示仕分けて、曖昧性を説明。

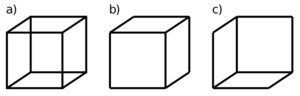
説明の際、意味に関する知識など人間の認知について言及する必要。

「言語表現の曖昧性を説明する理論は必然的に言語知識のメカニズムの問題にコミットする」（西山 2011: 138）

「表現の曖昧性の要因を解明することは、とりもなおさず、表現の意味を決定する言語知識(人間の心に内在している対象認知のシステム)の解明につながる」。

（教科書 p. 89）

**言語以外の曖昧性（**ジャッケンドフ 2012/2019**）**

https://grey.colorado.edu/mediawiki/sites/CompCogNeuro/images/thumb/d/de/fig\_necker\_cube.png/300px-fig\_necker\_cube.png

https://nomadwarmachine.files.wordpress.com/2013/10/duck-rabbit-orig.jpg?w=640

https://encrypted-tbn2.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcTXsjAcmxSZpn2YgtnLEZdxGYEOYWEF03Ps25Qo5cko7\_x6fqfM\_w

視覚的な入力は１つ。それに与える意味（空間構造）が２つ。

曖昧な言語表現と同様、片方の解釈を選んだらもう片方の解釈は抑制される。

なぜ複数の意味が与えられるのか？ なぜ同時に複数の解釈を取れないのか？

### 4.2　語はどこまで曖昧か

**多義polysemyと同音異義homonymy**

###### 同音異義の例

1. かみ ①髪　②紙　③神　④加味
2. かがく　①科学　②化学
3. rare　①まれな　②生の
4. bank　①土手　②銀行
5. かわる　①変貌する　②交代する

※？対象がもとのままでなくなるというような共通の意味？

1. pole ①棒　②極　※棒の中で目に付く端が極？

###### 多義の例

[1]おかしい　①面白い　②変な

変だから面白いというような因果関係・相関関係？

1. 勉強する　①学習する　②商人が努力して値引きする
2. 謝意　①感謝の気持ち　②お詫びの気持ち
3. bachelor ①未婚男子　②学士　③（他の騎士に従う）若い騎士　④（繁殖地に入れない）若い雄のオットセイ
4. これらの意味の関係は？

###### 多義性の知識の重要性？ （興味のある人は平沢 2019: 1章参照）

多義と同音異義の区別は理論的には明確なものではない。

古い時代の日本語をよく知っている人にだけ多義に感じられるもの。

多義と感じている人と感じていない人の間でコミュニケーションに支障はない。

同音異義だと思っていても問題なく複数の意味を使えるのであれば、多義性の知識は、言語使用を可能にする知識という意味では言語知識ではない。

1. 湿気；しけった煎餅；しけた面；海が大時化だ

###### 曖昧性と不明瞭性

曖昧性：コード化された意味が別。意味論の概念。

不明瞭性：コード化された意味は一つだが、語用論的解釈は区別しようとすればできる。語用論の概念。

1. 太郎は医者だ。①内科医　②外科医　③歯科医　④精神科医　⑤眼科医　⑥獣医

どれも《病気になった人や動物を治すことを仕事とする職業》曖昧ではない。

→複数の解釈が可能でも、それが必ずしもコード化されているわけではない。

1. 太郎：医者と結婚して一生研究だけして暮らしたい。
2. （飛行機の中で）どなたかお医者さんはいらっしゃいますかー？

意味論のレベルで語の意味を①～⑥まで特定化する必要はない。

医学の専門分化に伴って「医者」の語の意味が増えると考える必要はない。

1. 隣人neighbor　①向かいに住んでいる人　②左隣に住んでいる人　③右隣に住んでいる人　④（マンションの）真上に住んでいる人
2. 義姉　①兄の妻　②配偶者の姉　③父と前妻の間にできた、自分より年上の娘

###### エクササイズ　不明瞭な語の意味を分けて特定化しよう

1. brother　①　　　　　　②　　　　　　　③
2. 腕　　　 ①　　　　　　　　②　　　　　　　　　　③
3. あける　①ドアを　②カーテンを　③口を　④封筒を　⑤巻物を　⑥ビンの蓋を　⑦穴を　⑧道を　⑨本を　⑩洗濯物を

###### エクササイズ　エクササイズ　最初の言語表現の意味はどのように分類すべきか？どの区別が曖昧？ どの区別が不明瞭？ 例 bank ①中央銀行、②普通銀行、③土手　 答え：①②の区別は不明瞭、①②と③は曖昧

1. 彼　①太郎　②ジョン　③boyfriend
2. かえる　①frog　②toad　③hatch　④return　⑤exchange　⑥change　⑦afford

不明瞭か曖昧かは、意味論と語用論の両方が関わる問題。

1. ワイシャツができましたよ。

①《ワイシャツが仕立てあがりましたよ》

②《ワイシャツのアイロンがけができましたよ》

③《ワイシャツのクリーニングができましたよ》

④《ワイシャツのボタン付けができましたよ》

①：《無から～を完成する》という意味の「できる」。「俳句ができる」と同様。②③④：～の存在は前提とされ、《その～について、φができた》という意味。

（φは変項で、コンテクストから埋めて解釈（飽和という語用論的プロセス））

語用論によって、曖昧かどうかという意味論的な区別がつけられる。

「どこからが意味論の問題でどこからが語用論の問題であるかはもちろん、アプリオリに決めるわけにはいかず、むしろ妥当な意味理論と妥当な語用理論を構築する過程で言語理論全体のなかで自然に決まるもの」

###### エクササイズ　曖昧？不明瞭？

1. 「タブレット」：錠剤、iPadみたいなもの
2. 「先生」：教員　弁護士　国会議員
3. 「本」：「この本《内容》は面白い」「この本《冊子》はカビが生えている」
4. 「ボール」：「ロナウドがボール《サッカーボール》をゴールに蹴り込んだ」「イチローがボール《野球のボール》を打った」

### 4.3　語と語の緊張関係にいかなるものがあるか

そもそも語と語の意味的な結びつき方はどのようなものか。

名詞句：中心となる名詞（＋それを前から修飾する語）

1. a. 突然 動く b. とても 美しい c. かなり 突然
2. あの（指示詞） 3匹の（数量詞） 吠える（動詞） 白い（形容詞） 太郎の（名詞＋の） 犬
3. 日本語で修飾語が被修飾語の後ろに来るものはあるか？

名詞の修飾語を２分：後者の方が名詞と密接に結び付く（教科書(16)）。

指示詞：あの　例の　その　この　ある

数量詞：３冊の　8人の　２台の　4軒の　1リットルの　100グラムの

副詞＋の：突然の　あいにくの　たびたびの　まったくの

名詞＋の：太郎の　画家の　今朝の　この芝居の　友人の　象の

形容詞・形容動詞：難しい　勤勉な　良い

動詞：騒いだ　捨てる

#### 4.3.1　指示詞＋名詞

1. あの女性　例の手紙　その本　この書類　ある事件

指示的名詞句（世界の中の対象を指示する機能を持つ）としてしか解釈できない。

→叙述名詞句（指示的ではない）の機能を果たさない。

1. 私の同居人は若い女性だ。（措定文）
2. これは古い手紙だ。（措定文）

措定文の読み：Ａの指示対象にＢ（叙述名詞句）の表す属性を帰す。

1. 私の同居人はあの女性だ。（倒置指定文）

×《私の同居人は、あの女性という性質をもつ》（措定文の読み）

○《私の同居人は誰かといえば、あの女性にほかならない》（倒置指定文の読み）

※同定文については、まだよく解明されていない。

1. なぜ[指示詞＋名詞]タイプの名詞句は、叙述名詞句の機能を果たさないのか？

#### 4.3.2　副詞＋の＋名詞

副詞は本来、述語を修飾する。（典型的には動詞によってあらわされる）行為や出来事を表す名詞を修飾できることもある。

1. 突然の辞任表明　あいにくの雨　たびたびの失言　まったくの嘘

行為や出来事を表さないとダメ。

1. ?突然の本　?まったくの詩　?たびたびの机

行為や出来事を表せばなんでもよいわけでもない。

1. ?まったくの辞任表明

###### 参考文献

Jackendoff, Ray. 2012. *A User’s Guide to Meaning and Thought.* Oxford: Oxford University Press.

ジャッケンドフ, レイ. 郡司隆男訳. 2002/2006. 『言語の基盤：脳・意味・文法・進化』岩波書店.

西山佑司. 2011. 「曖昧表現からことばの科学を垣間見る」大津由紀雄編『ことばワークショップ―言語を再発見する』pp. 135–180. 開拓社.

平沢慎也. 2019. 『前置詞byの意味を知っているとは何を知っていることなのか: 多義論から多使用論へ』くろしお出版.

第３回　名詞修飾の意味論

#### 4.3.3　名詞＋の＋名詞

２つの名詞は厳密には名詞句で、「NP1のNP2」全体も名詞句。

1. 「NP1のNP2」のNP1とNP2の意味関係にはどのようなものがあるか？

##### タイプA

1. 太郎の車　ピアノの音　頭痛の薬　女性の傘

不明瞭で、いろいろ解釈できる

1. 《太郎が所有している車　太郎が運転している車　太郎が後部座席に座っている車　太郎が買いたがっている車　太郎が販売している車　太郎が塗装している車　太郎が修理している車　太郎がデザインした車　太郎がトランクに押し込められている車　太郎がCMに登場している車　　　　　　　　　　　　　》

曖昧ではない。曖昧な場合は１つの解釈しか選べないが、不明瞭な場合は複数同時に成り立つ。

1. NP1（太郎）と関係Rを有するNP2（車）

異論は、授業のフォルダの中の「自由拡充」というサブフォルダ参照。

エクササイズ　どんな解釈？

1. 傘さし運転の女性の傘が目に刺さり、今でも障害が残っています。子どもながらに何が起こったかわからない衝撃と激痛が走りました（ララさん・男性）.

www.alsok.co.jp/person/votingresults/29.html

##### タイプB

1. 画家の花子　病気の母　女性の運転手　コレラ患者の学生　危篤の父　重症の国王

どの例も「の」を「である」で置き換えられる。NP1はNP2の有する属性を表示。

1. NP1は叙述名詞句。では、NP2はどうか？

NP1は述語→全体として連体修飾節構造

1. 《[x*i*は画家デアル]花子*i*》

連体修飾節は文の形と密接な関係があると想定。

x：密接な関係にある文において被修飾名詞が占めるところ。

*i*：両者が同じ。

NP1とNP2の関係に関しては語用論的に解釈を豊かにする余地はない。

1. 《αの》妹の花子
2. バケモノ\*のイチロー

NP1に数量詞・指示詞を付けられない。（タイプAの読みなら可能。）

1. ?すべての病気の母　?[３人の女性]の運転手　?[大部分のコレラ患者]の学生
2. [あの重症]の国王　[例のコレラ患者]の学生

教科書の説明：数量詞・指示詞が付くと指示的でなければならないが、NP1は叙述名詞句だから非指示的。※本当に付けられない？

担当者の説明は第13回の対照言語学研究の動画参照。

1. 3錠の飲み薬の試供品

##### タイプC

1. 今朝の太郎　子供のときの雪舟　着物を着たときの母　大正末期の東京

NP1：時間上の特定の位置を指示し、NP2の指示対象の時間の流れのなかで、NP1の時間上の位置を占めている限りの断片を切り取るという仕方で制限。

NP2：対象指示の名詞句、例えば固有名詞。

固有名詞：修飾語がつくと、普通非制限的。このタイプではそうではない。

西山（2013: 8章）：

1. あの時の横綱
2. 当時のトップアイドル

「副詞＋の＋名詞句」であって、「NP1のNP2」ではない。

根拠の１つ：副詞が前置できる

1. あの時、横綱は貴乃花だった。

同様の前置はタイプCでもできる。

1. 今朝、太郎は目つきが違った。

したがって、タイプCも同様に分析できる可能性が高い。

##### タイプＤ

1. この芝居の作者　正夫の妹　『三四郎』の作者　豊臣の敵　父の先輩　マラソンの優勝者　披露宴の司会者　花子の欠点　帝銀事件の犯人　カキ料理の本場　父の癖　この仮説の前提

NP2：非飽和名詞（を主要部とするNP）。名詞の意味から要求される、名詞と結合する変項（パラメータ）を持ち、その値が固定されない限りそれ単独では外延を定められない。

（←→）飽和名詞：それ自体で意味が完結。ある対象がその名詞の属性を満たすかどうかを自律的に定めることができる。

例　作曲家　作曲者

1. あなたは作曲家ですか？　—はい／いいえ。
2. あなたは作曲者ですか？　—何の？
3. ある種の作曲家／?ある種の作曲者

飽和・非飽和の区別は名詞の辞書記述の中でなされる。

###### エクササイズ　飽和名詞と非飽和名詞を分けよう

会社員　社員　張本人　本屋　音楽家　演奏家　演奏者　殺し屋　犯罪者　婚約者　妻　先妻　未亡人　寡婦

「夫が存命か否かがこれらの名詞の飽和性を決定する必然的な理由は考え難い。おそらく、飽和名詞と非飽和名詞の区別は、非言語的・認知的な捉え方のレベルに還元しきれないもので、そのレベルで飽和名詞と非飽和名詞の違いを捉えることは難しいだろう。つまり、飽和／非飽和の区別は究極的には慣習によって決まっていると考えるしかないようなもので、純粋に言語的意味のレベルでなされるものであろう。」山泉 2013: 15

パラメータに対する制約も語彙意味論。

作曲者：曲　犯人：事件　演奏者：曲　子：親

###### エクササイズ　非飽和名詞？だとしたらパラメータはどんなもの？

社員　メッカ（比喩的な意味で）　天敵　天才　当事者　前日　\*　弟子　兄弟子

タイプDのNP1とNP2の意味関係には語用論が侵入する余地がない。

タイプAと読むことは不可能ではないかもしれないが極めて難しい。要研究。

##### タイプE

1. 友人の忠告　チョムスキーの主張　この町の破壊　物理学の研究

NP2：サ変動詞系名詞（行為名詞）。スルがついて動詞になる。行為名詞は動詞のように項構造をもつ。動詞句における格関係が名詞句においても保存されている。

NP1：NP2の項。二つ出ることもできる。その場合は主語・目的語の順番。

1. タリバンの仏像の破壊　時枝博士の国語学の研究

主語２つ、目的語２つはダメ。

1. \*この町の仏像の破壊　\*時枝博士の松下博士の研究

NP1とNP2との間の意味関係に語用論の入り込む余地はない。

NP1をどの項と解釈するかは語用論（曖昧性除去）。

##### タイプＦ

1. 象の鼻　太郎の手　女性の髪　車のブレーキ　部屋の天井　本の表紙　論文の目次　車の影　マルクスの墓　背広の袖　鍋の蓋

NP2：譲渡不可能名詞。基体に依拠しないでは意味記述が不可能。

NP1：基体。

部分-全体の関係に限らない。影、墓など。

基体から切り離すことも可能。蓋、髪など。「譲渡不可能」は物理的な意味ではなく、言葉の意味の問題。

###### 複合語の一部への外からの修飾（三宅 2000）

普通はできない。

1. \*[御影石の墓]参り　?[長い袖]詰め　\*[丸い蓋]置き

基体なら可能。

1. [マルクスの墓]参り　[背広の袖]詰め　[鍋の蓋]置き

タイプDでも同様のことができそう。

1. ラーメンの本場巡り　弦楽四重奏曲の作曲者一覧

###### 非飽和名詞と譲渡不可能名詞の違い

譲渡不可能名詞は、基体がわからなくても単独で当該表現の外延を決定できる。

1. a. ?この妹は誰の妹だ？

b. ?この主役はどの芝居の主役だ？　c. ?この先輩は誰の先輩だ？

cf. A：先輩は「～」と言ってました。

B：その“先輩”は誰の先輩だ？ （概念の転嫁的用法）

パラメータが埋まらず、外延が定まってない状態では非飽和名詞を個体に適用することができない。

解釈において基体を特定するのは飽和ではなく自由拡充（西川 2013a: 80）

1. a. この手は誰の手？

b. この裏表紙はどの本の裏表紙だ？

c. この影は何の影だろう？

→基体とパラメータは別物、譲渡不可能名詞と非飽和名詞は別物。

「AはBがCだ」→「BはAがCだ」

基体と譲渡不可能名詞なら、真理条件が変わらずに書き換えられる。

1. a. この本は表紙がきれいだ。→表紙はこの本がきれいだ。Cf. 表紙がこの本はきれいだ。

b. この車はハンドルが軽い。→ハンドルはこの車が軽い。Cf. ハンドルがこの車は軽い。

パラメータと非飽和名詞ではダメ。

1. a. 太郎は妹が美人だ。→?妹は太郎が美人だ。cf. (?)妹が太郎は美人だ。

b. 豊臣家は敵が手強い。→?敵は豊臣家が手強い。cf. (?)敵が豊臣家は手強い。

###### エクササイズ　譲渡不可能名詞はどれか？ 基体はどんなもの？

土地　地主　家　実家　窓　パソコン　画面　キーボード　鍵盤　　車　愛車　ペダル

##### タイプH（西山 2020）：主要部の内的領域を限定

1. フランス語の日本語の本（フランス語で書かれた日本語についての本）
2. 日本語のフランス語の本（日本語で書かれたフランス語についての本）

それぞれ逆の解釈はできない→語順・統語構造が意味と相関。

統語構造：[日本語の（付加部）[フランス語の（補部）[本（主要部）]]]

「[補部]の[主要部]」の意味関係：「本」は非飽和名詞でも譲渡不可能名詞でもないので、タイプD・Eではない。→タイプHを認める必要。語用論は関わらない。

主要部の内的領域を限定：NP2（主要部）の意味を規定する中心的要素を限定。

「中心的要素」：「どんな」や「どこの」ではなくて、「何の」。

例　本であればその内容、学生であればその専攻分野、薬であればその目的、

先輩（非飽和名詞でもタイプHは可）であれば、その人が属する組織など。

想定：表現の意味は統語構造の違いにsensitiveでなければならない

###### エクササイズ　どのタイプの「NP1のNP2」？

(i) 北海道警少年課は２日、スマートフォン向けゲーム「ポケモンＧＯ（ゴー）」の国内配信が始まった７月２２～３１日の１０日間で、深夜から未明にかけて外でアプリを使っていた１２～１８歳の中高校生１２２人を補導したと発表した。「アプリが深夜外出のきっかけとなっており、子どもが犯罪に巻き込まれる恐れもある」と注意を呼び掛けている。

(ii)夏の大阪は親子連れの観光客が多い。

#### 4.3.4　形容詞／形容動詞／動詞＋名詞

「の」を介さずに直接名詞を修飾。修飾するのは単独で文の述語になれる要素。

##### 4.3.4.1　形容詞・形容動詞＋名詞

1. a. 難しい本　若い女性　高い山

b. 勤勉な社員　静かな海　愉快な男

c. 良い教師　背が低いバスケットボール選手

d.

名詞修飾節と考えられる。

1. the difficult book　よりは
2. the book which is difficult　に近いということ。

###### 日本語の関係節と英語の関係節の違い

語順。英語は主名詞が前、日本語は後ろ。

関係代名詞が日本語は全く無い。

主名詞が人か否か（whoとwhichの使い分け）

関係節の中で主名詞がどういう役割を果たしているか。（who、whom、whose）

↑日本語でも解釈するときには復元する必要。次のように論理形式を書く。

1. a. [x*i*が難しい]本*i*　[x*i*が若い]女性*i*　[x*i*が高い]山*i*

b. [x*i*が勤勉だ]社員*i*　[x*i*が静かだ]海*i*　[x*i*が愉快だ]男*i*

c. [x*i*が良い]教師*i*[x*i*が背が低い]バスケットボール選手*i*

d.

x：関係節の中での役割。*i*：それと主名詞が同じもの。

1. 良寛さんが好きな子供たち
2. [x*i*が良寛さんが好きな]子供たち*i*
3. [良寛さんがx*i*が好きな]子供たち*i*

語用論的不明瞭性ではなく統語構造の違いに由来する意味論的曖昧性。意味的対応関係も捉えられる。

##### 4.3.4.2　動詞＋名詞

1. 騒いだ学生　死んだ猫　枯れた花　話す人　＿＿＿＿＿＿＿＿
2. [x*i*が騒いだ]学生*i* [x*i*が死んだ]猫*i*[x*i*が枯れた]花*i*＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 捨てるもの　残したケーキ　忘れたカバン　＿＿＿＿＿＿＿＿

表に現れていない項がある。

「もの」は主語／目的語どちらの可能性もあり曖昧。論理形式では省略された項を（　）で補っておく。

1. [（人が）x*i*を捨てる]もの*i*　[（人が）x*i*を残した]ケーキ*i*　[（人が）x*i*を忘れた]カバン*i*＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 昨日この町を訪れたイギリス人
3. [ ]

#### 4.3.5　連体修飾節＋名詞

1. 日本語の連体修飾節構造（[連体修飾節+名詞]）にはどのようなものがあるか？

#### 4.3.5.1　内の関係

英語の関係節に相当。主名詞が修飾節の構成要素。

1. a. 太郎が付き合っていた女性　[太郎がx*i*と付き合っていた]女性*i*

b. コレラに罹った社員　※「社員」は飽和する必要がある。

c. 太郎が花子に渡した手紙

d. 花子が買った辞書

e. 噴水がある公園

f.

1. [太郎がxと付き合っていた]女性

内の関係：連体修飾節の中に空所xがあり、主名詞が空所を埋めれば文になる。

述体表現：こうやって埋めて文にしたもの

1. 太郎が女性と付き合っていた。

装定表現：対応する連体修飾節構造。内の関係の装定の主名詞は述語と格関係。

1. [太郎がx*i*と付き合っていた]女性*i*

必須項以外のものが被修飾名詞になることもある。

1. 太郎が次郎を殺した道具
2. 太郎が花子に会った場所

制限的用法：連体修飾節が主名詞の表す対象の性質などを述べて外延を限定。

外延を限定して、多くの場合、指示対象の特定が容易になる（語用論）。

非制限的用法：名詞修飾節抜きでも、主名詞の指示対象が特定可能なもの。連体修飾節は、その対象について情報を付加しているだけ。

1. a. 太郎が付き合っていた例の美しい女性　b. コレラに罹った山田君

c. 太郎が花子に渡したあの手紙　d. 花子が買ったある辞書

e. 噴水がある上野公園　f.

名詞修飾節抜きでも、主名詞の指示対象が特定可能だから、主名詞が連体修飾節によって限定を受けているとは言えない。（前提：統語的により密接なものから先に限定する。）　内の関係であることに変わりはない。

1. [太郎がx*i*と付き合っていた]例の美しい女性*i*

両者の意味的な違い：多くの文法家は統語構造の違いが現れていると考える。p. 109

###### 参考文献

西川 賢哉. 2013a. 「「NP1のNP2」タイプF」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 65–82. ひつじ書房.

西山 佑司 2013. 「「あの頃のアイドル歌手」について」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 141–155. ひつじ書房.

西山 佑司. 2020. 「「日本語の本」の曖昧性をめぐって：補部と付加部の区別の観点から」第118回慶應意味論・語用論研究会. 口頭発表資料.

山泉 実. 2013. 「非飽和名詞とそのパラメータの値」『名詞句の世界』pp. 11–27.

第4回　外の関係、数量詞

#### 4.3.5.2　外の関係

空所を含まないもの。

1. a. 首相は退陣すべきという考え　b. 太郎が花子を裏切った（という）事実

c. 友人の祖父が振り込め詐欺の被害にあった（という）話

d.

1. a. 魚の焼ける匂い　b. 誰かが私の後をつけている気配

c. 誰かが庭を歩いている音　d.

1. a. 中央線が遅れた原因　b. 花子が離婚した理由

c. 英語がうまくなる秘訣　d. この学会を設立した目的

e. タバコを買ったおつり　f. 人をだました罰

g. 太郎が昨日会社を辞めた動機　h.

1. そもそも節に名詞が繋がることがなぜ可能なのか？

内の関係：空所によってつながりが確保されている。

外の関係：空所がないので、他の説明が必要。

一つの説明：主名詞の意味のため。主名詞が特定の意味タイプの場合だけ外の関係が可能。その意味タイプは少なくとも３種類ある。

##### 4.3.5.2.1　内容節 [1]

主名詞が何らかの内容を伴う。連体修飾節はその内容を表す。

連体修飾節と主名詞の間に「という」が介在することが多い。

「という」がいるかどうかは主名詞によって変わる。

1. the fact/idea/claim/etc. that S V …

##### 4.3.5.2.2　感覚描写節 [2]

##### 主名詞が感覚を表す名詞で、連体修飾節はその感覚を描写。その意味では制限的。トイウは入らない。

1. 魚の焼ける匂いがして目が覚めた。
2. ?匂いがして目が覚めた。
3. 変な匂いがして目が覚めた。

##### 4.3.5.2.3　パラメータ節 [3]

主名詞は非飽和名詞でパラメータは全てモノではなくてコト。連体修飾節はそのパラメータを表す。「という」は基本的に入らない。

1. a. [泥棒が窓を壊した]ハンマー　（内の関係）
2. 泥棒がそのハンマーで窓を壊した。

「ハンマー」は飽和名詞。それ単独持つ外延を連体修飾節が制限。

1. [泥棒がx*i*デ窓を壊した]ハンマー*i*
3. [花子が離婚した]理由
4. 花子がその理由で離婚した。

「理由」は非飽和名詞。連体修飾節のことでパラメータを埋めて外延ができる。

パラメータも非飽和名詞自体が表す対象もコト：パラメータ節と内容節を両方とれる。

1. 信号機が故障したという、中央線が遅れた原因
2. 官僚の力が弱くなったという、政権が交代した結果

順番は内容節、パラメータ節と決まっている。逆にすると不自然（山泉 2010）

1. ?中央線が遅れた、信号機が故障したという原因
2. ?政権が交代した、官僚の力が弱くなったという結果

統語的に近いものから意味的にも先に結びつくという想定

→非飽和名詞はパラメータ節と一緒になって初めて意味的に完結するから、そちらと統語的にも近くないと不自然になる。

1. 検察が提示した証拠　（内の関係）
2. 太郎が犯人である証拠　（パラメータ節）
3. 太郎の指紋が現場に残っていたという証拠　（内容節）
4. （3つ同時に出すと…）

パラメータ節にも「という」が入る。

1. 俺がやったという証拠があるのか？

「例」も同様？

1. 保険で失敗したという例を挙げてみよう（http://xn--ruq40dv1cgpz16kl3ya7dr.com/%E5%A4%B1%E6%95%97%E4%BE%8B）

###### エクササイズ　どのタイプの連体修飾節構造？ 可能性は複数あるかも。

1. 子供達が遊んでいるという光景
2. 話し合いを始める条件
3. 太郎が聞いた音
4. 太郎が来た音

#### 4.3.5.3　内の関係のパラメータ節を理論的に認めるべきか

2. 太郎を殺した犯人
3. [x*i*ガ太郎を殺した]犯人*i*
4. 内の関係の連体修飾節と主名詞の意味関係にパラメータの値と非飽和名詞という関係を外の関係のパラメータ節と同様に、コード化されたものとして認めるべきか？

山泉（2010）：認める→内の関係のパラメータ節がある。[28]は制限的でも非制限的でもない。

1. 太郎を殺したその犯人

西川（2013b: 6節）：反論。

1. 《[S e*i*ガ太郎を殺した][N’ α（ノ）　犯人] *i*》

を下と同様と考える。

1. 昨夜逮捕された犯人
2. 《[S e*i*ガ昨夜逮捕された][N’ α（ノ）　犯人] *i*》

パラメータαはコードが決定するのではなくコンテクストから語用論的に埋める。

[31]も同様。この際連体修飾節の情報が文脈として機能。

[29]を論理形式として考える→自由変項のαがないので、連体修飾節のことを必ずパラメータの値として解釈しなければいけない。連体修飾節構造がパラメータの補充という意味関係をコード化。外の関係のパラメータ節と同様。

→連体修飾節の他のことをパラメータと解釈することは絶対できないはず。

↓

内の関係でも絶対できないかというと、ギリギリ可能？

1. 太郎を殺した[三億円事件]ノ犯人　※[ ]は語用論的に補うだけ

これが可能なのであれば、自由変項αを含む論理形式は必要。

（パラメータの値が《e*i*ガ太郎を殺した》でないことを保証する必要がある。）

[28]は

1. 太郎を殺した[太郎殺し]ノ犯人　※[ ]は語用論的に補うだけ

という風に考えられるので、内の関係のパラメータ節はいらなくなる。

1. 犯人が太郎を殺した。

と述定にすると、装定のパラメータの解釈が維持できなくなる。

山泉（2010）：情報構造に基づく説明。

西川（2013b）：パラメータの解釈を維持すると、

1. 《[太郎殺し事件]ノ犯人が太郎を殺した》

という表意が構築されることになるが、語用論的に復元された主語の内容の一部を述語で繰り返しているだけなので、大抵のコンテクストで関連性のある解釈とならないためにこの解釈は排除されると説明。

#### 4.3.6　数量詞＋名詞

#### 4.3.6.1　数量数量詞

1. ３冊の本　８人の学生　２台の車　４軒の家　１リットルの水　１００gの肉　＿＿＿＿＿＿＿＿＿

NP1：NP2の表すものの数・量。

1. これらはタイプA～Fのどれかか？

#### 4.3.6.2　属性数量詞

1. 100㎡の家　2000ccの車　1リットルのビン　200キロの力士　300mの塔　26度の部屋　＿＿＿＿＿＿＿＿＿

NP1：NP2の表すものそのものの数・量ではない。属性という点では、形容詞・形容動詞と同じ。

1. 赤い車、立派なビン、モンゴル出身の力士

共通点として、主名詞を省略できる。（神尾 1983）

1. 赤いのを下さい／立派なのをもらった／モンゴル出身のは強い
2. 100㎡のを下さい／200キロのは強い／1リットルのは重い

数量数量詞と属性数量詞は別物。（神尾 1983）

数量数量詞の後の主名詞は「の」で代用できない。

1. \*３冊のを買った。／\*8人のが訪ねてきた。

※3冊セットの、8人組のという意味は属性数量詞。

両方同時に使うことができる。同じの複数個同時も可能。

1. 4軒の100㎡の家

数量数量詞２つは無理。属性数量詞２つはできそう。

1. 200キロで2mの力士　2000ccで1tの車　\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

属性数量詞は実は、NP2の表すものそのものの属性を表現するのではない。

1. ?（その）家は100㎡という性質・属性をもつ

むしろ、

1. （その）家は床面積が100㎡という性質・属性をもつ

「床面積が」：コード化されているのではなくて、語用論的に埋められた変項。

1. 《[Rは100㎡である]家》
2. 変項RがあるということはAタイプか？

##### 4.3.6.3　タイプＧ（西山 2013）

###### タイプAとの違い

① 自由変項の種類

タイプAは他動詞。

1. 太郎の車　＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 太郎の（x*i*を）運転する・デザインした・盗んだ車*i*＿＿＿＿＿＿＿＿＿

タイプGは非飽和名詞で変項名詞句

1. 床面積・壁面積・天井面積が100㎡の家　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. うな重の客←注文料理がうな重の客

②NP1の種類：タイプAは単なる指示的名詞句、タイプGは変項名詞句の値でかつ述語

→タイプGは否定・時制・モダリティのような述語のカテゴリーを「の」の部分に入れられる。

1. 100㎡でない家（は要らない）　100㎡だった家を増築した　100㎡に違いない家　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

タイプAはこれが不可能。cf. トーマスではない機関車（タイプB）

1. ?太郎でない車　?太郎だった車　?太郎に違いない車　＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿

###### タイプBとの違い

タイプBとの共通性：NP1が述語。「の」を「である」で置き換えられる。

1. 100㎡である家　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 医者の乗客　医者である乗客　＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

①意味関係

タイプB： NP1はNP2そのものの属性。意味関係に語用論が介入できない。

タイプG：「床面積」「注文料理」などを語用論的に埋めなければならない。埋めて全体としてNP2の属性。

②「だけ」：叙述名詞句には付かない。

1. うな重だけのお客さん（にはお吸い物を出さない）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. ?医者だけの乗客　?＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③連言：叙述名詞句の連言は「で」

1. あの乗客は医者で歌手だ。　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

従ってタイプBのNP1の連言も「で」

1. 医者で歌手の乗客　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

タイプGはNP1の連言が「で」にならない。

1. うな重とビールのお客さん　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 200キロで2mの力士 ←[体重が200キロで身長が2m]の力士…属性の連言
3. かつ丼ではなくうな重でビールのお客さん
4. a. あのお客さんは[S[注文料理は]うな重である]（→あのお客さんはうな重だ）

↓内の関係

b. [S x*i*ハ[注文料理は]うな重である]あのお客さん*i*

↓「注文料理は」は文脈でわかれば省略できる。

c. [S x*i*ハ[φハ]うな重である]あのお客さん*i*

↓「である」を「の」にして「あの」を取る

d. うな重のお客さん

**エクササイズ**　上にならってa, b, cを埋めよう。

1. a.

↓内の関係

b.

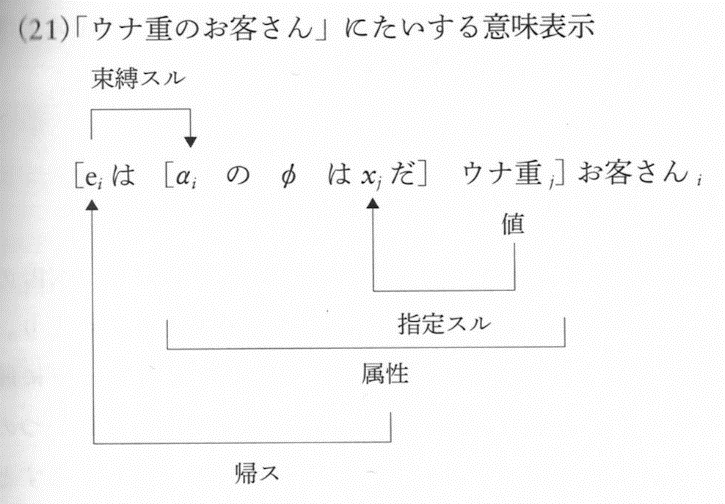
↓「床面積は」は文脈でわかれば省略できる。

c.

↓「である」を「の」にして「あの」を取る

d. 100㎡の家

まとめ（西山 2013: 111）



###### エクササイズ　タイプA ?B?G?それ以外？ 上の違いを利用して調べよう。

1. 男性のスーツ　ダブルのスーツ　スーツの男性　スーツのハンガー　２着のスーツ　170cmのスーツ　意味論の教科書　名詞句の意味論

タイプD′

1. 横暴な理事長の大学
2. cf. ?理事長の大学

タイプF′

1. 長い髪の少年
2. cf. ?髪の少年

詳しくは西川2013a

###### 参考文献

西川 賢哉. 2013b. 「「NP1のNP2」タイプD′とタイプF′」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 83–101. ひつじ書房.

西川 賢哉. 2013b. 「非飽和名詞を主名詞とする連体修飾節構造の意味表示」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 29–50. ひつじ書房.

西山 佑司 2013. 「「ウナ重のお客さん」について」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 103–122. ひつじ書房.

山泉 実. 2013. 「非飽和名詞とそのパラメータの値」『名詞句の世界』pp. 11–27.

第5回　名詞句の曖昧性

#### 4.4　語と語の緊張関係がもたらす曖昧性

#### 4.4.1　[名詞+の+名詞]の曖昧性

(59) 看護婦の娘

タイプDの読みが(60a)、タイプBの読みが(60b)。

###### エクササイズ　どちらの読み？

1. 看護婦の娘さんが病院にお手伝いに来てるんです。看護はできないから布団を直したりしてるんですけど、http://pa-etu.com/archives/11848
2. 看護婦の娘が失踪した、ついては探し出してくれという依頼が娘の母親からあった。最後に彼女が看護していたのはギャングの仲間スピード。http://d.hatena.ne.jp/odd\_hatch/20150924/1443052025
3. 当時その編集部に本当に人が少ない上、その担当さんが一番の新人さんだかで、いろいろ作家の相手以外の細かい仕事もたくさんしていたためだったらしい。http://www.matolabel.net/archives/64720915.html
4. 右の版画は、画家の友達が結婚祝いのお返しにくれた物。絵じゃないのはある程度有名な画家になると、絵を描いても画廊などのものになるらしい。個人で勝手にあげたり出来ないって言ってた。版画なら何枚も擦れるしね。http://utakata.hatenablog.jp/entry/2015/08/15/234106

(61)　女性の研究者

タイプB（女性である研究者）とタイプE（女性を研究する人）。



タイプEのNP2：行為名詞(p. 103)。「研究者」は行為名詞ではない。

「研究」が行為名詞。行為名詞を含む複合語でもいいらしい。

cf. 複合語の一部への外からの修飾（三宅 2000）。

1. [マルクスの墓]参り　[背広の袖]詰め　[鍋の蓋]置き

(62) コレラ患者の医者

「である」とすればタイプBだが、タイプAとも読める。

1. ハイデガーの研究者　（タイプBが無理なのは何故？）

###### エクササイズ　どのタイプ？

1. ４０代前半の社会人男性です。大学の経済学部卒です。大学の学士入学または、３年次編入学で入学→大学院で研究、という道を考えています。大学の何学部何学科を卒業し、大学院の何研究科を修了すれば、精神障害者の研究者になれるのでしょうか？　私は、文系人間です。

http://okwave.jp/qa/q8041646.html

1. 視覚障害者の研究者にとって一番切実な、文章を読んでもらうボランティアの問題はまだ解決していません。公共図書館に行って読んでもらったり、個人的にアルバイトを雇ったりしなければなりません。

http://shinsho.shueisha.co.jp/column/zainichi2/037/

###### [“副詞”の名詞（である／であったもの）]（西山 2013）

(63) あのときの課長

1. あのときの監督

３通りに曖昧。一つの読みが、タイプA～Gのどれでもない。タイプHというわけでもない。NP1ではなく副詞。

(65) ①タイプC：あのときの課長はずいぶん緊張していたわね。

1. あのときの監督は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

課長について、「あのとき」で時間的に限定。

「あのとき」に課長は課長以外の役職でもよい。

1. あのときの監督は、まだ選手だった。

「あのときの」は主名詞から遊離させて、副詞にしてもよい。

1. 課長は、あのとき、ずいぶん緊張していた。
2. 監督は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(67) ②タイプA：あのときの課長さんにご挨拶したいわ。

1. あのときの監督＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その人について時間的に限定しているわけではない。そのときと関係のある課長。「あのとき」にその人は課長である必要がある（？）。

第③の読み：〈あのとき、課長の地位を占めていた人〉

西山 2003ではパラメータを埋めているタイプDとされていた。

1. 時点は時間の経過に従って外延が変化するもの（例 横綱）のパラメータか？

YESの根拠１：時点を固定しないと質問に答えられない。

1. 貴乃花は横綱ですか？

YESの根拠２：カキ料理構文らしきものを作れる。

1. カキ料理構文：カキ料理は広島が本場だ。（←広島がカキ料理の本場だ）
2. X[パラメータの値]はY[非飽和名詞の変項の値]がZ[非飽和名詞]だ。

YがZだ：Zの変項をYで埋める。全体でXの属性。Zは非飽和名詞。

1. この芝居は太郎が主役だ。
2. ?この芝居は太郎が俳優だ。
3. あの時は、貴乃花が横綱だった。（←貴乃花があの時の横綱だった。）
4. ?あの時は、花子が女性だった。（←花子があの時の女性だった。）
5. ?＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（←＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

NOの根拠：

「あの時」の場合、非飽和名詞と飽和名詞が区別できない。

1. あの頃は、カローラが田中の車だった。（←カローラが、あの頃の田中の車だった。）
2. あの頃は、ショパンが私の好きな作曲家だった。（←＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

YESの根拠2は成り立たない。

1. 「あのときの」はパラメータの値でなければ何なのか？

* 名詞「課長」「横綱」自体を修飾する形容詞的限定ではなく、「横綱／課長である」「横綱／課長の地位を占める」という述語にかかる副詞的限定。
* 時間の経過とともに外延が変化する名詞句（外延が元々存在しないわけではなく、時点を固定しないと特定の外延が定まらない）と非飽和名詞（元々外延がなく、外延が変化するには前提としてパラメータが埋められていなければならない）は別物。

1. カキ料理構文みたいな[23][26][27]は何だったのか？

単なる指定文。カキ料理構文は指定内蔵型措定文。

違い１：最初の「は」を取れる。

[19]′　?カキ料理、広島が本場だ。

[23]′ あのとき、貴乃花が横綱だった。

違い２：時点を表す要素をカキ料理構文には付けられる。

[19]″　江戸時代、焼蛤は桑名が本場だった。（江戸時代≠焼蛤）

Cf. [23] ″ 20XX年*i*、あの時*i*は、貴乃花が横綱だった。（20XX年＝あの時）

1. [23][26][27]がよくて[24]がダメなのはなぜか？

時間の経過に従ってそれを占めるものが変化するものならok。語用論上の違い。

別の分析： NP2が個体ではないタイプCを新たに認める。

###### エクササイズ　どのタイプ？

1. 単身赴任中の夫の様子がおかしいと感じた時､すぐに六画先生にご相談して良かったです｡[…]月に一度､掃除や洗濯をするために夫の元を訪ねていたのですが､あの時の夫は明らかにおかしかったです｡私に早く帰ってほしいという思いが明らかに表に出ていました｡しかも､お風呂場に長い髪の毛があったのです｡私の髪はｼｮｰﾄ｡

http://i.sumi-re.net/profile/rokkaku/002.php

1. さてデリーなどの空港ではさすがにないがガヤ空港など地方空港では入国や税関で揉めたり（賄賂ですぐ通してくれるらしいがしたことはない）することもあるが、この地方空港のインド人係員の親切で、ある意味命拾い？をした。[…]あの時の係員さん。あなたは極楽往生まちがいなし！もし彼が見つけてくれてなかったら想像するだけでゾッとする。http://guganji.com/india/?p=600
2. ネトウヨの毒舌な伯父さんbot Retweeted ラブライブ@矢澤にこちゃん推し. 正直、3.11のときの菅直人の対応にイラついてたんですが、あのときの総理大臣が安倍じゃなくてよかったと、いまは心の底から思います。

https://twitter.com/ntuy\_uncle\_bot/status/738345961211060224

(68) 母親の教育

タイプEで２通りに曖昧。

(69) 《（ψが）母親を教育すること》目的語

(70)《母親が（φを）教育すること》 主語

1. ＿＿＿の＿＿＿
2. 《（ψが）　　　を　　　　　すること》主語
3. 《　　　　が（φを）　　　すること》目的語

両方出ることも可能。

(71) a. 母親の子供の教育（タイプD＋Eとも読める）

b. アメリカのイラクの統治

c. 米軍のアルカイーダの攻撃

d.

###### ３項動詞なら３通りに曖昧？

1. 王様の紹介　←AがBをCに紹介する
2. 王様の紹介とあっては彼を採用せざるを得ない　←王様＿＿紹介すること
3. 王様の紹介なんて私には畏れ多くてできない。←王様＿＿紹介すること
4. 来賓が来たら王様の紹介が最優先だ。←王様＿＿紹介すること　可能？
5. ok? 大臣の王様の勇者の紹介 ←大臣が王様に勇者を紹介する

間接目的語は「への」「?にの」になりそう

###### 非飽和名詞と飽和名詞で曖昧な語

「子供」《未成年者》（飽和）、《αの子》（非飽和）

非飽和の意味では未成年者でなくてもよい。

1. 長嶋茂雄の子供、石原慎太郎の子供
2. 長嶋茂雄：?この部屋に子供が２人いる　（長嶋美奈と未成年者１名）

「弁護士」《弁護士業に従事している人》（飽和）、《αの弁護人》（非飽和）

(74) 私の弁護士の叔父

①(75) a. 私には専属弁護士がいるが、その人の叔父

私の弁護士：D、弁護士の叔父：タイプD

②(76) a. 私の専属弁護士である、（私の）叔父

私の弁護士：D、弁護士の叔父：B。「叔父」のパラメータの値も「私」

③(77) a. 私の、弁護士業を営んでいる叔父

弁護士の叔父：B。「叔父」のパラメータの値も「私」という点は(76)と変わらないが、「私」と「弁護士」の間にはパラメータの値を埋める関係がない。

1. ④私の専属弁護士である、（αの）叔父

私の弁護士：D、弁護士の叔父：B、「叔父」のパラメータの値は自由変項

1. 太郎には２人の叔父がいる。１人は私の専属弁護士、もう１人は偶然にも私の妻の専属弁護士だ。先日、私の弁護士の叔父が行方不明になったので、私の妻の弁護士の叔父に私の弁護士にもなってもらった。
2. 花子の会計士のいとこ
3. (75)相当：
4. (76)相当：
5. (77)相当：
6. [41]相当：

(78)花子の手

タイプF《花子の身体の一部である手》語用論的操作がかかる余地はない。

タイプA《花子と関係Rを有する手》　Rは語用論で埋める。

###### エクササイズ　どのタイプ？

1. 最近太郎と花子は幻聴に悩まされている。太郎は次郎の声が聞こえるそうだ。花子の声も次郎の声だそうだ。
2. みんなで有名人のお墓を暴くことにしよう。私はマルクスの墓に行く。あなたの墓はレーニンの墓だ。

#### 4.4.2　「ふざけた男」の曖昧性：品詞の違い？

(83) 《[x*i*がふざけた]男*i*》

①内の関係の連体修飾節構造。「ふざける」のタ形。主名詞は人を表すものだけ。

副詞（句）を付加できる。

②連体詞的用法《こちらの頭にくるような、いい加減な男》恒常的性質。述定の形にできない。「本」「話」「意見」なども可。副詞（句）は付けられない。

###### エクササイズ　どっち？

1. たった1年で20キロ痩せた男のダイエットルール　菰田 欣也 : 著 http://bookman.co.jp/shop/health/9784893088192/
2. 痩せた男は着物は似合わない？ - レディース 解決済 | 教えて！goo

http://oshiete.goo.ne.jp

#### 4.4.3　「良い椅子」の曖昧性（梶浦 2013。6.4.4にも出てくるので省略）

#### 4.4.4　「花子が知らない理由」の曖昧性（西川 2013）

(102) 太郎が見た現場

①内の関係

1. 五月祭学生企画「東日本大震災、僕たちが見た現場」の開催

http://www.civil.t.u-tokyo.ac.jp/news\_archive/695/

(103) 《[太郎がx*i*を見た][α（ノ）現場]*i*》

②外の関係のパラメータ節

(105) 《[太郎がφを見た]現場》

1. 最近、周りでUFOを見たという人が多い。太郎が見た現場は粟生団地、花子が見た現場は小野原だ。

(108) 花子が知らない理由

①パラメータ節の解釈

(109) 《[花子がφヲ知らない]理由》 （外の関係・パラメータ節）

1. 太郎：どうして花子はEUが何の略かも知らないの？

次郎：花子が（EUが何の略かを）知らない理由は、新聞を読まないからだ。

②内の関係

(110) 《[花子がx*i*を知らない][α（ノ）理由*i*]》（内の関係）

1. 貧困、人間関係、進路変更、いろいろな理由から太郎は退学した。花子が知らない（太郎の退学の）理由は、人間関係だ。

###### エクササイズ　それぞれの読みが自然になる文を作ろう。

1. 太郎が調べている動機
2. 《太郎がφヲ調べている]動機》 （外の関係・パラメータ節）
3. 《[太郎がx*i*を調べている][α（ノ）動機*i*]》（内の関係）

#### 4.4.5　「頭の良くなる本」の曖昧性（？）

(115) 頭の良くなる本

内の関係なら格助詞を付けて節の中に入れられるはず。

1. その本で・によって頭が良くなる
2. 他の「で」「によって」で戻せる内の関係と一緒にしていいのか？
3. 太郎が花子と喫茶店で会った → 太郎が花子と会った喫茶店
4. 太郎が花子と無線で・によって連絡をとった → 太郎が花子と連絡をとった無線

文法で解釈を決められて、語用論の入る余地はない。

一方、[60]は読めば読んだ人の頭が良くなる本という解釈以外も可能。

(119) 《[人*j*がx*i*をφスルならば、y*j*の頭が良くなる]本*i*》

これでは解釈の多様性を尽くすことができない。

(120) 《[x*i*がお地蔵さんの頭の上に置かれているならば、通りがかった人の頭が良くなる]本*i*》…「人*j*がx*i*をφスルならば」に収まらない。

(121) 《[人*j*がx*i*と何らかの関係があるならば、y*j*の頭が良くなる]本*i*》

###### エクササイズ 意味表示と解釈２つを考えよう

1. 眠くなる論文
2. 解釈１：
3. 解釈２：
4. 意味表示：

#### 4.4.6　「藤田が描いたアトリエ」の曖昧性

(130) a. 藤田が（その）アトリエを描いた。

b. 藤田が（その）アトリエで絵を描いた。

c. 藤田が（その）アトリエに絵を描いた。

###### エクササイズ　述定にしよう

1. 太郎が気に入った女

#### 4.4.7　「注文の多い料理店」

(138) 《[x*i*は注文の多い]料理店*i*》

(139) （あの）料理店は注文が多い。

(141) 《AがBに対してあれこれ希望の条件を言う、要求する》「注文をつける」

(142) 《AがBに対してCの製造・配達・購入などを依頼する》「発注する」

(146) （あの）料理店ガ・ニ・ヲ・デ注文（発注）する。

1. あの料理店はうちのお得意さまですよ。あそこは、（うちへの・肉の）注文~~が~~の多い料理店ですから。…「料理店が注文する」

(149) ここは、（人々からの）（料理の）注文の多い料理店です。ですから、料理が出てくるまでに時間がかかりますのでご理解ください。…「料理店に注文する」

(151) 今年だけでもうちは、山猫軒を8軒も建てたよ。山猫軒は、実に注文の多い料理店だね。それに比べて海猫軒は注文の少ない料理店だ。…「料理店を注文する」

(153)あそこは、先生のおっしゃったとおり、（われわれの雑誌の）注文の多い料理店です。…「料理店で注文する」可能？

(154) あの料理店デ（客が）（グルメ雑誌を）注文する。

(156) 山猫軒さんは、注文の多い料理店だね。でも、山猫軒はわれわれのお得意さんだから、どんな要求にも応じなければならないな。…「料理店が注文をつける」

(157) 所長、山猫軒は、（われわれの側からの）注文の多い料理店ですから、実地検査の時間は十分とっておいた方が良いと思いますよ。…「料理店に注文をつける」

(161) あそこは、実に（われわれの雑誌に対する）注文の多い料理店だね。でもわれわれはそれを真面目に受け取る必要がある。…あの料理店で（料理店の客が）（われわれの雑誌に対して）注文をつける」不可能？

#### 4.4.8 「8本のバナナ」の曖昧性

属性数量詞と数量数量詞

(163) a. 8本のバナナ

b′. 13段の階段

c. 6mの布

d. 100ページの本（両方可能？）

e. コップ１杯の水（両方可能？）

数量数量子：

(164) 花子はバナナをA店で1本、B店で3本、C店で4本買った。ということは、花子は8本のバナナを買ったわけだ。

数量詞遊離ができる。

(165) （前略）花子はバナナ8本を買ったわけだ。

属性数量詞：《一房が8本の》《一組が8本の》《販売単位が8本の》など。《φが8本のバナナ》ということ。

(166) 果物屋に、5本のバナナがのっている皿、6本のバナナがのっている皿、8本のバナナがのっている皿、10本のバナナがのっている皿があった。正子は6本のバナナを買った。花子は、少し迷ったが、8本のバナナを買った。

数量詞遊離はできない。

(167) ?花子は、少し迷ったが、バナナ8本を買った。

主名詞句を「の」に置き換えることができる。

(169) 花子は、少し迷ったが、8本のを買った。

数量数量詞だとできない。

(164)′ ?花子はバナナをA店で1本、B店で3本、C店で4本買った。ということは、花子は8本のを買ったわけだ。

属性数量詞は主名詞そのものの数量を表しているのではない。

1. 花子は、お金がなかったので、（一房が）8本のバナナを1本だけ売ってもらった。

(170)′ 太郎は、毎日、13段の階段を上がる。

数量数量詞：数量詞遊離ができる。

(171)′ 太郎は、毎日、階段を13段上がる。

属性数量詞：

(170)″ 太郎は、毎日、13段のを上がる。／13階段を上がる。

(174) 太郎は、100ページの本を読んだ。

属性数量詞：全100ページの本。

数量数量詞：本を100ページ分。不可能？本を数える単位はページではなく冊。

(175) 太郎は、本を100ページ読んだ。

(176) 太郎は、コップ１杯の水を飲んだ。

属性数量詞として、コップ１杯分の水を蛇口から直接飲んだのは無理？

(177) 太郎は、水をコップ１杯分、飲んだ。

これは可能。

(177)′ 太郎は、水をコップ１杯飲んだ。…数量数量詞読みは不可能？

###### エクササイズ　数量数量詞読みと属性数量詞読み、それぞれが自然な文脈を考えよう。

1. 太郎は3人のアイドルが好きだ。

###### 参考文献

梶浦 恭平. 2013. 「「よい」の曖昧性とアドホック概念構築」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 471–495. ひつじ書房.

西川 賢哉. 2013. 「非飽和名詞を主名詞とする連体修飾節構造の意味表示」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 29–50. ひつじ書房.

西山 佑司 2013. 「「あの頃のアイドル歌手」について」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 141–155. ひつじ書房.

カキ料理構文についてのその後の研究：氏家 啓吾・田中 太一. 2021. 「「カキ料理は広島が本場だ」構文への認知文法的アプローチ」『東京大学言語学論集』43: 327-347.

非飽和名詞についてのその後の研究：氏家 啓吾・田中 太一. 2021. 「非飽和名詞から飽和名詞へ、飽和名詞から非飽和名詞へ––「類」概念への認知言語学的アプローチ‒‒」『日本語文法学会予稿集』.

第6回　文構造・作用域のもたらす曖昧性

## ５章　文の曖昧性はどこからくるか

#### 5.1　文の曖昧性をもたらす要因

(1)a 文を構成している構成素が曖昧である

1. 勉強する　① study ② 値引きする

(2) a. もう少し勉強してください。

#### 5.2 文の統語構造が曖昧性をもたらす

形式的に分解可能な表現の意味とその構成要素の関係

(6) 文の意味にその文に登場している語の意味が寄与している

(5) 父は好きなお酒を戸棚に隠しているようだ。

「父」「は」…「ている」「ようだ」の意味が寄与している。

1. 文の意味にはそれに登場しない語の意味は全く寄与しない（本当？）
2. 私、ラーメン好きなんです。←「は」「が」の意味が寄与しない？

註1：イディオムは(6)の明らかな例外。

(i) それを聞いて、父は腹を立てた。←「腹」「立てる」の意味は反映されない。

(ii) John kicked the bucket.

※ここで文の意味と言っているのは、符号化されたものだけ。

1. A: Could you join us for dinner tonight?

B: No, thank you. I’ve eaten. ←(+ diner tonight)

(7) 文の意味はそれを構成している単語の意味の和である。

(8) 警察官が犯人を追いかけた。

(9) 犯人が警察官を追いかけた。



構成している単語は同じなのに符号化されている意味が明らかに異なる。

→ (7)は正しいとは言えない。ただし、単語の定義が問題。

「警察官が」「犯人を」までを一つの単語と考える立場もあり得る。

(10) 文の意味に寄与するのは、文を構成している語の意味と語順[だけ]である。

(11) 男の子と女の子の母親がやってきた。

(i)　二児の母がやってきた。　(ii)　女の子の母親と男の子が来た。

語の意味と語順[だけ]というわけではない。統語構造も文の意味に寄与。

(12)′ a. [ [[男の子]と[女の子]]の母親]がやってきた。

b. [男の子]と[[女の子]の母親]がやってきた。

(17) Mary wrote a book about Obama.

(20) 《メアリはオバマに関する本を書いた》←PPが直接はNPに含まれる。

(21) 《メアリはオバマに関して、本を書いた》←PPが直接はVPに含まれる。

(22) Mary wrote her first book about Obama last year.

メアリが既に本を書いていた場合

(20)に対応する読み：彼女が最初に書いた本ではない。

(21)に対応する読み：彼女が最初に書いた本。

(25) 先生はとつぜん花子が泣き出したと言った。

(25)′　[S1 先生は[S2 花子が泣き出した]と言った]。

「とつぜん」は文の境目にある→S1に含まれる(26)ともS2に含まれる(27)とも考えられる。

1. 次の場合、花子が突然泣き出したという解釈をとれないのは何故か？

(25)″　先生は花子が泣き出したととつぜん言った。

(31) 少年はお父さんにいつ怪我をしたと言ったのか。

(32) a. [少年はお父さんに[いつ怪我をした]と言ったのか]。

≒少年はお父さんに[怪我をいつした]と言ったのか。

b. [少年はお父さんにいつ[怪我をした]と言ったのか]。

≒少年はお父さんに[怪我をした]といつ言ったのか。

(30) When did the boy tell his father that he hurt himself? ←同じ曖昧性

統語構造と意味構造の1：1対応があると考えるなら、何らかの方法で、whenを二つの位置に関連付けなければならない。1つの可能性：

文構造A→何らかの統語的操作→aの読みの(30)

文構造B→何らかの統語的操作→bの読みの(30)

1：1対応を仮定せず、1つの統語構造を2つの意味構造に対応させることも可能。

(32)c. 少年はお父さんに「いつ怪我をした？」と言ったのか。Yes/No疑問文。

(33) Why do you believe that he was joking?

(34) なぜ彼は冗談を言っていたと君は思うの。

(35) a. [なぜ彼は冗談を言っていた]と君は思うの。

b. なぜ[彼は冗談を言っていた]と君は思うの。

**エクササイズ**　曖昧性のないパラフレーズをそれぞれの読みについて考えなさい。

a≒

b≒

(36) 良寛さんが好きな子供たちがやってきた。

(39) その坊やはいつでも食べることができる。

**エクササイズ**　(36)が（英訳と対照的に）曖昧になった日本語の要因２つは？

答え：

**エクササイズ**(39)が曖昧になった日本語の要因は？

答え：

(41) The chicken is ready to eat.

(42) The lamb is too hot to eat.

**エクササイズ**(41)を曖昧にした英語の文法的要因は？

**エクササイズ**(41)は曖昧性を保ったまま和訳できるか？

**エクササイズ** (42)を曖昧にした英語の要因は？

**エクササイズ** (42)は曖昧性を保ったまま和訳できるか？

(43) 警察は、ストーカー行為をしていた女性の自宅を放火したとして36歳の男を逮捕した。

「ストーカー行為をしていた」が「36歳の男」を修飾する読み：節の境界を超えて修飾。不可能？

(44) Flying planes can be dangerous.

(45) a《飛んでいる飛行機は時として危険だ》flyingは現在分詞、planeは動詞flyの主語。

(45)b 《飛行機を飛ばすことは時として危険だ》flyingは動名詞・他動詞。planeは動詞flyの目的語。

(46) Visiting relatives can be a nuisance.

**エクササイズ**　(44)(46)を曖昧にした英語の文法的要因３つは？

(51) John discovered *what I have in my hand*.

自由関係節の読み：《ジョンは、私の手の中にあるもの（たとえば指輪）を見つけた》

間接疑問節の読み：《ジョンは私が手の中に何を持っているかがわかった》

斜体部が指示的か非指示的かの違いが意味論的なものなら曖昧。

【RFT】ジョンの心においてwhat I have in my handに対応する指示参照ファイルのIDが定まった場合は“非指示的”・間接疑問節。IDは既に定項で、ファイルの内容特徴の場所が定まった場合は“指示的”・自由関係節。

(53) 太郎は花子のように英語ができない。

(54) 太郎は花子のように英語ができる。←曖昧ではない

(55) a. 《太郎は花子ほど英語ができない》　英語力（太郎） ＜ 英語力（花子）

b. 《太郎は花子と同程度英語ができない》　英語力（太郎） ≒ 英語力（花子）

畠山・本田・田中(2009)：曖昧性は統語構造の違いに由来。「花子のように」と「ない」が同じ節にあるかどうかの違い。

否定の力の及ぶ範囲の違いとも考えられる？

a：「花子のように英語ができる」を否定

b：「英語ができる」を否定。「英語ができない」が花子と同様。

まとめ　(52) 文の意味には、その文の背後にある統語構造（「深層構造」とか「基底構造」とよばれる）が大きく寄与する。ある文に対して、その背後に複数の異なった統語構造が存在する場合、その文は曖昧となる。

※曖昧という性質の定義によるかも。意味構造が異なる？真理条件が異なる？

### 5.3　要素の力の及ぶ範囲が曖昧性をもたらす

作用域scope：文中のある種の要素（否定表現、数量詞、副詞句）が力を及ぼす範囲

1. It is not raining. It is snowing. （『明解言語学事典』「作用域」）

notの作用域：一文目。二文目も作用域なら、雨も雪も降っていないという意味。

作用域を持つ要素が複数：それぞれの作用域の広さの違いによって解釈が異なる。

#### 5.3.1　「３個の問題に解答しなかった」の曖昧性

(70) All of the members didn’t attend the meeting.

①部分否定：否定の作用域が数量詞の作用域よりも広い読み

(71) a. 《会員の全員は会議に出席しなかった》

≒b. 《会員の全員が会議に出席したわけではなかった》

≒c. 《会議に出席したのは全員ではなかった》

notがallを否定。否定の作用域の中に数量詞が入っている。

②全体否定

(72) a. 《会員の全員が会議に出席しなかった》

≒b. 《会員の誰もが会議に出席しなかった》

notはallを否定していない。否定の作用域に数量詞が入っていない。

allをmostに変えたもの：全体否定だけが可能、部分否定は不可能。

(73) Most of the members didn’t attend the meeting.

(74) 大部分の会員が会議に出席しなかった。

(75) 《会員の大部分が会議に出席しなかった》

(76) a. ✕《会員の大部分が会議に出席したわけではない》

b. ✕《会議に出席したのは会員の大部分ではなかった》

(58) 太郎は３個の問題に解答した。（曖昧ではない）

(59) 太郎は３個の問題に解答しなかった。（曖昧）

①：否定の作用域が数量詞の作用域よりも広い読み

(60) 《太郎が３個の問題に解答したということは真ではない》

≒太郎が解答した問題は３個ではない。

「ない」は「３個」を否定。否定の作用域の中に数量詞が入る。

(61) 否定辞 ＞ 数量詞

②：数量詞の作用域の方が否定の作用域よりも広い読み

(62)《太郎が解答しなかった問題が３個ある》

≒太郎が解答しなかった問題は３個である。

「ない」は「３個」を否定しない。否定の作用域に数量詞が入らない。

(63) 数量詞 ＞ 否定辞

(64) John didn’t solve three problems.

**エクササイズ**　「太郎は問題３個に解答しなかった。」も同様の曖昧性があるか？

**エクササイズ**「太郎は問題に３個解答しなかった。」も同様の曖昧性があるか？

(65) 多くの矢が的に当たらなかった。

①：数量詞「多くの」を否定。否定＞数量詞

(66) 《多くの矢が的にあたったということは真ではない》

≒(67) 《的にあたった矢が少ない》 ≒的に当たった矢は多くない。

②：「ない」は数量詞「多くの」ではなく「当たる」を否定

(68) 《的に当たらなかった矢が多い》

的に当たった矢が多いか否かについては何も言っていない。

(69) 多くの矢が的に当たらなかったが、当たった矢も多い。

**エクササイズ**　「多数の学生が不合格だった。」も同様の曖昧性があるか？

1. 多数の学生が不合格だったが、合格した学生も多い。

「不」のように語の一部にある否定の作用域は他の部分を含めない？

作用域の違いのように真理条件に影響を与えることができるのは意味論だけで、語用論は影響を与えることはできない、というわけではない。

→作用域の違いも意味論的な曖昧性だという保証はない。

カーストン 2002/2008：否定についての語用論的な分析。

#### 5.3.2 「12月29日まで営業しなかった」の曖昧性（？）

(77) あの美容院は12月29日まで営業しなかった。

①「12月29日まで」が否定の作用域の内。28日から正月休み（可能？）

(78)《あの美容院は12月29日まで営業したということは真ではない》

「までは」なら両方可能？

山泉：「29日まで」の場合、 29日までの期間が焦点になり、否定される（営業しなかった日と解釈される）ため①が不可能？

②「12月29日まで」が否定の作用域の外。30日から営業再開。

(79)《12月29日まで[あの美容院は営業しなかった]》

**エクササイズ**　「あのバンドは2010年から活動しなかった」も同様に曖昧？

(80) They didn’t talk until midnight.

(81) 《彼らは真夜中まで話をしていたわけではない》

(82) 《彼らは真夜中まで口を聞かなかった》

(80)′ Until midnight they didn’t talk. ← (82)だけ可能？

(83) John hasn’t left because his ex-wife is here.

①：because節が否定の作用域内。主節は否定されていない。

(84) 《ジョンは前妻がここにいるから立ち去ったわけではない》

≒《ジョンは立ち去ったが、それは前妻がここにいるからではなく、別の理由で立ち去った》≒(85) It is not because John’s ex-wife is here that he has left.

②because節が否定の作用域外、主節を否定。

(86) 《ジョンは前妻がここにいるから立ち去らなかった》

≒《ジョンが立ち去らなかったのは前妻がここにいるからだ》

≒《It is because John’s ex-wife is here that he hasn’t left》

日本語だとこのような曖昧性はない。語順が関係？

(83)′ Because his ex-wife is here, John hasn’t left. ←②だけ

(83)″彼の前妻がここにいるから彼は立ち去らなかった。

カラ節が前に来るしかなく、②だけ。

#### 5.3.3　「１日だけの受講が可能」の曖昧性

「だけ」の意味

(88) 花子だけが泳いだ。

(89) a. 《花子が泳いだ》　b. 《花子以外の人は泳がなかった》

「だけ」があると、bも主張。「花子以外の人」の範囲に何を含むかは語用論。

(96) Aだけ（が／を／に／で）X→A以外の人／物（が／を／に／で）Xでない）

（A：名詞句など、X：述語要素）

「だけ」の作用域：述語要素Xを主要部とする文

(97) この講演会は、１日だけの受講が可能です。

①：２日間受講、３日間受講も可能

(98) 《この講演会は、（２日間や３日間すべてを受講しないで）１日だけ受講することも可能だ》

②：２日間受講、３日間受講は不可能

(99)《この講演会は、２日以上の受講は不可能で、１日だけの受講しかできない》

教科書の主張：(97)の曖昧性は純粋に意味論の問題。

否定：言語的意味として曖昧ではなく、明意を得る段階で解釈が分かれる。

(100) 先生は生徒達に動物園だけを見学することを許した。

① (101) a. 《先生は生徒たちに動物園以外は見学しないことを許した》

② b. 《先生は生徒たちに動物園以外は見学することを許さなかった》

佐野 1997：副助詞「だけ」は述語にかかる。

→述語的要素が文中に複数あるとき、作用域の可能性は複数。

①「見学する」にかかる：他の施設は見学しない。作用域は埋め込み文。

②「許した」にかかる：他の施設の見学は許さない。作用域は主文。

(103) 先生は生徒たちに動物園だけの見学を許した。

同様に曖昧。「見学」が行為名詞なので、述語的要素→「だけ」のかかり先候補。

(97)：述語的要素「受講」・「可能」がかかり先になり、曖昧。

(104) この講演会は、[１日だけ受講すること]が可能です。

①「受講する」にかかる。２日間、３日間は受講しないことが可能。

②「可能」にかかる。作用域は文全体。１日の受講が可能、他（２日間・３日間）は可能ではない。

1. 以上の教科書の説明は(97)の曖昧性は純粋に意味論の問題という主張の根拠になっているか？

１つの樹形図を使って曖昧性が記述できるということと、その曖昧性が意味論の問題、つまりコード化された意味の問題ということは別問題。

用言以外の述語的要素は行為名詞に限らない。「…を使って」の「で」は述語性がある。

(105)′ 太郎は左手だけでパソコンを打てる。

①：「左手で」のところにかかる

(107) 《太郎は左手以外（つまり、右手、両手）を使わないでパソコンを打てる》

ので、左手を使う以外のオプションが排除される。作用域は[左手で]

②：「打てる」にかかり、作用域は文全体。

(108) 《太郎は左手以外（つまり、右手、両手）ではパソコンを打てない》

(109) 太郎は左手だけでパソコンを打つ、がもちろん、両手でも打つ。

①なら矛盾しない。

場所の「で」：述語性がないので、このような曖昧性は生じない。

(110)′ 太郎は会社だけでパソコンを打てる。←②に相当するものしかない。

###### 参考文献

カーストン, ロビン. 内田聖二他訳. 2002/2008. 『思考と発話：明示的伝達の語用論』研究社.

第7回　名詞句の意味機能

### 5.4　文中の名詞句の意味機能が曖昧性をもたらす

#### 5.4.1　意味は同じでも意味機能は異なる

ある名詞句に注目するとき、いろいろな角度から分析できる。（角田 2009）

1. 執事が泥棒を捕まえた。

１．語の辞書的意味　《butler》（他には《maid》など）

２．形態格　ガ格　（他にはヲ格、二格など）

３．文法関係　主語　（「泥棒が執事に捕まえられた」では斜格目的語。他には目的語、述語？など）

４．情報構造　焦点　（「執事は泥棒を捕まえた」では主題）

５．意味役割　動作主　（他には被動作主、経験者、場所など）

意味機能はこのどれとも異なる分析の観点。

排他的に分類できているわけではない。２つ当てはまるような場合もある。

(111) a. 社長は天才だ。（**指示的名詞句**）

対象を指している。指示とは何か：仲宗根 2016, 山泉 2020ab。

b. 太郎がぶったのは社長（ヲ）だ。（**指示的名詞句／値名詞句**）

値名詞句：変項xを満たす値という機能がある。

1. [太郎がxをぶった]

のxということ。値名詞句は必ずしも指示的名詞句でなくてもよい。

1. この実験で重要なのは、部屋の温度だ。

c. あの男は社長だ。（**叙述名詞句**）

属性を表す。非指示的。

d. あの男が社長だ。（**変項名詞句**）

e. 社長は、あの男だ。（**変項名詞句**）

命題関数を表す。変数に値を入れると命題が出力される。

1. [xが社長である]

f. （君の会社の）社長を教えてくれ。（**変項名詞句／潜伏疑問名詞句**）

「誰が社長か」という疑問の力を持つ変項名詞句。文全体は潜伏疑問文。

g. 隣の部屋に社長がいる。（**指示的名詞句**）

h. 太郎の同級生には、社長はいない。（**変項名詞句**）

社長を指示しているわけではない。場所は関係ない。

1. 意味機能は何によって決まるか？
2. XがYを食べた。→ XもYも指示的名詞句

「名詞句の妥当な文法はこのような名詞句の多様な意味機能を正しく説明・予測できる理論でなければならない」

###### 註２：非飽和名詞が総称で用いられた場合

説１：会社一般というパラメータの値をとっていて、あくまで非飽和名詞。

説２（教科書）：派生的に「会社の最高責任者」という飽和名詞の意味もある。

根拠？：「社員」「会社員」では飽和・非飽和が分かれているのに「社長」ではわかれていない。

#### 5.4.2　対象を指示する名詞句　指示的名詞句

(112) a. その男は、日比谷公園で君の妹に話しかけた。

具体的に何を指すかを決めるのは語用論。

(113) かぐや姫は、世にも珍しい宝物を探して持ってきた貴公子のところへ、お嫁に行きたいと思っている。

(114) 最大の自然数は奇数である。

###### 【RFT】心的構築物としての指示対象

名詞句と指示対象は指示という関係で直接結ばれる（教科書）。

1. そもそもなぜ、言葉とモノが結びつくのか？

指示対象に対応する心的表象があり、名詞句がそれに関係づけられるから。

指示対象は、心的に構築されたもの（ジャッケンドフ 2012/2019: 第3部）。

→教科書の非指示的名詞句も心的な対象を指示していると考えられる可能性。

**---------**

指示的かどうかは文法レベルの問題。

話し手・聞き手がその指示対象を同定できなくても指示的名詞句になる。

(115) a. 花子は、とにかく犯人に早く会いたがった。

b. 犯人は画家に違いない。

犯人がだれか分かっていない場合：指示対象はある属性を満たすという方法で決まる（帰属的用法）。

**エクササイズ**　下線部が帰属的用法になるのはどちらの文脈？

1. 取調室で取り調べを受けている犯人は職業を明かさないが、ウゴウゴ・ルーガのシュールくんのようにベレー帽をかぶって絵筆とパレットを持っている。犯人は画家に違いない。

2. 犯人はまだわかっていないが、被害者は「大竹まことのただいまPCランド」の真似をして絵の具を食パンに塗って食べていたことがわかった。そして、被害者の胃から猛毒の絵の具が見つかった。犯人は画家に違いない。

**本来的に指示的な名詞句**

名詞自体の意味特性から意味機能に制約があるもの。

* 「ぼく」「君」「彼ら」のような人称代名詞
* 「各人」「多数」「諸国」「大半」「国々」「両者」のような複数性や数量詞を内的意味として含んだ名詞
* 「某所」のような不定限定詞を内に含んだ名詞

#### 5.4.3　対象を指示しない名詞句

##### 5.4.3.1　属性を表す名詞句：叙述名詞句

###### コピュラ文

(116) a. AはBだ。／BがAだ。

b­­­­­­­­～e. A is/est/ist/是 B.

コピュラ：be動詞、「だ」など。

述語が名詞句の場合、主語名詞句・述語名詞句の意味機能がいろいろ。

(117) あの男は指揮者だ。

「あの男」：「あの」が付いているので指示的名詞句としてしか機能しない。

「指揮者」：「指揮者である」という属性を表示。対象を指示してはいない。

属性が主語名詞句の指示対象に帰されている。

1. ジキルはハイドだ。

両者は同一人物だということを表す。

叙述名詞句：対象に帰す属性を表す機能を持つ名詞句。

属性を表すという点では、形容詞・形容動詞と同じ働き。

(118) a. この犬は可愛い。b. この魚は新鮮だ。 c. 彼は勤勉だ。



(119) 措定文「AはBだ」

定義：Aは指示的名詞句、Bは属性を表す叙述名詞句である。Aの指示対象について属性Bを帰す。Bは主語Aに帰される性質概念として機能している。

(118)は名詞述語ではないが、広義の措定文とみなす。

措定文はAとBを入れ替えると措定文ではなくなる。英語も同様。

(120) ?指揮者があの男だ。

(121) a. That guy is a painter. b. \*A painter is that guy.

叙述名詞句は定名詞句でもよい。

(122) なにしてるんだ。これはぼくの本だよ。

(123) a. That person is not the king of France.　b. Obama is the President.

###### 定名詞句の定義：

「聞き手が指示対象を同定できると話し手が想定している名詞句は定（definite）」（『明解言語学辞典』「定性」）

「その名詞句の指示対象がコンテクスト（context）に照らして唯一のものであることが形式上明示されていれば、その名詞句は定」（『意味論キーターム事典』「Definite, definiteness（定、定性）」）

普通は指示対象に依存した定義→非指示的名詞句には当てはめられない。

教科書： theやmyを定の冠詞や限定詞と考えて、それが付いていれば非指示的でも定名詞句。

(124) a. 太郎は画家だ。　←措定文。「画家」は叙述名詞句。

b. 太郎は、職業は画家だ。←「画家」は指示的で、[xが（太郎の）職業である]のxを埋める値名詞句。「太郎は」と「職業は画家だ」の関係は措定の関係と言える。

1. a. 　　　　　　　　　　　　　　　　b.

指示的名詞句の連言and：「と」

(125) 政治家と作家が討論会を開催した。

(126) 私たちは、政治家と作家にインタビューをした。

1. インタビュアーはお笑い芸人と弁護士だ。

叙述名詞句の連言：「で」。

(127) a. 石原慎太郎は、政治家で作家だ。

b. \*石原慎太郎は、政治家と作家だ。

1. a. 　　　　　　　　　　　　　　　　b.

(128) 石原慎太郎は、職業は政治家と作家だ。

→「政治家と作家」は叙述名詞句ではない。指示的名詞句／値名詞句。

ただし、指示的名詞句だから「と」というわけではない。

非指示的・値名詞句の連言：「と」。

1. この実験で重要なのは部屋の気温と/\*で湿度だ。（非指示的・値名詞句）

→「で」か「と」かを分けるのは、指示的・非指示的ではなく、値かどうか？

1. 太郎がこの映画の監督と/で主役だ。（非指示的・変項名詞句）

→「で」と「と」は相補分布ではなく、それぞれ条件を考えないといけない？

##### 5.4.3.2　命題関数を表す名詞句：変項名詞句

(129) 犯人はこの男だ。（倒置指定文）

「この男」：指示的名詞句。

「犯人」：変項名詞句。

1. [xが犯人である]

文全体：「この男」の指示対象がxに入るということを言っている。

1. 《誰が犯人かといえば、この男がそうだ》

(130) a. 犯人は誰であるか。b. 誰が犯人であるか。

背後に疑問文があるというのは、意味論的にどういうことなのか？

語用論的理解：発話が満たそうとしている特定の関連性の期待

（参照　山泉 2020a）

定義(131) 倒置指定文「AはBだ」

a. Aは変項名詞句（NP involving a variable）[…x…]であり、Bは変項xを満たす値を表す。

指定文：BとAの順序を入れ替えたもの。「は」ではなく「が」が使われる。

(132) この男が犯人だ。（指定文）

(133)（この会社の）定年は60歳だ。

(134) 60歳が（この会社の）定年だ。

1. 倒置指定文：　　　　　　　　　　　　　対応する指定文：

変項名詞句の解釈が自然な名詞句：数や計測にかかわる名詞句。量的な値を持つ。

(135) この本の定価は1600円だ。

(136) 洋子の身長は160cmだ。

(137) 浅間山が大噴火した年は1783年だ。

(138) 東京-熱海間の距離は100kmだ。

(139) あの部屋の温度は23度だ。

1. 浅間山が大噴火した年に伊右衛門は生まれた。
2. 東京-熱海間の距離は東京-仙台間の距離より短い。

原因・目的・欠点・理由などを表す名詞句：変項名詞句としての解釈が自然

(140) この火事の原因は漏電だ。

(141) われわれの目的は、あの橋を破壊することだ。

(142) 花子の欠点は、他人の話を最後まで聞かないことだ。

(143) 太郎が遅刻した理由は、彼の車が故障したことだ。

1. これらが変項名詞句になりやすいのはなぜ？
2. 上の変項名詞句になりやすい名詞句が叙述名詞句になりにくいのはなぜか？

名詞句の意味機能はどの言語にも適用できるはず。

(144) The cause of the riot was John’s article. （倒置指定文）

(145) [x is the cause of the riot]

(146) John’s article was the cause of the riot. （指定文）

(147) a. The bank robber is this guy. b. This guy is the bank robber.

(148) a. What I don’t like about John is his tie.

b. John’s tie is what I don’t like about John.

(150) His name is Yamada Taro.

同一性文の解釈だとしたら：his nameが指す名前とYamada Taroが同一だ

措定文の解釈だとしたら：Yamada Taroは主語に帰される属性を表している。

倒置指定文の解釈：《his nameは何かといえば、その答えはYamada Taroだ》

1. 対応する指定文はなぜ不自然か？
2. a. My name is Yamada Taro. b. ?Yamada Taro is my name.

語用論で説明する必要？

エクササイズ　下線部の名詞句を意味機能の観点から分類しよう。①②は帰属的用法か

どうかも答えること。

①指示的名詞句で値名詞句ではない　②指示的名詞句で値名詞句

③叙述名詞句　④変項名詞句で潜伏疑問ではない　⑤変項名詞句で潜伏疑問名詞句

⑥変項名詞句で値名詞句

1. ただ、米軍の資金提供に法律的問題はなく、大阪大は取材に対し「奨学寄付金として受け入れた。学内規定に基づき必要な手続きを経た」と回答した。
2. 開催年の7年前に、IOCの委員達が投票し、立候補した各国の都市の中からオリンピック開催地を決定します。http://matome.naver.jp/odai/2137824508004937801
3. 太郎は恋人の左手薬指の太さを知りたがっている。
4. 面接が最終局面に近づくと「弊社は第一志望ですか？」「弊社の志望順位を教えて下さい」と質問されることがあります。
5. はい、御社が第一志望です。
6. 太郎が一番知りたいのは司法試験の出題者だ。

###### 参考文献

ジャッケンドフ，レイ. 大堀壽夫、貝森有祐、山泉実訳. 2012/2019.『思考と意味の取扱いガイド』岩波書店.

角田太作. 2009. 『世界の言語と日本語 改訂版』くろしお出版.

仲宗根勝仁. 2016. 「意味論的内在主義の擁護に向けて」『メタフュシュカ』47: 35–48.

西山佑司. 2013. 「変化文、潜伏疑問文、潜伏命題文」『名詞句の世界』ひつじ書房.

山泉実. 2020a.「指示参照ファイル理論序説」『日本語・日本文化研究』30. 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻.

山泉実. 2020b.「認知的視座からの意味論と形而上学」『日本語・日本文化研究』30. 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻.

第8回　コピュラ文の曖昧性

#### 5.4.4　「AはBだ」の曖昧性

##### 5.4.4.1　措定文と倒置指定文の曖昧性

どちらも「AはBだ」。「は」は埋め込まれると「が」になることがある。

1. 太郎は学生だ。（措定文）
2. 太郎が学生だとみんな知っている。
3. 犯人は太郎だ。（倒置指定文）
4. 犯人が太郎だということは周知の事実だ。

埋め込み文は以下では考えない。

(153) 私の意見は大学の意見です。（措定文or倒置指定文）

大学の理事長が「スーパーグローバル時代に地元で羽ばたく〇〇大学（）」と題して講演した後

措定文：《私が今しがた述べた意見は、大学の意見を反映しています》

日和見主義者の大学の先生が意見を聞かれた時

倒置指定文《私の意見はなにかといえば、大学で決めた意見がそうだ》

「私の意見」：具体的な内容を指示せず、命題関数[xが私の意見である]を表す。

**エクササイズ**　措定文の読みと倒置指定文の読みはどう違う？ 自己中心的な人の発話はどっち？ 相手思いの人の発話はどっち？

1. 私の幸せはあなたの幸せだ。

(155) a. 甲：花子をぶっている少年は誰ですか。

b. 乙：花子をぶっている少年は山田太郎です。

※疑問文にも措定文・倒置指定文の区別はある。

１．aもbも措定文：花子をぶっている少年が甲乙に見えている場合

「花子をぶっている少年」：その人を指示。

「山田太郎」：その人の名前という属性。

（固有名詞の属性としての名前については、上林 2000参照）

1. a. 甲：花子をぶっている少年は何といいますか。

b. 乙：花子をぶっている少年は山田太郎です。

２．aもbも倒置指定文：誰が花子をぶっているのか甲は遠くてわからない。そこで、双眼鏡を持っている乙に聞いた場合。

甲：下線部で特定の少年を指しているのではなく、xを埋める値を尋ねている。

(156) [xが花子をぶっている少年である]

乙：値は山田太郎だと述べている。

(155)′ a. 甲：花子をぶっている人は誰ですか。

b. 乙：彼は山田太郎です（措定文）。／それは山田太郎です（倒置指定文）。

Q 名前の措定文は指定文に近い。(155)の2つの読みに大きな違いが感じられないのは何故か？

【RFT】1. 名前は同定に使われる。2. 人には普通名前があるので、名前を知らない人はその人に対応するRFができると、名前：xと埋められるべき変項付きの特質があり、それが埋められる。【/RFT】

(157) 私が食べないものは、犬用の餌だ。

１．措定文　下線部である食べ物を指示し、それに「犬用の餌」という属性を帰す。

1. 暗意《私が食べないで残している料理は犬にくれてやれ》《こんなまずい料理を人間が食えるか》

２．倒置指定文

1. 「私、好き嫌いないんですよ。何でも食べます。」「えっほんとですか、食べないものないんですか？」

(159) [xが私が食べないものである]　←xの値が「犬用の餌」で埋められている。

(160) 犬用の餌が、私が食べないものだ。

(161) The winner of the contest is John.

１．措定文：表彰式を見ている人がの１人が表彰台の頂点にいる人の名前を聞いて、もう１人がそれを答える場合。

２．倒置指定文：ある競技で誰が優勝したのかを電話で尋ねられて、《優勝者は誰かといえば、ジョンだよ》の意味の場合。

(162) John is the winner of the contest.

**措定文読みと倒置指定文読みは、この文の真理条件に一切効いてこない。**

「妥当な意味論はこの曖昧性をきちんと説明できなくてはならない」が、真理条件的意味論は説明できない。

1. 彼の意見が党の意見（措定文）なら、彼に投票しよう。
2. 彼の意見が党の意見（倒置指定文）なら、彼に投票するのはやめよう。

（梶浦恭平の例を改変）

(163) The assassin wasn’t the king’s brother.

(165) 暗殺者は国王の兄弟ではなかった。

１．倒置指定文：暗殺者が捕らえられている。王の弟に見える。しかし、よく調べると、その影武者だとわかった。【倒置同一性文？】

２．措定文：暗殺者が捕まっていないが、噂では王の弟。しかし、アリバイがあって、犯人ではないことがはっきりした。

(164) The king’s brother wasn’t the assassin.

###### 前提の違い？

(163)が倒置指定文の場合は、以下の前提があるとされている。

(166) The king has a brother.

前提：「ある命題が真か偽かを判定するために真とされなくてはならない命題」「前提はその文が否定されても保持される」

（『意味論キーターム事典』「Presuppose, presupposition」）

1. 太郎：コーヒー飲みますか？

花子：さっき私の弟と２杯飲みました。

表出命題：花子は花子の弟とコーヒーを２杯飲んだ。

暗意implicature：花子は（今）コーヒーを飲まない。

表出命題が偽なら、推意が真とは考えられない。

意味論的含意entailment：花子はコーヒーを１杯飲んだ。

表出命題が真であれば、意味論的含意は必ず真。偽であれば、これが真であることは保証されない。

前提：花子には弟がいる。

花子の表出命題が真でも偽でも、前提は真。

→前提は、表出命題とも暗意とも意味論的含意とも異なる。

※発話の明意、暗意、意味論的含意、前提は一つとは限らない。

1. 暗殺者は不老不死の人ではなかった。

**エクササイズ**[14]の太郎の発話の表出命題、暗意、意味論的含意、前提はどれ？

1. 花子：タバコ一本いかがですか。太郎：先月からタバコはやめているんです。
2. 太郎は以前タバコを吸っていた。
3. 太郎は花子のタバコがいらない。
4. 太郎は先月からタバコをやめている。
5. 太郎は先週タバコを吸っていない。

(167) a. 店主：奥様、若くてきれいですね。

b. 太郎：こちらはぼくの妻ではありません。

措定文。太郎が独身で、「ぼくの妻」が存在しなくてもこの発話は問題なく真。

(168) a. 刑事：こんな手紙が出てきたのですが、奥様の字ですか。

b. 太郎：この手紙を書いた人はぼくの妻ではありません。

倒置指定文。「(168b)が真であるためには、「太郎の妻」が指示対象をもつ必要がある。つまり、太郎が結婚していなければ、(168b)は真にならないのである」。本当？

1. そもそもぼくは独身です。

(169)も同じ曖昧性。

(169) His first proposal was a joke.（彼の最初の提案はジョークだった。）

措定文《彼が最初にした提案はふざけていた》

≒(170) His first proposal was laughable.

倒置指定文《彼はジョークを最初に提案した》

≒(172) A joke was his first proposal.

##### 5.4.4.2　“what節＋be＋XP”構文の曖昧性（西山 2010）

(173) *What I don’t eat* is food for the dog.

①措定文：what I don’t eatはNP。自由関係節（関係代名詞whatを使ったもの）。NPは指示的。述語名詞句は叙述名詞句。

②倒置指定文：what I don’t eatはNP。自由関係節。このNPは非指示的、変項名詞句。述語名詞句は指示的・値名詞句。日本語に訳した意味構造は(180)。

(174) [x is the thing that I don’t eat]

(175) Food for the dog is what I don’t eat.

と言い換え可能。

③擬似分裂文What S is XP：what I don’t eatは文で、統語論的に欠けている要素がある。欠けている要素はコピュラの後のXPで指定されている。eatの目的語はwhatではなくfood for the dog。日本語に訳した意味構造は(181)。

「(173)をこの意味での擬似分裂文として読むということは、(173)は、(176)におけるfood for the dogを強調するため、[I don’t eat x]と[food for the dog]に分裂させた文だと見なすことにほかならない。つまり、(173)のwhat節を、(178) [s I don’t eat x]のような統語論的に空所xがあるSと見なすのである。」

※擬似分裂文も倒置が可能なので、(175)の形にできる。(175)という指定文で言い換えできるのは確かに倒置指定文の読みだけだが、(175)の形で言い換えられるのはそれだけではない。

(183) What we saw in the park was a man and a woman.

①措定文：《われわれが公園で会った人は、男でもあり女でもあるような属性を有していた》　What we saw in the parkは指示的・自由関係節。a man and a womanはひとまとまりの叙述名詞句。

②倒置指定文・③擬似分裂文：《われわれが公園で会ったのは、１人の男と１人の女だった。》①とは真理条件が違う。

(184) What he wants his next wife to be is fascinating.

①措定文：what ~は指示的・自由関係節。ある特性を指示。それはfascinatingだと叙述。

③擬似分裂文：《彼が次の妻に望んでいることは何かといえば魅惑的であることだ》①とは真理条件が違う。

≒(185) He wants his next wife to be fascinating.

##### ②倒置指定文と③擬似分裂文の違い（西山 2010）

1. (173)の正しい分析はどちらか？

###### 分析②を③に還元することもその逆も不可能。

根拠１．「wh節を統語論的空所を含むS’とみなすか、変項名詞句（NP）とみなすかという点で両者の意味構造が本質的に異なる。」p. 85

根拠２．焦点要素の名詞句が有する格も異なりうる

(179) 私が食べないのは、犬用の餌（ヲ）だ。（③）

(157) 私が食べないのは、犬用の餌（ガ）だ。（②）

※「ガ格においては倒置指定文「BはAだ」において、元来 「A」の後ろにあったはずの格助詞ガは必ず消去される、つまり「BはAがだ」という形は許されないが、他の格助詞では消去されずに残ってもよい」（上林 1998: 101）

→(157)で「が」が出て来る形は容認できない。主格というのは、理論的・抽象的なレベルの話。

###### ③分裂分析の利点

１．岸本・菊地(2008: 45)の例（西山 2010: 84–85より）

1. What Johni is is important to himi. （①措定文。②③の解釈は不可。）

《ジョンのある種の属性（職業など）がジョンにとって重要》

1. What Johni is is important to himselfi. （②③。①の解釈は不可。）

《ジョンは自分自身にとって重要》

《ジョンはどのような属性をもっているかというと、彼自身にとって重要という属性をもっている》

1. ≒ John is important to himself.

[22]が措定文の解釈を許さないという事実は、[22]の派生のどこかのレベルに[23]の構造が要求されるといえる。この事実は空所を含むS’という③の分析（[23]が分裂するという分析）ではごく自然に説明できる。

２．Faraci (1971: 50)（西山 2010: 85より）

擬似分裂文のwhat節と焦点要素の関係は、wh疑問とそれに対する答えの関係と並行的。→擬似分裂文は[疑問is答え]という文という考えは直観的に納得。

1. What blew the door open was the wind.
2. a. John: What blew the door open?

b. Mary: The wind.

###### ②倒置指定分析の利点

１．倒置形があることの根拠を与える。倒置XP is what～が、（英語では普通主語にならない形容詞句や動詞句がXPでも）可能であるのは、倒置指定文に対応する指定文があることから説明できる。

1. A good rest is what you need most.
2. Silly is what John is.
3. Important to himself is what John is.
4. Answer the question was what John did.

２．他のwhat節の意味機能を名詞句の意味論で扱える。

what節は自由関係節・NP → 指示的名詞句、叙述名詞句にもなる

1. a. What Mary bought was crucial for him. （指示的名詞句）

b. What Mary lost was her passport. （変項名詞句）

c. John is not what he used to be. （叙述名詞句）

②の残された問題

自由関係節・NPとしてのwhat節は、変項名詞句として、普通のNPと同様に、変化文（入れ替わりの読み）、絶対存在文、潜伏疑問文にも登場しうる筈だが、強い制約があるように思われる。

西山 2010の結論：“what節＋be＋XP”構文の正しい意味表示には、２つの分析が明確に区別されて表示されるべきであり、したがってこの構文は曖昧である。

(186) What Henry whispered to Nancy is a military secret.

①措定文　主語名詞句であること（例　最高司令官が来週辞任する）を指示して、その事柄に軍事機密という属性を帰している。

②③ 倒置指定文・擬似分裂文《ヘンリーがナンシーに何をささやいたかと言えば、ある軍事上の機密をささやいたのだ》

④ 主語を間接疑問節として解釈。

《ヘンリーがナンシーに囁いた内容が何であるかは軍事上の機密だ》

[ヘンリーがナンシーにxをささやいた]のxの値を明かすことが軍事機密違反。

a military secret：属性を表す叙述名詞句。

主語：あることを指示している指示的名詞句ではない。変項名詞句。

→文全体は普通の措定文ではない。新しいタイプのコピュラ文（潜伏疑問叙述文）

(187) ヘンリーがナンシーにささやいたことは軍事上の機密だ。

④可能？

⑤措定文

《ヘンリーがナンシーにささやいたということ、そのことは軍事上の機密だ》

主語名詞句：外の関係の内容節。「ヘンリーがナンシーにささやいた」ことそのものを表している。

「軍事上の機密」：その属性。

###### ④のような新しいタイプのコピュラ文について

《変項の値が何であるかは斯く斯く然々の属性を持つ》

(188) 来場所の優勝者は明らかだ。（それは白鵬だよ。）

「明らか」：個体の属性ではない。→「来場所の優勝者」：指示的ではない。

1. ?白鵬は明らかだ。

「来場所の優勝者」： “意味の或るレベル”では [xガ来場所の優勝者である]という命題関数を表す変項名詞句。それを元にして潜伏疑問（誰が来場所の優勝者か）を表す名詞句。

(192) ブラジルの首都はどこですか。

①(190) a. John: What is the capital of Brazil? （倒置指定文）

b. Mary: The capital of Brazil is Brasília.

変項の値を尋ねている。

②(193) Where is the capital of Brazil?

the capital of Brazil：指示的名詞句。

地理的な場所を聞いている。所在文。

(194) この書類の提出先はどこですか。

倒置指定文に対する答え：「それは教務課です」「それは学生部です」。

所在文に対する答え：「A棟1階、右の通路の突き当りです」。

###### エクササイズ　「ジョンはどこの大学の出身ですか？」と「ジョンはどこ大の出身ですか？」では解釈の可能性に違いはあるか？

##### 5.4.4.3　措定文と指定文の曖昧性

「は」と「が」の区別がない英語では、この2つでも曖昧になる。

(195) Obama is the President.

(196) オバマは大統領である。（措定文）

(197) オバマが大統領である。（指定文）

≒(198) The President is Obama. （倒置指定文）

(198)も曖昧。

(200) 《大統領はオバマという名前の持ち主だ》（措定文の読み）

###### 参考文献

「Presupposision前提」『語用論キーターム事典』

上林洋二. 1998. 「「新から旧への原則」と指定」『文学部紀要』 Vol.12, No.1, pp.99–109. 文教大学.

上林洋二. 2000. 「固有名の意味論」『文学部紀要』 Vol.14, No.1 ,pp. 44–53. 文教大学.

岸本秀樹・菊地朗. 2008.『叙述と修飾』研究社.

第9回　存在文の曖昧性

#### 5.4.5　存在文の曖昧性

場所存在文：（場所）ニ＋（存在の主体）ガ＋アル／イル

(201) a. 机の上にバナナがある。b. 台所に母がいる。c. やばい、警察官がいるぞ。

場所はコンテクストから明らかなら省略可能 (201c) 。存在の主体も同様。

1. 「台所に母はいますか？」「います」

主語は存在の主体を表す指示的名詞句。特定的でも不特定的でもよい。

##### 特定的指示と非特定的指示（reference『意味論キーターム事典』）

1. John wants to marry a doctor.

特定的指示の解釈：ジョンはある医者と結婚したい。

聞き手には特定できないが話し手には特定できている。

不特定の解釈：ジョンは誰か医者と結婚したい。

話し手にも特定できていない。

特定的指示specific reference：話し手にとって特定の存在を指示する。

不特定的指示non-specific reference：~~仮定上、もしくは仮想上の存在を指示する。~~

「話し手にとって特定でない存在を指示する」。

1. シャーロック・ホームズはイギリス人だ。（『事典』…不特定、教科書…特定）

世界にあるいかなる特定の指示対象も選び出してはいないため、非指示的とする理論もあるが、教科書の理論では指示的。総称指示も同様。

定指示はたいてい特定的、不定指示はどちらにもなり得る。

(201a)…不特定的？ 場面によるとのこと。では、厳密にはどういう区別か？

[3]…聞き手が特定できているかではない。むしろ話し手。

厳密には、話し手が特定できていると聞き手が想定していると話し手が想定しているか否か。

##### 絶対存在文

(203) この問題を解くことができる人間はいない。

ある人間を主語名詞句で指して、その個体がどこかの場所に存在しないということではない。

(204) 誰もこの問題を解くことができない。

(205) [xがこの問題を解くことのできる人間である]

存在主体を表す名詞句：変項名詞句

文全体：変項の値の有無を述べる

(206) 洋子の好きな科目がある。

(207) [xが洋子の好きな科目である]

1. 洋子は数学が好きだ。

(208) 洋子の好きな科目は数学だ。（倒置指定文）

1. 《洋子の好きな科目は何かといえば、それは数学だ》

倒置指定文は値を述語名詞句で指定、絶対存在文は、値の有無だけを述べるという違いがあるが、明らかに両者には密接な関係がある。

(209) あなたより美しい人はいない。

これも絶対存在文と取るのが一番自然。《あなたが一番美しい》

1. 場所辞が省略された場所存在文と取るとどういう意味？

**【RFT2】質問できないのは個体を指していないことの証拠になるか？**

(203)：「その人は～ですか」という質問ができるはずなのにできない。

しかし、肯定文にすると質問できる。

(203)′ この問題を解くことができる人間はいる。

場所存在文の否定でも同様の質問をすることができないことが多い。（石塚政行、個人談話）

1. 「机の上に猫はいない。」 「?その猫は黒猫ですか？」

聞ける場合もある。

1. 「机の上にミケはいない。」 「その猫はミケ猫ですか？」

存在が主張されている個体について属性を質問できないことは絶対存在文一般について、主語名詞句が個体を指示しないということの論拠にはならないだろう。

1. 否定存在文に続けて存在が否定された対象について質問できるのはどういう場合？

仮説：主語NPに対応する指示参照ファイルのIDが定項の場合。

1. いろいろな手がかりは見つかったが、いまだ事件の犯人がわからない。

【/RFT】

##### 領域限定辞と存在文の曖昧性

(210) あなた方の中に、私を裏切った人がいる。

「あなた方の中に」：場所辞ではなく変項xの値の走る範囲を限定する領域限定辞

(211) 《[xが私を裏切った人である]の変項xを埋める値は、あなた方の中に落ちる》

(212) あの大学にノーベル賞受賞者がいる

場所存在文：「あの大学に」は地理的範囲。他大学の受賞者でも、発話時にその大学内にいれば真。

絶対存在文： 「あの大学に」は領域限定辞。大学のスタッフにノーベル賞受賞者がいれば、たとえその人がキャンパス内にいなくても真。

(213) 《[xがノーベル賞受賞者である]の変項xの値があの大学のスタッフの中に落ちる》

【RFT3】絶対存在文・場所存在文の違いではなく、「あの大学に」の解釈の違いなのではないか。どちらの場合も、肯定文なら、その人は何歳ですか？と聞ける。否定文の場合にそういうことが聞けないのは、「ノーベル賞受賞者」に対応する指示参照ファイルにIDが無く、属性（内容特徴）もないからだろう。【/RFT】

##### 英語の例

(214) There are two books on the table.

場所存在文。on the tableは場所辞。

(215) There are two books required for the course.

絶対存在文。books required for the courseは変項名詞句で、変項を満たすものが２つあることを述べている。

※there構文の主語はどれ？ There is/are …, isn’t/aren’t there? / There’s + 複数

(218) There is a professor who won the Nobel prize at the university.

久野 1973：存在文は全部場所存在文。←この曖昧性が説明できない。

ただし、「不特定な事物の有無多少を表わす文を「存在文」と呼ぶ」。p. 266

(219) There is something John wouldn’t eat.

【RFT4】指示参照ファイルのIDが定項なら場所存在文の読み、自由変項なら絶対存在文の読みということではないか。自由変項なら、まずはそれが存在するということを述べる必要があるから絶対存在文になり、定項ならそれが存在するということは了解済みなので、場所存在文になる【/RFT】

(220) 欲しいものがないわ。

場所存在文：場所辞を補う必要がある。

絶対存在文：領域限定辞を補わなかったら、発話者は無欲な人。「箕面」などが補われたら領域限定辞で、その領域にはめぼしい物がないということ。

数量詞との共起（西山 2013: 6節）

**弱い数量詞**：絶対的な個数を数え上げる。例「たくさんの」「～人の」「いくつかの」

絶対存在文と共起可能。

1. たくさんの壊れた家がある。（←ok?）
2. 壊れた家がたくさんある。

**強い数量詞**：与えられた母集合のなかで占める割合を表す。例 「すべての」「大部分の」「半分の」「～％の」

絶対存在文と共起しない。

1. ?大部分の壊れた家がある。
2. ?壊れた家が大部分ある。
3. 試験を受けなかった学生が10%いる。

10%の母集合は試験を受けなかった学生ではない。

“絶対存在文において、存在主体は変項名詞句であり、文全体はその変項を埋める値の有無、あるいは、値の個数の多少を問題にするがゆえに、絶対存在文の存在主体に、 ［強い数量詞十名詞句］は出現できず、［弱い数量詞十名詞句］しか出現できないといえる。” p. 268

【独自研究１】強い数量詞を絶対存在文に付けてみると・・・

(206)´ この学部に洋子の好きな科目が大部分ある。

(210)´ あなた方の中に、私を裏切った人が大部分いる。

(212)´ 大学にノーベル賞受賞者が大部分いる。【/独自研究】

##### 帰属存在文

(221) 国立国会図書館に、太郎の読みたい本が1冊もない。

①場所存在文：《国会図書館という地理的空間に、太郎の読みたい本、すなわちA～Cが所在しない》

「太郎の読みたい本」：指示的名詞句。

所在しない：貸出中の解釈か所蔵されていないという解釈。

②(223) 絶対存在文：《[xが太郎の読みたい本である]の変項xの値が国立国会図書館の蔵書の中に落ちない》

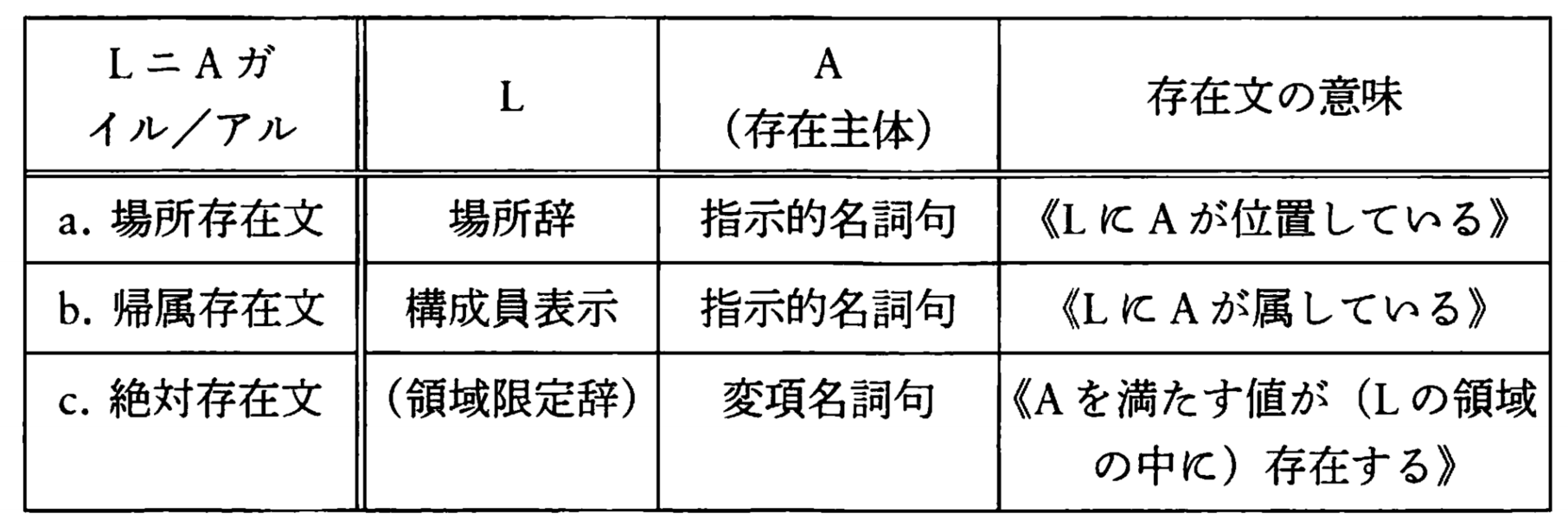
国会図書館の全蔵書の中に太郎が読みたいと思う本が１冊もない。

「国会図書館に」：地理的空間を表わす場所辞ではなく領域限定辞。

③帰属存在文

「太郎の読みたい本」：特定の本を表わす指示的名詞句。

「国会図書館」：地理空間ではない。「L（もしくはLを基礎にして語用論的に構築されたL′）がしかじかの構成員（これも語用論で埋められる）からなる集合を表し、帰属存在文では必須要素」（西山 2013: 277）。変項はないので、変項の値が走る範囲とは言えない。真偽の確認に全蔵書を調べる必要はない。



（西山 2013: 283）

【独自研究2】④場所限定付き絶対存在文？

1. くまなく歩き回って全ての本を見たが、K大学図書館（内）に、太郎が読みたい本がない。

→ 場所or蔵書 × 特定の本（ID定項）or不特定の本（ID自由変項）で4通り？

* 1. 機内に急病人を診れる人がいない。

【/独自研究】

**理論的主張**

場所存在文と絶対存在文の曖昧性は、この理論では、文の意味構造・言語的意味に起因する純粋に意味論上の問題であって、語用論上の問題ではない。

否定されている可能性１．抽象的な言語的意味を想定して、コンテクストを参照しながら語用論的操作によって、どちらかの読みを明意として得ることは、「文中のある名詞句について、それを指示的名詞句でもなく、変項名詞句でもない、中立的なものを仮定することなどは不可能だから」できない。

否定されている可能性２．言語的意味は場所存在文だけか絶対存在文だけかにして、もう一方は語用論的操作で明意として派生。文中の指示的名詞句をコンテクストによって変項名詞句に読み替えることやその逆があり得ないから不可能。

結論：場所存在文の読みと絶対存在文の読みは異なった意味構造として意味表示の段階（語用論的操作が入る前の段階）で規定する必要がある。

**【RFT1】指示的名詞句でもなく、変項名詞句でもない、中立的なものを仮定する**

**（山泉 2020a, b）**

指示対象：第一義的には外界にある事物ではなく、それに対応する心的表象（指示参照ファイル）。

指示：言語表現と指示参照ファイルを対応させること。

いろいろな心的表象：区別して認識されている個体の心的表象には定項のIDがある。

例「アリストテレス」は定項のID付きの個体の指示参照ファイルに対応。「プラトンの一番有名な弟子」「ニコマコス倫理学の著者」「アレキサンダー大王の家庭教師」も同じ心的表象に対応させることができて、全て同じ人のことと知っている人の心では全部同じIDの指示参照ファイルに対応。

どの個体かの識別ができていない心的表象：

例 未解決事件の犯人。26cmの靴を履いているとか、血液型はAB型とか情報はあってもIDは定項ではなく自由変項x。

（他の指示参照ファイルとは区別されるが、属性の集合とは異なるものとしての同一性はない。）

cf.　藤原紀香の属性：女、日本人、元ミス日本だ、片岡愛之助の妻、など。

★ 藤原紀香は属性が全部変わっても藤原紀香でなくなるわけではない。

ID：この意味での同一性があるものの指示参照ファイルには定項が与えられる。

指示参照ファイルに定項のIDが割り当てられるかどうかは心的状況の違いなので、語用論的な違い。意味論（言語表現によるコード化）的にはその点は中立。

指示参照ファイルの自由変項IDが定項になるということは知識の改善をもたらす。

1. 犯人はアリスだ。（「犯人」のID xがアリスのID aで定められる）

→ 変項名詞句は命題関数を表わすと考えず、指示的名詞句でもなく、変項名詞句でもない中立的なもの、つまりIDについてニュートラルな指示参照ファイルを、NPとファイルの対応規則において仮定することは可能ではないか。

存在文でも、IDについてニュートラルなファイルに対応するNPと領域か場所かについて不明瞭なLを想定すれば、意味論的に区別する必要はないのではないか。

**(213)　世界に５人しかいないこの難題を解ける数学者が、隣の部屋にすべている。　（西山 2013: 323）**

全体は場所存在文：主語名詞句は指示的名詞句のはず。

「世界に５人しかいないこの難題を解ける数学者」：絶対存在文「この難題を解ける数学者は世界に５人しかいない」に由来するので、変項名詞句のはず。

指示的名詞句と変更名詞句を全く違うものとする理論では問題。p. 324

1. ??隣の部屋にすべているこの難題を解ける数学者が世界に5人しかいない。

これがおかしい理由：絶対存在は、最も背景化された情報として表さないといけない。述定ではなく装定。この例は、場所存在が関係節、絶対存在が主節だからおかしい。

1. ?この難題をとける世界に5人しかいない数学者が隣の部屋に全ている。
2. ?隣の部屋に全ている世界に5人しかいないこの難題をとける数学者は全員男だ。

これがおかしい理由：関係節の順序。おそらく、関係節が複数個主名詞の前に出てくる場合、樹形図に従って、主名詞に近いものから順に処理されるわけではなく、出てきた順に処理される。そうだとすると、最も根本的な情報を表す絶対存在文は最初に来るべき。

(213)の「数学者」の指示参照ファイル

ID x[x1~x5]（「しか」… x6～はない）

属性：xが数学者である、xがこの難題を解ける、xが隣の部屋にいる

IDが自由変項のファイルは、内容特徴を複数持てる点が、変項名詞句とは異なる。

**【/RFT】**

存在文は他のタイプもある。詳しくは西山 2013a、西山 2003: 9章。

###### 参考文献

西山佑司. 2013. 「名詞句の意味機能から見た存在文の多様性」『名詞句の世界』pp. 251–328.ひつじ書房.

山泉実. 2020a. 「指示参照ファイル理論序説」『日本語・日本文化研究』30: 1-28. 大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻.

山泉実. 2020b. 「認知的視座からの意味論と形而上学：指示参照ファイル理論と認知形而上学」『日本語・日本文化研究』30: 29-52. 大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻.

第10回　潜伏疑問文、変化文、変項の束縛

#### 5.4.7　変化文の曖昧性

1. NPが変わる

曖昧性はNPが指示的名詞句か変項名詞句かによる。

変貌読みの変化文：個体の属性の変化。

(243) 10年ぶりに太郎に会ったが、彼はずいぶん変わったね。

同一性はあるが見た目、性格、話し方のようなものが変わったということ。

1. 箕面はすっかり変わった。
2. あの大学も変わったものだ。
3. マイケルの顔がどんどん変わる。

入れ替わり読みの変化文

(245) a. 花子の職業が最近変わった。b. 洋子の住所が変わった。

c. 太郎の座席が変わった。d. 卒業式の日程が変わった。

e. その本の定価が変わった。

変貌読み

(244) a. （時刻T*k*において）彼は攻撃的だ。

b. （時刻T*k+j*において）彼は穏やかだ。

措定文で表されるような変化。

入れ替わり読み

主語名詞句は指示的ではない。変項名詞句。

(246) [xが花子の職業である]

その変項を埋める値が入れ替わったということ。

(247)′ a. （時刻T*k*において）言語学者が花子の職業だ。

b. （時刻T*k+j*において）ヤクザが花子の職業だ。

指定文で表されるような変化。

1. この２つの読みの違いをどのように捉えるべきか？

変貌読みと入れ替わり読みの違いは、措定文の変化と指定文の変化の違いに還元できる。

1. (243)が変貌読みしかないのは何故か？
2. (245)bdeは変貌読みができないのはなぜか？

変貌読みと入れ替わり読みで曖昧な変化文

(248) 花子の指導教授が変わった。

(249) 鈴木教授の研究室が変わった。

(251) この5年間で社長の女性秘書が次第に美しくなってきた。

1. モーニング娘。がこの20年間でかわいくなくなってきた。

※グループの同一性は、メンバーが初期から全て入れ替わっても保たれる。

(253) Mary’s favorite composer has changed.

(255) The food here is worse and worse.

(259) Your apartment keeps getting bigger and bigger.

**エクササイズ　どちらの読み？ 入れ替わり？変貌？**

1. 日産は社長と一緒に社員も変わった。
2. 根本は、「優先順位が変わった」んだそうで、婚活、飲み、他の友達を優先したくなったそうです。まあ、わかるんですが…　知り合った当初からこのようなことを言っているのだったら仲良くなっていないのですが、この数か月程度で人が変わったようにいきなりこうなったのでショックと戸惑いが大きく、とても悩んでいます。http://hasunoha.jp/questions/1781
3. （一夫多妻制）イブラヒムの妻が徐々に変わった。
4. （キャンピングカー）太郎の住所が少しずつ変わっている。

コラム　認知形而上学的思考実験：グループの同一性

モーニング娘。は、結成当時からはメンバーが全員入れ替わっているが、グループとしての同一性が感じられる。グループの同一性は何によってもたらされるのだろうか。

仮説：グループ名とメンバーが同一性の二大要因。

B’zの二人がグループ名を変えてC’zになっても同一性あり。

B’zの一人が別の人になっても一応同一性あり。

稲葉と他のギタリストがC'zになったら同一性なし？

名前はそのままでも二人とも変わったB’zは同一性なし。ただし、４人で１度ライブをやったら同一性あり？ その場合、稲葉と松本が別名でユニットを結成しているとそちらに同一性が認められそう。

二人変わって名前も変わったら同一性なし。

分裂も可能？　B’z解散→稲葉と他のギタリストでB結成、松本と他のボーカリストで’ｚ結成、B’zの歌をどちらも歌っている。どちらもB’zの同一性を引き継いでいる。

<https://www.youtube.com/watch?v=wKcFLHSXThA&t=15s>

グループの構成員が１人になった場合（例 バカリズム）：

枡野の同一性とバカリズムの同一性はほとんど変わらない。２人の時代を知らない人にとっては、枡野と誰かがバカリズムになって、枡野がバカリズムから抜けても、残った１人にバカリズムとしての同一性は感じられなそうで、この点が上の４人でライブをやった場合とは異なる。

認知形而上学：山泉 2020、2023

#### 5.4.6　潜伏疑問文

意味的には疑問詞疑問と等価な機能を果たす名詞句が入っている文。

1. 太郎は花子の好きな作曲家に関心がある。

潜伏疑問でない読み：例えば、下線部でバッハを指示して、太郎はバッハに関心がある。太郎は花子がどの作曲家を好きかには関心があってもなくても真。

潜伏疑問の読み：下線部は変項名詞句。《太郎は、花子の好きな作曲家は誰かに関心がある》という読み。太郎は音楽に全く関心がなくても構わない。

(225)′ [xが花子の好きな作曲家である]

命題の変項xの値を埋めることに関心がある。指定コピュラ疑問文と密接な関係。

1. 誰が花子の好きな作曲家か。
2. 太郎は花子のLINE IDを知りたい。
3. 花子は太郎にLINE IDを教えた。
4. cf. 花子は太郎に数学を教えた。（変項名詞句ではない）
5. 太郎を殺した犯人がわからない。

一般に潜伏疑問文を構築する名詞句は、指定コピュラ疑問文の意味構造を有する名詞句にほかならない。

**変項名詞句の表わす命題関数と潜伏疑問文の意味構造の関係**

教科書：潜伏疑問文を構築する名詞句は、意味の深いレベルでは変項名詞句として機能している。潜伏疑問名詞句が有する疑問の意味は変項名詞句を基礎にして意味論的に構築された結果。

峯島 2013: 註2：変項名詞句が表わす命題関数[…x…]（命題を出力する関数）とその変項の値を問うWh疑問[何（誰）が…であるか]は概念的に区別できる。

区別して考えた場合（西山 2013）：疑問詞疑問を意味上の項とする述語（CQ述語）が、その項になっている変項名詞句の表す命題関数の変項を疑問詞に置き換える力をもっている。

1. John announced the winner of the contest. (西山 2013: 379)

the winner of the contestは意味のあるレベルでは、[x is the winner of the contest]という命題関数を表す変項名詞句として機能している。

この変項名詞句はCQ述語announceの目的語であるから、xがWh化され、Who is the winner of the contest?という指定疑問文の意味構造を有する潜伏疑問名詞句と解釈される。

その結果、意味表示として、JOHN ANNOUNCED WHO WAS THE WINNER OF THE CONTESTが得られる。

(226) 太郎は、花子の住んでいる町を知らない。

指示的：その町について知識がない。

変項名詞句：変項xの値を指定する能力がない。

1. 《太郎は、花子の住んでいる町がどの町であるか知らない》

(228) 私は、花子が描いた絵がどうしてもわからない。

指示的：《理解できない》

変項名詞句：《特定できない》。

両方を同時に意味することは不可能。

変項名詞句の場合、間接疑問文で書き換えられる。

1. 太郎は、花子がどの作曲家を好きであるかに関心がある。

(230) 太郎は、花子がどの町に住んでいるかを知らない。

(231) 私は、花子がどの絵を描いたかわからない。

潜伏疑問となり得る名詞句を含む文が曖昧であるとは限らない。

(232) 太郎は、警察に誰が犯人かを教えた。

(233) 太郎は、警察に犯人を教えた。

「教える」は直接目的語に指示的名詞句がくることもできる。

(234) 太郎は、花子が白状したことを知っている。

①変項名詞句

(237) 太郎は、花子が白状したことが何であるかを知っている。

②指示的名詞句：外の関係の内容節

(235) 太郎は、[花子が白状した]ということを知っている。

③指示的名詞句：内の関係

(236) 太郎は、[花子が白状した]内容を（花子と独立に）知っている。

①の場合は、太郎は、花子が犯行の動機を白状したということは知っていても、動機が何かまでは知らないかもしれない。③の場合は、花子が犯行の動機を白状したということは知らないかもしれないが、犯行の動機が何かは知っている。

**エクササイズ　上の①②③のどれに相当する解釈が自然？**

1. 今まで転職をしたり、結婚して退職後は派遣やパートで働いたりしてるので　何度か採用のための面接と言うのを受けているのですが　採用となって職場に初出勤した時、その職場の人がやたらめったら　私が面接で話したことを知っている事があり、嫌な思いをしました。　　もちろん履歴書に書いてある学歴や職歴などを知らされているのはいいんですが[…] http://komachi.yomiuri.co.jp/t/2010/1126/366737.htm
2. **「やらなかったらやられる」「精神的方法で人生を壊そうと」**

山本被告は大学5年で、高窪さんの研究室に所属。発表などの際に緊張してしまうことを高窪さんに相談したところ、「自分も講義の時は緊張している」と打ち明けられ、「このことは誰にも言わないで」とも頼まれたという。しかし、山本被告は知人の帝京大学教授にこの話をしてしまう。その後、研究室へ行くと「裏切った」と話している声が聞こえてきたという。

検察官「なぜみんなが、私が帝京大の教授に高窪教授のことを話したことを知っているのか、と思いました。研究室の人たちに盗聴されているのかと思いました。

http://ja.yourpedia.org/wiki/山本竜太の公判

1. なぜわたしを尋問するのか。わたしが何を話したかは、それを聞いた人々に尋ねるがよい。その人々がわたしの話したことを知っている。（ヨハネによる福音書18章21節）http://angel.ap.teacup.com/taejeon/1082.html

並列名詞句　「花子の合否」など（山泉 2019、2021、2023近刊）

(224) 太郎は，花子の好きな星に関心がある．

“潜伏疑問文の読み[《太郎は，花子の好きな星は何かに関心がある》]と指定コピュラ文の読み[「何が花子の好きな星であるか」]とは変項名詞句[《 [xが花子の好きな星である］》]を介して意味的につながるのである．” p. 199

1. 太郎は、花子の合否に関心がある。《太郎は、花子が合格したか否かに関心がある》
2. ?[xが花子の合否である]
3. ??合格が花子の合否だ。
4. [±花子が合格した]( ±は不定の極性)

★極性疑問はwh疑問とは違って指定の意味構造にはならない。

→「変項名詞句を介して、潜伏疑問文の読みと指定コピュラ文の読みが意味的につながる。」「筆者の考えでは，一般に潜伏疑問文を構築する名詞句(つまり，（224)の下線部)は，実は，このような指定コピユラ疑問文の意味構造を有する名詞句にほかならない．」p. 199 という一般化は潜伏極性疑問名詞句にはあてはまらない。

##### 非標準的潜伏疑問文（西山 2013）

変項が属性。疑問文は指定文ではなく措定文。

1. 花子は太郎の性格を尋ねた。

同じ指定文に基づく潜伏疑問文だと…

1. ✕《花子は、[xが太郎の性格である]を満たすxの値を尋ねた》
2. ?花子は、何が太郎の性格であるかを尋ねた。
3. \*おとなしいが太郎の性格だ。
4. ?太郎の性格はおとなしい。

疑問文は措定文

1. 《花子は、[太郎は、性格という点で、どのような属性を有しているのか]を尋ねた》
2. 《花子は、[太郎は（性格という点で）ψだ]を満たす属性ψを尋ねた》
3. 花子は、フィンランド教育の特色を知らない。
4. この料理の味は秘密だ。
5. 彼女の様子が分かった。
6. 今度買う車の色を打ち明けた。

山泉 2019、2021

N-意味理論は，（標準的）潜伏疑問名詞句～変項名詞句～指定疑問文という三位一体説を主張するため，それが当てはまらない例のために非標準的潜伏疑問名詞句というカテゴリーを新たに設けざるを得ない。しかし、非標準的潜伏疑問名詞句の例として挙げられている例の中には指定の疑問詞疑問節に置き換え可能なものがある。

1. 花子は何がフィンランド教育の特色であるかを尋ねた。

西山（2013）で提示されている非標準的潜伏疑問文の特徴付けでは，そこに出ていた例さえ明確に分類できず，標準的潜伏疑問文と明確に区別される非標準的潜伏疑問文というカテゴリーは認め難い。今や一般性がないことが明らかな三位一体説を前提としなければ，潜伏疑問文を標準的と非標準的に区別する意義は特に無い。

**潜伏命題文（西山 2013、**山泉 2022**）**

1. そのドアの幅が、子供たちの部屋からの脱出を妨げた。
2. 太郎はその会社の初任給に驚いた。
3. 非標準的潜伏命題文　ぼくは、太郎の性格が気に入った。
4. 非標準的潜伏命題文　この料理の味に感動した。
5. わたくしは、花子の年齢が気になる。　標準的潜伏疑問文と標準的潜伏命題文で曖昧

話者「わたくし」の知識を推定してどちらの解釈にするか決めることになる。

「花子」＠話し手；C-STR 年齢…xかaかによる。

1. **聞き手以外の心的状態が関わるような不透明な文脈は、潜伏疑問文と潜伏命題文の曖昧性が生じるために必須か？**

### 5.5　束縛変項読みと自由変項読み（西川 2013）

(260) c. 太郎が画家をぶった。

「画家」は飽和名詞。「妹」は非飽和名詞（第3回）。

(261) 太郎が妹をぶった。

非飽和名詞にのパラメータの埋め方は意味論的には２つに分かれる。

(262) a.《太郎は自分の妹をぶった》（束縛変項読み）

b. 《太郎は、話題となっている人の妹をぶった》（自由変項読み）

束縛変項読み：自分が誰かはこの意味表示の中で、日本語の文法に従って決定。　コンテクスト情報に頼る必要はなく、語用論はいらない。

自由変項読み：話題となっている人が誰かはコンテクストを参照して、埋める。語用論が不可欠。

自由変項：コンテクスト次第でいろいろなものを入れてよい。

束縛変項：コンテクストに関係なく特定の要素、普通は同一文中の特定の表現が表わすもので埋めなければならない。

この違いを反映した意味表示：

(264) a. 《太郎*i*がα*i*の妹をぶった》[α：束縛変項（＝自分）]

インデックスがついているαは、同じインデックスが付いているもので埋める必要

→太郎は変項ではないので、これだけで意味論的に完結。cf.代名詞「自分」。

b. 《太郎がαの妹をぶった》[α：自由変項]

αはコンテクストを参照して埋める。誰にするかは関連性の原理に導かれた語用論的推論次第。

(265) 太郎が主役をぶった。

「主役」のパラメータは芝居・映画のようなものに限られているので、「太郎」は「主役」を束縛できない。→自由変項読みだけが可能。

1. (261)はなぜ2種類の意味表示が必要で、曖昧となるのか？

反論： (264)aの束縛変項読みと言われているのは、実は自由変項読みの特殊ケース、(264b)のαを太郎で埋めただけ。

1. 太郎だけが父親をぶった。（西川 2013: 57）

この文の表意（意味構造ではない）

1. 自由変項読み 《太郎だけが[太郎]ノ父親をぶった》
2. 束縛変項読み　《太郎*i*だけがα*i*ノ父親をぶった》

束縛変項読みも、αは束縛されていて、意味的にこれで完結。

状況：太郎と次郎は赤の他人。二人とも太郎の父親をぶった。次郎は自分の父親をぶっていない。

[51]の自由変項読みの表意は偽。

1. 《次郎が[太郎]ノ父親をぶった》（真）

[51]の束縛変項読みの表意は真。

1. 《次郎*i*がα*i*ノ父親をぶった》（偽）

束縛変項読みの解釈は自由変項を含む論理形式と飽和では得られない。

自由変項読みに還元できない束縛変項読みがあることを説明するには、束縛変項読みの論理形式が別途必要。

Hall 2008が西川 2013に対してではないが、この議論に反論をしている。

**【独自研究】**論理形式は自由変項のものだけで、「父親をぶつ」を自由拡充かアドホック概念形成して〈家庭内暴力をふるう〉のように解釈されたものが束縛変項読みとされているものとは考えられないか。**【/独自研究】**

(276) d. ここにいる大部分の男は奥さんにぶたれた。

束縛変項読み：《ここにいる大部分の男はそれぞれ自分の奥さんにぶたれた》

自由変項読み：《ここにいる大部分の男は話題の人物の奥さんにぶたれた》

1. 奥さんがここにいる大部分の男をぶった。

自由変項読みだけ。

**「それぞれ読み」はできないことの説明（西川 2013）**

1. パラメータを束縛する要素は、そのパラメータ（束縛変項）より統語構造において構造的に上位に位置していなければならない。

「上位に位置」： c統御のような概念で規定されるもの。主語のほうが上位。

[57]は「奥さん」が主語で上位にあるから束縛されず、「それぞれ読み」が無くなる。

特定の構文の特定の位置に出現した名詞句は束縛変項読みが強制される（西川 2013: 62）。

1. 洋子は父親が医者だ。（「象は鼻が長い）構文）
2. 太郎は故郷が青森だ。（「故郷は青森だ」構文）
3. カキ料理は広島が本場だ。（カキ料理構文）
4. 次郎には妻も子供もいない。（所有文）
5. 誰が太郎を殺したのか、犯人がわからない。（ICQ（山泉 2008））
6. 誰がこの曲を作ったのか、作曲者がわからない。
7. 同力士は「体力の限界」を理由に引退届を出した。（「ＸをＹに、…する」構文（山泉 2013a及びそこに挙げられている文献参照））
8. カキ料理の本場　（DタイプのNP1のNP2）

内の関係の連体修飾節は、非飽和名詞のパラメータを束縛せず、自由変項。

1. 太郎を殺した犯人

###### 参考文献

Hall, Arison. 2008. Free Enrichment or Hidden Indexicals? *Mind & Language,* Vol. 23 No. 4*,* pp. 426*–*456*.*

西川賢哉. 2013.「非飽和名詞のパラメータに対する意味解釈：自由変項読みと束縛変項読み」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 51–64. ひつじ書房.

西山佑司. 2013. 「変化文、潜伏疑問文、潜伏命題文」『名詞句の世界』pp. 369–406. ひつじ書房.

峯島宏次. 2013.「変項名詞句の階層」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 407–430. ひつじ書房.

以下は<http://bit.ly/YMpapers> からダウンロード可能。

山泉実. 2008. 「間接疑問と潜伏疑問が共起する構文」森雄一他編『ことばのダイナミズム』pp. 223–239. くろしお出版.

山泉実. 2013a. 「非飽和名詞とそのパラメータの値」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 11–27. ひつじ書房.

山泉実. 2019.「極性疑問が潜伏している名詞」『日本言語学会第158回大会 予稿集』pp. 302–308.

山泉実. 2020. 「認知的視座からの意味論と形而上学：指示参照ファイル理論と認知形而上学」『日本語・日本文化研究』30: 29-52.

山泉実. 2021.「潜伏疑問名詞句再考」『言語文化研究』47号: 101-121.

山泉実. 2022. 「潜伏命題名詞句再考−−N-意味理論の分析の批判的検討と指示参照ファイル理論による分析−−」『基礎言語学研究』1: 1-37.

山泉実. 2023. 「視座を俯瞰した認知メタ形而上学の試み：構成のアンチノミーをめぐって」『EX ORIENTE』27: 51-83.

山泉実. 2023近刊. 「日本語の等位複合体（co-compound）とそれを主要部とする名詞句の認知意味論・形態論―「男女」「善悪」「合否」―」『東京大学言語学論集』45（電子版）.

第11回　指示的不透明性、２階の変項名詞句

5.6は名詞句とは関係ないので省略。

### 5.7　指示的透明性と指示的不透明性（「内包・外延」『明解言語学辞典』）

指示的名詞句について。

1. 彼は四国で最も人口の多い都市の出身だ。

下線部の指示的名詞句：指示対象の名前は松山。

指示対象がどの都市かわからなくても、ある意味で下線部の意味はわかる。

その場合にわかる意味：指示対象はどのような対象であるのかについての知識。表現が指定する条件、記述内容。…表現の**内包**。意義、Sinn、sense。

指示対象（松山）：この表現の**外延**。意味、Bedeutung、reference。

指示対象が同じである複数の指示的名詞句：同一指示的co-referential。

例　「明けの明星」「宵の明星」「金星」

呼び方を変えても真理条件は変化しないと思われる。

1. 彼は道後温泉で有名な城下町の出身だ。
2. 彼は松山の出身だ。
3. a. b.

(305) オイディプス王はイオカステと結婚した。

(306) オイディプス王は自分の母親と結婚した。

(307) a. オイディプス王はイオカステと結婚した。

b. イオカステ＝オイディプス王の母親

——————————————————————

c. ∴ オイディプス王は自分の母親と結婚した。

「ライプニッツの法則」「代入法則」

(308) Fa

a=b

——————

　　∴ Fb

名詞句aについてある述語Fが適用できるならば、aとbが同一対象を指示する名詞句であるかぎり、bについても同じ述語が適用できる。

透明な文脈（外延的文脈）：同一指示的名詞句で置き換えても文の真理値が変化しない。指示表現は指示的に透明。

**ライプニッツの法則が成り立たない場合**

(310) a. オイディプス王はイオカステと結婚したがっている。

b. イオカステ＝オイディプス王の母親

——————————————————————

c. ∴ オイディプス王は自分の母親と結婚したがっている。

↑？

1. a.

b.

―――――――――――――――――

c. ∴

↑？

1. 彼女は、彼が松山の出身だと思っている。

↓松山が四国で最も人口の多い都市だと彼女が思っていなければ、

1. 彼女は、彼が四国で最も人口の多い都市の出身だと思っている。

は成り立たない。以下が成り立つかも彼女の知識次第。

1. 彼女は、彼が道後温泉で有名な城下町の出身だと思っている。

不透明な文脈（内包的文脈）：同一指示の表現を入れ替えると真理値が変化することがある。指示表現は指示的に不透明。

1. **透明な文脈と場合と不透明な文脈：違いはどう捉えられるか？**

透明：客観的事実を述べている。

不透明：心的態度を述べている。

(312)a. オイディプス王はイオカステを探している。

b. イオカステ＝オイディプス王の母親

————————————————————————————

c. ∴ オイディプス王は自分の母親を探している。

「探す」は「～を見つけようと試みる」だから心的態度。

(315) 「…したがっている」「探す」「信じている」「知っている」「思っている」などのような心的態度を表す述語は、その埋め込み文中に登場する名詞句を、それと同一指示的な他の名詞句で置き換えると全体の真理値が変わる。

推論はbが問題。aがオイディプスの心について述べているのだから、bもオイディプスの心において成り立たなければ、a, bからcを導くのは妥当な推論とは言えない。

1. b. オイディプス王の心：イオカステ≠オイディプス王の母親

これらの例も、推論は妥当だとする解釈、指示的に透明な解釈をすることも可能。オイディプス王の心を離れて、客観的には成り立っていることを述べる。

文脈の違いというよりも解釈の違い…意味論？語用論？

(316) オイディプス王は自分の母親と結婚したがっている。

教科書：指示的に不透明な読みと透明な読みの両方が可能で、曖昧。

ただ、不透明な読みをコード化しているものはない。語用論で捉えるべき差では？

(319) a. 太郎は、花子が正夫と結婚したことを信じている。

b.　正夫＝その村一番の金持ち

—————————————————————————————————

c. ∴太郎は、花子がその村一番の金持ちと結婚したことを信じている。

教科書：下線部を太郎の信念の内に入れるか、外に出すかに応じて曖昧。

信念のスコープ、どの世界かを決めるのは語用論ではないのか？

言語形式によってトリガーされるので意味論的曖昧性？

【RFT】

『オイディプス王』の話を知っている人の心のファイル：

　ID a；内容特徴　名前…イオカステ、aがオイディプス王の母である。

(307)の「イオカステ」「（王の）母親」はどちらもこのファイルに対応→置き換えられる。

オイディプス王の心にあると想定されるファイル（※厳密には、聞き手がオイディプス王の心にあると想定していると話し手が想定するファイル）：

ID b；内容特徴　名前…メロペー、bがオイディプス王の母である。

　ID c；内容特徴　名前…イオカステ、cがラーイオスとの間に子供xがいる。

(310)の「イオカステ」はID cのファイル、「（王の）母親」はID bのファイルに対応→置き換えられない。

1. 心的態度を表す述語でも置き換えられる客観的な読みはどう分析されるか？

“その女性は、客観的には、オイディプス王の母親にほかならないということである。”p. 221 →「客観的には」ということを理論でどう捉えるべきか？

「～したがっている」の主体はオイディプス王であるものの、「イオカステ」「（王の）母親」は上のID aのファイル（＠話し手が想定する聞き手の心）に対応する。

(320)の矛盾信念読み　「家政婦」＠太郎；ID a； aが未婚だ、aが結婚している。

↑矛盾

**透明／不透明は意味論的曖昧性？―No.**

名詞句は意味論レベルでは何らかの指示参照ファイルに対応することだけがコード化されていて、どのようなファイルに対応するかは語用論の問題。透明な解釈と不透明な解釈の違いはファイルが誰の心のものと想定されているのか、どのような中身を持っていると想定されているのかによるので、語用論の問題。

ここから先は、YouTubeの「【対照しない】第11回　指示参照ファイルのデータ構造３：位置付け＠【言語学研究A】」を参照。

**指示参照ファイル単位で＠～を設定するだけではなく、内容特徴単位で必要？** https://twitter.com/maik\_ata/status/1176826405692178433?s=20

@maik\_ata　イマジナリー犬を飼っているんだけど、こないだ友達が家に来たときに「お客さんが来て犬も喜んでると思う」的なこと言ったら「えっ犬いるの？！」って返されて、「えっ違うよ空想の犬だよ」って言ったけど、そうか普通はイマジナリー犬は飼ってないのか…となった。

https://twitter.com/chan\_watashi/status/1177412202430484481?s=20

のツイートを分析

“・リアルな犬をリアルに飼う。←人間のやること。”

犬＠無標　ID a　太郎がaを飼う

“・イマジナリーな犬をリアルに飼う。←ツイートはこれだと思われる。“

犬＠～さんの想像　ID a　太郎がaを飼う

これと次のを区別するために、内容特徴１つ１つに有標の場合は記述が必要。

“・イマジナリーな犬をイマジナリーに飼う。←妄想が重層的でヤバ。”

犬＠～さんの想像　ID a　太郎がaを飼う（in ～さんの想像）

“・リアルな犬をイマジナリーに飼う。←人間のやることだが事件性がある。”

犬＠無標　ID a　太郎がaを飼う（in ～さんの想像）

【/RFT】

### 5.8 　変項名詞句と潜伏疑問文の組み合わせ（峯島 2013）

変項名詞句の値を埋める値名詞句は個体指示的とは限らない。

1. 太郎を殺したのは次郎だ。値名詞句・個体指示
2. 太郎が一番知りたいのは、花子の誕生日[花子の誕生日がいつか]だ。値名詞句・変項名詞句・潜伏疑問

-----------

###### 独自研究　属性を表わす値名詞句？

(322) この部屋の温度は、18度だ。

文全体は倒置指定文。

主語名詞句： [xがこの部屋の温度である]を表わす変項名詞句。

「18度」：変項を埋める値を表わす名詞句。

1. 「18度」は指示的名詞句か？ そうだとしたら個体を指示しているのか？

「(322)における値名詞句「18度」と違って、指示的名詞句ではなく」p. 223

「[この部屋の温度は、26度だ。という]文全体は、この問い[この部屋の温度は何度であるか]に対する答えを「26度」の指示対象によって指定するという意味的関係を表している。」峯島 2013: 408

「[xがこの部屋の温度である]は、…26度のような個体によって充足される」p. 409

※個体指示？ むしろ属性を指示していると考えるべきでは？

井戸 2017：「今のこの部屋の気温は、26.5℃です。」

“a. 指定文の特徴を持ちつつ倒置できない「[AのB]はCだ」が存在する。

b. そのようなコピュラ文は、Bが側面語を表し、Cが[AのB]の変項の値を指定しつつ、Aの属性を記述しているという特徴を持つ。”（p. 71）

1. この部屋の温度が18度から20度に変わった。
2. 変化文は入れ替わり読みと変貌読みで曖昧とされるが、これはどちらか？

「徐々に」は変貌読みとだけ共起するらしい。

1. 太郎の妻が変わった。（両方可能）
2. 太郎の妻が徐々に変わった。（変貌のみ可）
3. 太郎が変わった。（変貌のみ可）
4. 太郎が徐々に変わった（変貌のみ可）
5. 太郎の住所が変わった（入れ替わりのみ可）
6. ?太郎の住所が徐々に変わった。

入れ替わりの読みと「徐々に」が共起できないためだろう。

[14]は「徐々に」と共起するので、変貌読み。

1. この部屋の温度が18度から20度に徐々に変わった。

変貌読みにおいて変化するのは属性（今井・西山 2012: 202）。

→ (322)の18度は属性であるはず。

「ますます」も同様。

1. 太郎の妻がますます変わった。（変貌のみ可）
2. ?太郎の住所がますます変わった。
3. この部屋の温度がますます変わった・暑くなった・上がった。
4. ?18度がこの部屋の温度だ。

結論：属性を表現するということと叙述名詞句であるという意味機能は分かちがたく結びついているのではない。

【RFT】独立したRFに対応する特質の値と対応しない特質の値

（YouTubeの【対照しない】潜伏命題名詞句再考 2 N-意味理論の分析の批判的検討【言語学研究】参照）

RFの内容特徴は、記述（例　aが太郎を殺した）の他に

特質―値（例1　妹：花子[ID b]、例2　身長：170cm）

があり、倒置指定文に対応した指定文の主語になりにくいのは例2の類。

前回の潜伏命題文もこの類。

30cmというそのドアの幅が、子どもたちの部屋からの脱出を妨げた。

≒そのドアの幅が30cmであることが、子どもたちの部屋からの脱出を妨げた。

太郎というその幼稚園の園長が、子どもたちの部屋からの脱出を妨げた。

（幼稚園RF　特質（園長）：太郎c）

≠太郎がその幼稚園の園長であることが、子どもたちの部屋からの脱出を妨げた。

【/RFT】【/独自研究】

変項は必ずしも個体で埋められるとは限らない。

値名詞句は必ずしも指示的名詞句であるとは限らず、変項名詞句であることもある。

(338) 先週末から気になっていたことがやっとわかった。

1. [Xが先週末から気になっていたことだ]　2階

↑変項を値（命題関数）で埋める

1. [xがパソコンが突然動かなくなった原因だ]　1階

↑変項を値で埋める

1. 電源ケーブルが抜けた　0階
2. [ ]２階

↑変項を値（命題関数）で埋める

1. [ ]１階

↑変項を値（命題関数）で埋める

1. 0階

Bタイプ読み： 2階の答えが分かった。

(341)′ 《先週末から何かが気になっていたのだが、いったい何が気になっていたのかどうしても思い出せない。しかし今日やっと先週末から何が気になっていたのかがわかった》

Aタイプ読み： 1階の答えがわかった。

(340) 《先週末から気になっていたこと、つまり、パソコンが突然動かなくなったのはなぜかがやっとわかった》

(324) 今度の実験で一番重要なことは、この部屋の温度だ。（倒置指定文）

2. [ ]

主語名詞句：以下の命題関数を表わす。２階second-orderの変項名詞句（後述）

(325) [Xが今度の実験で一番重要なことである]

述語名詞句：変項の値を表わすが、指示的名詞句ではなく、それ自体が、

(323) [xがこの部屋の温度である]

のような命題関数を表わす変項名詞句。

(326) ✕《今度の実験で一番重要なことは、18度だ》

(327) 《今度の実験で一番重要なことは、この部屋の温度は何度かということだ》

**１階の変項名詞句**

(322)の変項名詞句「この部屋の温度」：1階の命題関数[xがこの部屋の温度である]を表わす。命題を完成するには個体（または属性）を埋めればよい。

**２階の変項名詞句**

(324)の主語名詞句「今度の実験で一番重要なこと」：２階の命題関数

(325) [Xが今度の実験で一番重要なことである]を表わす。

命題を完成するには、個体ではなく、1階の命題関数を埋めなければならない。

（変項の種類が違うため大文字で表している。）

値名詞句の「この部屋の温度」：答えとしての１階の命題関数を表している。

(328) 太郎は、今度の実験で一番重要なことを知っている。

1. 今度の実験で重要なことが２つある。（絶対存在文）

(328)は解釈が３通りある：Aタイプ、Bタイプ、

　潜伏疑問が関係ないもの。「知っている」の事実を項に取る意味。

1. 太郎はこの部屋が0度であることを知っている。
2. 太郎は、今度の実験で一番重要なこと（すなわち、この部屋が0度であること）を知っている。（（　）は語用論的に補ったもの。）

Bタイプ

「今度の実験で一番重要なこと」：２階の変項名詞句の潜伏疑問

(332) 《太郎は、今度の実験で一番重要なことが何であるのか（何が一番重要なことであるのか）を知っている》

太郎が知っていること：「今度の実験で一番重要なことは何か」という2階の疑問文の答えで、その答えは、「部屋の温度は何度か」のような1階の疑問文。

Aタイプ

（話し手・聞き手はラボのメンバーで、今度の実験で一番重要なことが部屋の温度ということはともに知っている。太郎はラボのメンバーではなく、エアコンの管理人）

(329) 表意《太郎は、今度の実験で一番重要なこと、すなわち、この部屋の温度を知っている》

下線部を埋めるのは飽和。

太郎は２階の問いの答え（部屋の温度が実験にとって一番重要だ）を知っている必要はない。

→「知っている」の意味上の項は[この部屋の温度は何度であるか]という1階のwh疑問。

(331) 《今度の実験で一番重要なことはφであるとき、太郎はφを知っている》

「今度の実験で一番重要なこと」は、[この部屋の温度は何度か]という1階の疑問文を間接的に表示。（「今度の実験で一番重要なこと」が「この部屋の温度は何度か」とわかるには知識が必要。cf.「四国で一番人口の多い町」→松山）

「Aタイプ読みに関しては、…意味を完結するためには飽和と呼ばれる語用論的操作が不可欠である」p. 224

しかし、この飽和は必ずしも必要ではない。

1. 分からないことは何でも図書館で調べるとよい。（峯島 2013: 422の例を改変）

**エクササイズ**(338)の図にならって、(328)も同じように0階から2階を図示しよう。後で、３階も加わるので上に余白をとっておくこと。

1. Aタイプ読みの名詞句の意味機能は何か？

2階の変項名詞句： 2階の命題関数を表わす名詞句。

Aタイプ読みの(338)：わかったのは1階の命題関数が表わす問い[27]の答え。

→下線部が2階の命題関数を表しているとは言えない。

1階の変項名詞句とも言い難い。

1. 太郎はこの部屋の温度を知っている。
2. [xがこの部屋の温度である]

1階の変項名詞句：記述内容は、1階の問いの中身に本質的に寄与し、問いの一部。表している命題関数は、[　はxだ]を足すだけで機械的に作れる。

Bタイプ読み： 2階の変項名詞句の記述内容は、2階の問いの中身に本質的に寄与し、問いの一部。表している命題関数は、[　はXだ]を足すだけで機械的に作れる。

Aタイプ読み：「今度の実験で一番重要なこと」「先週末から気になっていたこと」は、それぞれ、語用論的に埋められた[xがこの部屋の温度である][xがパソコンが突然動かなくなった原因だ]などを表わす。名詞句の記述内容が直接寄与しない。

1階の疑問を間接的に提示。ある意味で指示的。普通の指示的名詞句と共通して、指示的に透明。

Aタイプの場合、代入推論ができる。

1. （想定：今度の実験で一番重要なことはこの部屋の温度は何度であるかだ。花子がいまもっとも気にかけていることも、この部屋の温度は何度であるかだ。ただし、太郎は花子がこの部屋の温度は何度であるかをいまもっとも気にかけていることは知らないとする。）

a. 太郎は、今度の実験で一番重要なこと（Aタイプ）を知っている。

b. 今度の実験で一番重要なこと＝花子がいまもっとも気にかけていること（＝この部屋の温度は何度であるか）

———————————————————————————

c. ∴ 太郎は、花子がいまもっとも気にかけていることを知っている。

(310)の推論と酷似。太郎の視点からは成り立たず不透明だが、客観的には成立。

不透明な読みと透明な読みで曖昧。

透明／不透明：指示に関して。

→Aタイプの読みの変項名詞句もある意味で指示性を持っていると考えられる。

理論的には何階の変項名詞句でも作れる。

1. 花子が知りたいことは、この種の実験で一番大切なことだ。（３階）
2. （３階）

指示参照ファイル理論による分析：YouTube「対照しない言語学研究 第22・23回」を参照。

###### 参考文献

###### 井戸美里. 2017. 「指定文における値名詞句の性質と倒置可能性」『日本語文法学会 第18回 大会発表予稿集』pp. 67–73.

峯島宏次. 2013.「変項名詞句の階層」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 407–430. ひつじ書房.

第12回　意味論・語用論の区別とウナギ文

# ６章　意味をどう科学するか

語用論と意味論の関係

### 6.1　表現の意味と話し手の意味

言語の意味の2つのレベル：意味論（表現の意味）と語用論（話し手の意味）。

言語表現の意味、言語的意味：言語体系の中でその表現自体が有している意味。コンテクスト無しでも、当該言語の言語能力があれば知っている。

(1) 遅いね。

1. 出来事Eの実現時刻が期待・規範により想定される時刻よりも後である。

話し手の意味：話し手が言語表現を用いて相手に伝達しようとしている意味で、当然、コンテクストに応じて多様。

(2) a. 《われわれが乗ることになっているバスの到着が遅いね》

b. 《花子宛に送信したEメールに対する返事が遅いね》

g. 《渋滞とはいえ、このバス、のろのろ走っていて遅いね》

(1)は不明瞭。

(3) 私の意見は大学の意見です。

措定文：《私の意見は大学の意見を反映しています》

指定文：《私の意見は何かといえば、大学で決めた意見がそうです》

コンテクスト無しで2種類あることが予測できる。

(1)の話し手が(2a)を明意として伝えようとしているとき、

(4) 《～に間に合わないよ、タクシーで行こう》

を伝えようとしていたらこれが暗意。

**おさらい：発話解釈の全体像**

1. 太郎：僕の書いた本、読んだ？

花子：私はバカの書いた本は読みません。

０．言語表現「バカの書いた本は読まない」

↓日本語の辞書・文法に従ったコード解読

０′言語的意味《xはバカの書いた本は読まない》

↓発話状況における特定の関連性の期待に導かれた語用論的推論

１．明意＝表意＝explicature《花子はバカの書いた本は読まない》

＋２．暗意された前提implicated premise. 解釈に用いるコンテクスト《太郎はバカだ》

→３．暗意された結論implicated conclusion.《花子は太郎の書いた本を読んでいない》

聞き手は、言語的意味をもとに、発話状況における特定の関連性の期待を満たすように、１、２、３を相互に調整する。

**エクササイズ**上の例に倣って太郎による次郎の発話の解釈を復元しよう。

1. 太郎：今日のテスト、勉強してきた？

次郎：最近、麻雀しかしてないよ。

０．言語表現「　　　　　　　　　　　　」

↓日本語の辞書・文法に従ったコード解読

０′言語的意味《　　　　　　　　　　　　　　　　》

↓発話状況における特定の関連性の期待に導かれた語用論的推論

１．明意＝表意＝explicature《　　　　　　　　　　　　　　》

＋２．暗意された前提＝解釈に用いるコンテクスト（implicated premise）

《　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　》

→３．暗意された結論implicated conclusion《　　　　　　　　　　　　　　　　　》

明意は言語的意味と混同されやすい。

(5) a. ピアノの音が大きい。

(6) a. 《ピアノを弾いたときに生じる音が大きい》

(5)の言語にコード化されたこと＋よくあるコンテクスト→ (6)

(7) a. 《ピアノをビルの屋上から落としたときに生じる音が大きい》

よく考えると、別のコンテクストでは他の解釈も可能だという場合、最初に思い浮かんだ解釈は言語的意味そのものではない。

(8) モーツァルトは交響曲よりオペラが良い。

＋よくあるコンテクスト

↓・「モーツァルト」でウォルフガング・アマデウス・モーツァルトを指示する。

↓（飽和、特に指示対象付与）

↓・モーツァルトの指示対象と交響曲・オペラの関係を、モーツァルトが作曲した↓交響曲・オペラと解釈。

(9) 《モーツァルトは、彼が作曲した作品群のなかで、交響曲よりもオペラが優れている》（明意）

(8)の言語的意味表示：いろいろな解釈から中立的。どれとも相容れる。それに語用論的操作を適用した結果、いろいろな解釈が得られるもの。

意味表示semantic representation：意味の表示。意味そのものではない。

（representation：何かの代わり）

意味そのものは意識したり知覚したりできないものなので、妥当な意味の構造・特性をできるだけ忠実に反映したような意識・知覚可能なもの。

### 6.2　文の意味はいかにして捉えられるか

理論無しにわかるもの：特定のコンテクストにおける話し手の意味だけ。

言語的意味がどのようなものかは自明ではない。

1. 発話の言語的意味はどのようなものか？
2. それはどうやったら把握できるのか？

理論的に考えるしかない。

(13) a. 文の意味はしばしば曖昧である。

1. He went to the bank （銀行 or 土手）.

曖昧性除去が必要。

b. 文中の指示表現にあてがわれるべき指示対象は不定である。

[6]のHe にどの男をあてがうべきか言語的意味は決めていない。

飽和（指示対象付与）が必要。

c. 文の意味はしばしば、スロット（自由変項）を含み、スロットの値が埋められない限り、命題（真理値の担い手）を表出することはできない。

(1)′ （xが）（yより）遅いね。

飽和が必要。

d. 文の意味は輪郭のみで、十分特定化された情報を与えていない。

1. Mary hit John and [then because of this] he got angry.

自由拡充が必要。

e. 文の意味は、しばしば必要以上に厳密であり、狭すぎる。

1. 授業は毎週6時に終わる。（実際には6時頃）

アドホック概念構築が必要。

言語的意味＋語用論的操作→表出命題。意図明示的に伝達されたものが表意。

論理形式：文の言語的意味の表示。

文の統語構造表示とは構造的には似ていることがあるかもしれないが別物。

生成文法のLF（logical form）よりも詳しいから別物。

(15) 論理形式→曖昧性除去・飽和・アドホック概念構築・自由補強（自由拡充）など→表出命題→（意図明示的に伝達されていたら）→明意

※指示対象付与は飽和に含まれる。

**文の論理形式が満たすべき基準**

(16) ピアノの音が大きい。

(17) 《ピアノを弾いたときに生じる音が大きい》

→発展→《このベーゼンドルファーインペリアルのピアノを弾いたときに生じる音が大きい》

言語的意味は(16)のあらゆる可能な解釈の出発点にならなければならない。

(18) a. 《ピアノの蓋を叩いたときに出る音が大きい》

b. 《ピアノをビルの屋上から落としたときに生じる音が大きい》

(17)はこれらの出発点にはなれない。詳しすぎる。

論理形式に勝手に変項を足してはダメ。

論理形式にある構成要素を勝手に削除するのもダメ。

(16)の明意は何でもアリではない。

(19) a.《明日、大雨が降るだろう》

b. 《太郎は花子と結婚した》

(16)の論理形式は、語用論的操作を適用した結果、(19)のような表意が得られるようなものではダメ。

(20) 《ピアノと関係Rを有する音が大きい》

語用論的操作を適用して(17)(18)が得られると同時に、(19)は得られない。

タイプAのNP1のNP2であるということは意味論的に決まっている。

**意味論と語用論は車の両輪**

(16)の論理形式は何か。(17)はダメで、(20)はよい。…意味論の議論。

語用論のテーゼである(15)があって初めて可能。

各種語用論的操作で明意を得るには、その出発点として妥当な意味表示が必要。

### 6.3　ウナギ文の意味

#### 6.3.1　ウナギ文の語用論的解釈

(21) ぼくはウナギだ。

(22) I am an eel.

Cf.「吾輩は猫である」「私は人間だ」。

(23) 《ぼくは、ウナギという属性を有している》（措定文）

(24) a. 《ぼくは、ウナギを注文したい》

b. 《ぼくは、注文料理はウナギだ》（ウナギ読み）

「釣りたい」「買いたい」「写生したい」「料理したい」などにもなり得る。

ウナギ文：ウナギ読みになる(21)のような「AはBだ」。

(25)a. 山田先生の専門は何ですか。——山田先生は音韻論です。

c. 太郎さんは、誕生日はいつですか。——太郎さんは4月2日です。

1. 2種類の読みそれぞれをどのレベルで規定するべきか？

措定文の読み：文文法（sentence grammar）レベル、つまり意味論で得られるとみなされるのが一般的。ウナギ読み：「注文料理」の部分のバリエーションを捉えるためには、分析の中にコンテクストを参照するところを入れる必要がある。…語用論

1. 措定文の読みとウナギ読みは意味論レベルで曖昧なのか？ それとも中立的なものを仮定して、両者を語用論的操作で派生、あるいは一方からもう片方を語用論的操作で派生できるのか？

文文法レベルで曖昧だとしたら…

措定文の読み：大抵の文法理論で既に統語構造・意味構造が規定されている。

ウナギ読み：統語構造・意味構造をどう考えるかが問題になる。

文文法のレベルでは曖昧でないなら…ウナギ読みを得られる語用論的操作はどのようなもの？

[A]の立場　「ぼくはウナギだ」は意味論的に曖昧。

[B]の立場（人気）　意味論的には曖昧ではなく、ウナギ読みは措定文の意味をもとに語用論的解釈の結果得られるというもの。

[C]の立場　意味論的には曖昧ではないと考えるが、言語的意味は措定文の意味ではなく、もっと中立的な論理形式。そこから二種類の読みを語用論的に得る。

[D]の立場　意味論的には曖昧ではない。措定文の読みはウナギ読みの意味構造をもとに語用論的解釈の結果得られる。

[A] 論理形式①：措定読み　論理形式②：ウナギ読み　（西山）

[B] 論理形式：措定読み→語用論的操作→ウナギ読み

[C] 論理形式：中立的→語用論的操作①→措定読み　　（池上 1981、RFT）

　　　　　　　　　　→語用論的操作②→ウナギ読み

[D] 論理形式：ウナギ読み→語用論的操作→措定読み

**池上 1981の語用論的分析**

[C]の立場。

場所理論：19世紀前半、ドイツ語圏に起源。ヴュルナー、ハルトゥングが代表的。ギリシャ語・ラテン語の格・前置詞の諸用法は全て空間関係に基づいていると考えた。

末裔：英語の前置詞onの基本的な意味は接触（空間的概念）。

日本語版：「である」＜「にてある」。「に」の基本的な意味は場所で、他の意味はそれを元に理解できる。

「上がる」：「値段が上がる」「血圧が上がる」などは、空間的には何も上昇していないのに、空間的な上昇を表わすのが基本の「上がる」を使う。

「だ」＝「である」と考えて、「ある」は存在（BE）、「で」は近接関係（WITH）を表わす。

(27) b. ぼく BE WITH ウナギ （意味構造）

措定文の意味：〈ぼくが抽象的な場所（つまり、状態）であるウナギにある〉I am in ‘the state of being an eel’. ある場所に存在するというのは、その場所との近接関係の一種。

ウナギ読み：ぼくとウナギという対象の間にある種の近接の関係（何らかの密接な関係）がある。I am with ‘(an) eel’。どんな関係かはコンテクスト次第。

**教科書の池上説批判**

「ぼく」と「ウナギ」の間にある種の近接関係があるとするだけの規定はあまりにもルースで、ウナギ読みの本質を捉えるのに適切ではない。

#### 6.3.2　ウナギ文に対する措定文としての解釈（西山 2003:7章）

措定文の場合とウナギ読みの場合で意味構造が違って曖昧。

ただし、ウナギ読みも一種の措定文。

**I am an eelの読み**：(39) の図。

「ぼくは」：指示的名詞句で、普通は話者を指示。

「ウナギだ」：叙述名詞句で、「うなぎである」という属性を表示して、それを「ぼく」の指示対象に帰する。

**ウナギ読み**

(30) 《ぼくは[φハウナギだ]》

φ：自由変項。コンテクストに応じて、「注文料理」「写生のモデル」「好きなもの」などが入る。

(31) 《ぼくは[注文料理はウナギだ]》

[ ]は倒置指定文。(32) の図参照。変項の値をウナギで指定。

飽和で復元されるφは変項名詞句。

ウナギ読みの「ウナギだ」は値名詞句。単独では叙述名詞句ではない。

ウナギ文全体：措定文。「φはウナギだ」全体が表わすことが属性として「ぼく」の指示対象に帰される。倒置指定文の主語の変項名詞句が省略されて値名詞句だけが残されている。

**措定文の述語に倒置指定文が埋め込まれた二重コピュラ文の意味構造。**

「ぼく」とφの関係：「注文料理」は注文した人がパラメータの非飽和名詞。

必ずぼくの注文料理。

(33) ?《ぼくは、花子の注文料理はウナギだ》

「注文料理」のパラメータαは主語名詞句に束縛される。

前提：省略されている変項名詞句φは非飽和。必ずしも名詞として語彙化している必要はない。例「好きな作曲家」。

(35) a. ——山田先生は[専門が音韻論です]。

c. ——太郎さんは、[誕生日は4月2日です]。

変項名詞句と主語名詞句はタイプDの[NP1のNP2]の関係。

(36) a. 山田先生の専門　c. 太郎さんの誕生日

まとめの図： (37)(38)。

(38)のウナギ：値名詞句で指示的。

(39)のウナギ：属性を表わす叙述名詞句。

★教科書の枠組みでは語用論的操作で名詞句の意味機能を変えることはできない。→措定文とウナギ文2種類の論理形式の一方から片方を得ることはできない。

意味論の段階で論理形式を2種類用意することが要請される。

→(21)は意味論的に曖昧。

池上 1981：「ウナギ」は抽象的（I am an eel）か具体的（ウナギ読み）。意味論レベルでは両者をまとめることができそう。

教科書の立場： [A]の立場。2つの読みの共通性は、どちらも文全体では措定文。

(27b) の意味構造に勝手に変項φを導入することはできないので、この論理形式から(37)を語用論的操作で作ることはできない。

まとめ：２つの読みを両方捉えるには、2つの論理形式を仮定する必要がある。

意味論と語用論の関係：語用論が働くには意味論がお膳立て（妥当な論理形式を用意）する必要がある。妥当な意味論なしでは語用論は成立しない。

ウナギ読みの論理形式を考えるという意味論的考察には、変項を勝手に論理形式に導入できないということなど、語用論を考慮する必要がある。

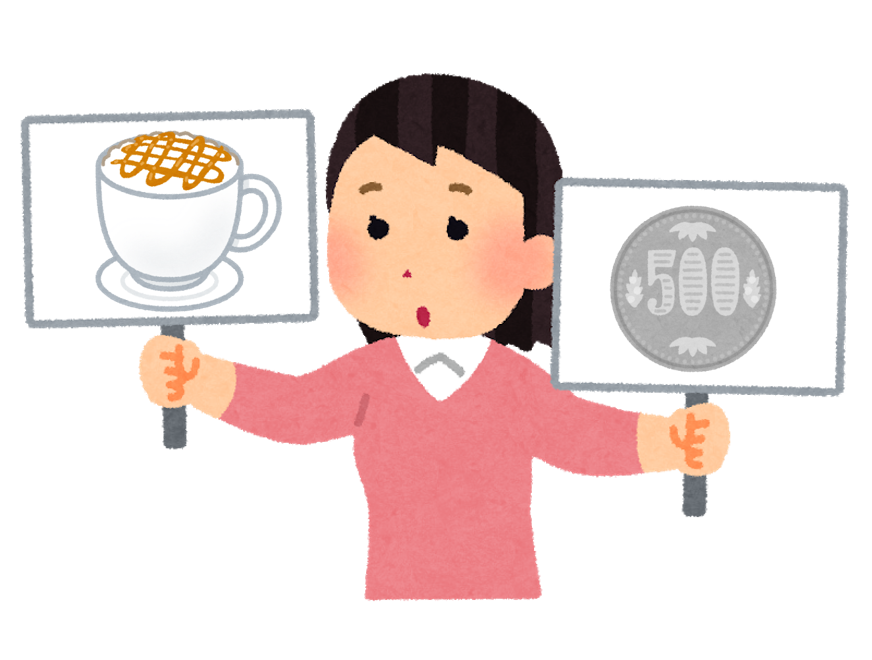
[独自研究]指示参照ファイル理論による分析

## コピュラ文の最小意味論

コピュラ構文[NP1は／がNP2だ・です・である・etc.]のコード化された意味：

* N-意味理論：措定文、（倒置）指定文、第２タイプの指定文、（倒置）同定文、（倒置）同一性文、定義文、提示文などが意味論レベルで区別され、各言語の文法はそれらの構文を含む。
* RFT：2つのNPに対応するRF（orその部分）を語用論に推論し、それらの情報を1つのRFに統合するのは関連性原理に従って行う語用論的操作（それができなかったら、発話によって見込まれる最適の関連性を達成できない）。

右手にキャラメルカフェラテの表象（≒主語NP）、左手に500円玉の表象（≒述語NP）を持って両手を見せるのと、「キャラメルカフェラテは500円だ」というのはほとんど変わらない。



コピュラの意味論的意味は、述語を作る、述語の文法カテゴリーをマークする、時制を標示するなど文法的働きのみ。実際、コピュラをなくしても述語の文法カテゴリーが担う意味以外は伝わる。

NP1、NP2がどのようなRFに対応し、どのように情報が統合されるかは語用論の段階で決められる。そのパターンがN-意味理論の各種コピュラ文に対応するが、パターン自体はあらかじめあるわけではなく、創発するもの。

分類はN-意味理論では文法的に区別されるが、RFTではそのようなことはない。

名詞句は、非構成的イディオム中のもの（例 kick the bucketのthe bucket）を除き、指示参照ファイルかその一部に対応する。

**指示参照ファイルのデータ構造**

・ID…定項、自由変項、束縛変項、null値

・内容特徴　①記述 例 aが太郎を殺した

②特質attribute―値value　例 名前―花子、注文料理―うなぎ（厳密にはうなぎファイルへのリンク）、身長―165 cm（リンクではない）

**措定文読み**　「僕」…ID aのファイルに対応。

「うなぎ」…ID αa（束縛変項）; 内容特徴：αaがうなぎだ

**ウナギ読み**　「僕」…ID aのファイルに対応

＠聞き手　僕[注文料理：x]

　　　　　　　　↑　　↑

　　　　　　　　↑　　「うなぎ」

　　　　　　　　コンテクストから

「うなぎ」…僕ファイルの特質《注文料理》の値（ID bのうなぎファイルへのリンク）として解釈される。

・２つの情報を統合した結果、僕ファイルの特質《注文料理》―xがb（うなぎ）に定まる（←倒置指定として捉えられていた部分）。

・特質《注文料理》は、ウナギ読みに必要な文脈（例「あなたの注文は？」）から語用論的に補完。値へのアクセスはその特質へのアクセスを前提とするため、「うなぎ」を特質の値として解釈するには、特質を文脈から補う必要がある。

・特質へのアクセスはそれを含むファイル全体へのアクセスを前提とする。非飽和性。

・ウナギ文は文文法レベルでそもそも暖昧と見なしてよいかどうか――No. [C]の立場。

文文法レベルの記述：「ぼく」と「うなぎ」がそれぞれ別の指示参照ファイルかその一部に対応する。「は」はそれが付いている名詞句に対応する指示参照ファイルへの情報の追加が発話の焦点であることを示す。「だ」は文を統語的に成り立たせ、それが担う文法カテゴリー（時制や極性）の情報を表示するだけ（「にてある」のように分解したりはしない）。

ウナギ読みを言語記述のどのレベルでいかに規定するか――語用論レベル。措定文読みも語用論レベル。

###### 参考文献

西川賢哉. 2013. 「二重コピュラ文としての「AはBがC（だ）」構文」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 167–211.ひつじ書房.

第13回　do soテストと「良い」の曖昧性

### 6.4　曖昧性と不明瞭性を区別する基準

曖昧性：意味論的性質。言語的意味が複数通りある。

不明瞭性：意味論的には曖昧ではないが、語用論的に解釈を詳細にする余地あり。

(40) 太郎は、コンピュータのファイルを全て削除してしまった。

##### 6.4.1　曖昧性判別の古典的なテスト：do soテスト

(41) John went to the bank.

R1：銀行へ行った。R2：土手へ行った。（明らかに曖昧）

(42) John went to the bank, and so did Tom.

問題の部分をdo soで受ける。

do so使わないもの：(42)と可能な読みの範囲が異なる。４つ全て可能。

(43) John went to the bank, and Tom went to the bank.

(44) a. 《ジョンは銀行へ行き、トムも銀行へ行った》

b. 《ジョンは土手へ行き、トムも土手へ行った》

1. a.

b.

(45) a. 《ジョンは銀行へ行き、トムは土手へ行った》

b. 《ジョンは土手へ行き、トムは銀行へ行った》

1. a.

b.

(42)：(44)の2つだけが可能。

S1 and S2（S2はS1とは別の主語+do so）

S1が曖昧なら、可能な解釈はS1で選ばれた解釈がS2でも引き継がれるものだけ。

(46) aのような並行的解釈はいいけれども、(46b)のような交差的解釈はダメ。

###### エクササイズ

1. John kicked the bucket, and so did Tom.

可能な読み、不可能な読みを2つずつ挙げなさい。

可能１

可能２

不可能１

不可能２

1. 以上の事実は何を意味するか？ do soは何を受けているのか？

仮説1：do soはS1の述語部の表現形式自体を受けている。

仮説の予測：(42)＝(43)なので、(43)と同様に(42)も4通りの解釈が可能なはず。

データ：実際はそうではない。

→仮説は反証された。

受けているのはS1の述語部が有する、その文における意味。

→went to the bankは曖昧ということになる。

不明瞭と思われる場合：

(47) John kicked Bill.

可能な解釈：《ジョンがビルを右足で蹴った》or《ジョンがビルを左足で蹴った》

(48) John kicked Bill, and so did Tom.

(49) a. 《ジョンがビルを右足で蹴った。そして、トムもビルを左足で蹴った》

b. 《ジョンがビルを左足で蹴った。そして、トムもビルを右足で蹴った》

1. a.

b.

のような交差的解釈も可能。

（実は常に可能ではなくコンテクスト次第では可能というだけ。詳しくは後述。）

→(47)の意味は《ジョンがビルを蹴った》より詳しいものではない。足の違いは文の意味の違いには反映されない。

通説のまとめ：

1. Subj1 VP, and so do Subj2. でVPはR1とR2の読みが可能なとき、R1—R2やR2—R1の交差的解釈が可能ならばR1とR2は不明瞭、交差的解釈が不可能ならばR1とR2は曖昧。

###### 日本語版do soテスト

「…もそうだ」

(50) 花子は、藤田の描いたアトリエを訪れた。

(51) a. 《花子は、藤田がモデルとして描いたアトリエを訪れた》

b. 《花子は、藤田が絵を描くのに使用したアトリエを訪れた》

c. 《花子は、藤田がそこに絵を描いたアトリエを訪れた》

の3通りに曖昧（統語的に曖昧性がはっきりしている）

(52) 花子は、藤田の描いたアトリエを訪れた。正子も、藤田の描いたアトリエを訪れた。

(53) 花子は、藤田の描いたアトリエを訪れた。正子も、そうだった[/そうした]。

(52)の後半：３通りに曖昧。

(54) a. 《正子は、藤田がモデルとして描いたアトリエを訪れた》

b. 《正子は、藤田が絵を描くのに使用したアトリエを訪れた》

c. 《正子は、藤田がそこに絵を描いたアトリエを訪れた》

(53)：並行的解釈は３通り可能。交差的解釈は不可能。

(55) a. 《花子は、藤田がモデルとして描いたアトリエを訪れた。正子も、藤田がモデルとして描いたアトリエを訪れた》

(56) a. 《花子は、藤田がモデルとして描いたアトリエを訪れた。正子も、藤田が絵を描くのに使用したアトリエを訪れた》

のような交差的解釈はできない。

→ (50)は曖昧であって不明瞭ではないと示唆。ということが示唆される。

不明瞭と考えられる場合：

「義姉」は《兄の嫁》《配偶者の姉》《父と前妻との間にできた、自分より年上の娘》（不明瞭）

(57) 花子は義姉と同居している。

(58) a. 《花子は兄の妻と同居している》(R1)

b. 《花子は夫の姉と同居している》(R2)

(59) 花子は義姉と同居している。正子もそうだ[/そうしている]。（ 変項読みを想定）

(60) 花子は義姉と同居している。正子も義姉と同居している。

(60)：並行的解釈も交差的解釈も可能。

(62) a. 《花子は兄の妻と同居している。正子も兄の妻と同居している》

b. 《花子は夫の姉と同居している。正子も夫の姉と同居している》

1. a.

b.

(63) a. 《花子は兄の妻と同居している。正子も夫の姉と同居している》

b. 《花子は夫の姉と同居している。正子も兄の妻と同居している》

1. a.

b.

(59)：並行的解釈も交差的解釈も可能。

→《兄の妻と同居している》と《夫の姉と同居している》の区別は不明瞭性の問題

通説のまとめ：

(64) S2に登場するdo soや「…もそうだ」という表現は、S1の述語の言語的意味の同一性を要求するのであって、言語的意味を超えたレベルの語用論的解釈の同一性までは要求しない。

(65)′ 2文目の述語部にdo so「…もそうだ」を使った文において、R1—R2のような交差的解釈が可能ならS1はR1とR2に関して不明瞭。不可能なら曖昧。

#### 6.4.2　do soテストの通説に対する反例

曖昧なら交差的解釈が不可能というのはよくても、

交差的解釈不可能なら曖昧ということに対する反例多数。

(67) 花子は太郎の車に乗ったことがある。

「太郎の車」： (66) 《太郎が所有している車／太郎が運転している車／太郎がデザインした車／…》（不明瞭性）

1. 《太郎と関係Rを有する車》

(68) a. 《花子は太郎が運転している車に乗ったことがある》(R1)

b. 《花子は太郎がデザインした車に乗ったことがある》(R2)

1. a.

b.

(69) 花子は太郎の車に乗ったことがある。正子もそうだった。

並行的解釈は可能

(70) a. 《花子は太郎が運転している車に乗ったことがある。正子も太郎が運転している車に乗ったことがある。》

b. 《花子は太郎がデザインした車に乗ったことがある。正子も太郎がデザインした車に乗ったことがある。》

1. a.

b.

交差的解釈は不可能

(71) a. 《花子は太郎が運転している車に乗ったことがある。正子も太郎がデザインした車に乗ったことがある》

b. 《花子は太郎がデザインした車に乗ったことがある。正子も太郎が運転している車に乗ったことがある》

1. a.

b.

do soテストの通説に従うと、交差的解釈が不可能なら2つの読みは意味論レベルで曖昧。しかし、「太郎の車」が曖昧とは考えられない。英語のdo soも同様。

1. John bought Susan’s book and so did Bill.

《スーザンが書いた本》《スーザンについて書かれた本》の交差的解釈は不可能。

→do soテストは日本語版も英語版もテストとして妥当ではない。

問題　(64) do soテストの背後にある仮説：do soが受けるのは、前の文の述語部の言語的意味。→前の文の述語部と語用論的解釈は違ってもよい。

do soが受けるのは前の文の述語部の言語的意味ではない。

むしろdo soは前の文の述語部の明意を受ける。

#### 6.4.3　do soテストと明意

(77) 明意の同一性条件　第1文(S1)と第2文(S2)が連結しているとき、S2はS1の主語を置き換え、S1の述語部をdo so表現（もしくは「…もそうだ」表現）で置き換えられて得られた文であるとする。[S1, S2]の連結文が具体的なコンテクストのなかで用いられた時、S2におけるdo so表現（もしくは「…もそうだ」表現）は、S1の発話が表わす明意の述語部分を受けるのである。

(67)の「太郎の車」の明意：《花子は太郎が運転している車に乗ったことがある》

(69)：明意の同一性条件から、後ろの「そうだった」は下線部を受ける。→(70a)

(71a)明意が同一でないのでダメ。

言語的意味を受けるのであれば、Rに別の関係を埋めれば(71)aの解釈も可能な筈。

1. 《花子は太郎と関係Rを有する車に乗ったことがある。正子も太郎と関係Rを有する車に乗ったことがある。》

実際はそうはならないので、「そうだ」が受けるのは言語的意味ではなく明意。

(78) 新入社員の田中は飲むよ。

1. 《新入社員の田中は酒を多く飲むよ》
2. 《新入社員の田中はガソリンを飲むよ》

(79) 新入社員の田中は飲むよ。新入社員の佐々木もそうだよ。

並行的解釈は可能だが、交差的解釈は不可能。

(80)a. 《新入社員の田中は酒を多く飲むよ。新入社員の佐々木も酒を多く飲むよ》

b. 《新入社員の田中は酒を多く飲むよ。新入社員の佐々木も水を多く飲むよ》

「そうだ」が言語的意味を受けるとしては、説明できない。

「もそうだよ」は１文目の「飲む」の言語的意味を受けるのではなくて、明意の《酒を多く飲む》を受ける。

明意：話し手が言語表現を使って明示的に伝えようとしていることで、コンテクストによって変わり得る。

(81) John cut his arm with a knife.

cut his arm with a knife：

R1 《自分の腕をうっかりナイフで切った》

R2 《自分の腕を意図的にナイフで切った》

両方の読みが可能。曖昧？不明瞭？

(82) John cut his arm with a knife, and so did Bill.

レイコフ (1970)によると、並行的解釈は可能だが、交差的解釈は不可能。

(83) a. 《ジョンが自分の腕をうっかりナイフで切った。ビルも自分の腕をうっかりナイフで切った。》

(84) a. 《ジョンが自分の腕をうっかりナイフで切った。ビルも自分の腕を意図的にナイフで切った》

（当時は明意の概念はなく、do soは言語的意味を受けると考えられていたので）

→R1とR2で曖昧。

明意と、明意の同一性条件の観点から議論を再検討。

１．状況　世界そのもの

２．解釈（語用論）　言葉を使って伝えようとすること

３．言語的意味（意味論）　表現にコード化されている意味

４．表現　bankなどの音・文字列

解釈と状況を区別。明意は、発話が描写した状況そのものではない。

(81)の明意の中に「意図的」「非意図的」という要素は必須ではない。

例：お道具箱の中に文房具をいろいろ詰めて小学生に配るという支援事業。お道具箱の中に小さなナイフ（肥後守）を入れることの是非。うっかり腕を切るかもしれないし、精神的に危機的な生徒がわざと腕を切ることもあるかもしれない。ナイフで腕を切った人が複数いたらナイフを道具箱に入れるのはやめよう。

1. きみたちのなかで、意図的であれ、非意図的であれ、自分の腕をナイフで切った者はいますか。もしいたら、手を挙げて下さい。意図的に切った人は右手、非意図的に切った人は左手を上げて下さい。

ジョンは右手、ビルが左手を挙げた。

客観的な状況：ジョンは意図的、ビルは非意図的なので、状況としては交差的。

話し手・聞き手：ナイフで腕を切った生徒が複数いるかどうかだけが関心事。

→表意には「意図的」「非意図的」は入っていない。

発話の交差的解釈とは言えない。《自分の腕をナイフで切った》だけをso didは受けていて、表意の同一性条件は守られていると考えられる。

言語的意味として曖昧かどうかを調べるのにはdo soテストは使えない。

(86) John went to the park, and so did Mary.

普通：公園に行く方法について交差的状況でも、明意に入らないから(86)は真。

交通手段が発話の明意に効いてくるコンテクスト（例　公園まで歩いていければリハビリ終了）： 2人の友人が医者から良いニュースがあるという前置きで(86)。

(88) 《ジョンは公園へ歩いて行った。そしてメアリも同じ公園へ歩いて行った》

交差的解釈は排除される。

(48) John kicked Bill, and so did Tom.

特殊なコンテクスト：ビルはある特殊な格闘技の達人で、その格闘技は左足で蹴るとポイントが付くが、右足で蹴ってもポイントが付かない。ビルはこれまで左足で蹴られたことはない。

(48)の前半：《ジョンはビルを左足で蹴った》

後半：《トムもビルを左足で蹴った》

→交差的解釈はできない。

(48)について交差的解釈と言われていたもの： S1もS2もどちらの足で蹴ったのかを問題にしていない解釈。その場合には交差的状況を含んでいる。

不明瞭性は表意の多様性に由来する。（梶浦 2013: 479）

(42) John went to the bank, and so did Tom.

明意を得るために曖昧性除去が必要。曖昧な表現の交差的解釈が排除されるのは当然。どちらかに決めた結果が明意に入るので、明意の同一性条件で説明できる。

まとめ： do soテストは意味論において重要な役割を果たしていたが、問題がある。問題点を浮き彫りにできたのは、文の意味から区別された発話の明意という語用論的概念があったから。語用論が意味論研究に寄与。

#### 6.4.4　「良い」の曖昧性と明意（梶浦 2013）

(90) この椅子は良い。

(91) 《この椅子は座るという本来の機能を良く果たす》

「良い」と「椅子」の関係は意味論的に完結。

(92) 《この椅子は、φという観点からすると良い》

変項があるので、飽和という語用論的操作によって埋める必要。「ちょうどよい」「ぴったりだ」で置き換えられる。

(94) この椅子は良い。あのベッドもそうだ。

(95) 《この椅子はバリケードとして良い。あのベッドもバリケードとして良い》

厳密な同一性読み：曖昧性除去として (92)を選んで、φに「バリケードを作る」を入れる。

→《この椅子はバリケードとして良い》。述語部の表意と同一のものを2文目に。

ゆるやかな同一性読み：

(96) 《この椅子は、座るという本来の機能を果たすという点で良い。あのベッドも寝るという本来の機能を果たすという点で良い》

1. この読みは実際に可能だが、表意の同一性条件とどのように折り合いを付けられるのか？

(92)の論理形式を使うとすると、ゆるやかな同一性読み。は得られない。

1. 《このベッドは、座るという本来の機能を果たすという点で良い》

になってしまう。

(91)：厳密には(97)。φが束縛変項。「椅子」の意味によって決まっている。

(97) 《この椅子[本来の機能：座る]*i*は、φ*i*としてよい》

「椅子」と「良い」の間の意味関係には語用論が侵入する余地はない。

(98) 《この椅子[本来の機能：座る]*i*は、φ*i*としてよい。

あのベッド[本来の機能：寝る]*j*も、φ*j*としてよい》≒ (96)

※iとjが違うのは、結果として別の値が埋まるということを区別しているだけ。

束縛関係は明意《φ*x*としてよい》でそのまま保持され、同一性条件を遵守。

変項を想定しないで、全てアドホック概念で説明する試み（Falkum 2007）：

構築されたアドホック概念は表意の一部。

→「もそうだ」は、前と同一のアドホック概念を受けなければならない。

(94)の解釈：

(111) a. 《この椅子は良い\*。あのベッドも良い\*》 良い\*≒座るのに良い

b. 《この椅子は座るのに良い。あのベッドも座るのに良い》

は可能。

《良い\*》≒《座るのに良い》と《寝るのに良い》≒《良い\*\*》は別。

→ (96)は明意同一性条件に違反して得られない。

※良い\*n＝《本来の機能α*i*をよく果たすという点で良い》 ではダメ？

（アドホック概念構築で変項を足してはいけない？）

**[独自研究]**読みの可能性の制約は単にアクセスしやすさ（従って関連性原理）から来ていると考えられないか？ 座る椅子とバリケードになるものを探している状況なら、自由変項に別の値を入れる解釈も可能？

1. （武器になるものと盾になるものを探している状況）この棒はいい。あの鍋蓋もそうだ。

**[/独自研究]**

梶浦 2013：変項の無い論理形式もある。

1. 《この椅子は立派だ／高級だ》[上質読み]

高級でも必ずしも座りやすいとは限らないので区別する必要がある。

1. 《この椅子は上質だ、あのベッドは上質だ。》
2. ?《この椅子は上質だ、あのベッドは踏み台に適している。》

明意の同一性条件という語用論的知見を活かして(90)の文の意味論の理解が深化。

1. 「悪い」の場合も同様？

(102) 太郎が妹をぶった。三郎もそうだ。

1. 《太郎も三郎も話題となっている人、（たとえば）正夫の妹をぶった》

「太郎が妹をぶった」の論理形式として以下を仮定すれば説明できる。

(101) a. 《太郎がαの妹をぶった》[α：自由変項]

違う人をぶった解釈も不可能ではないが、唯一可能なのは以下だけ。

1. 《太郎が太郎の妹を、三郎は三郎の妹をぶった》
2. なぜ、この解釈だけが違う人をぶった解釈で唯一可能なのか？

(101) b. 《太郎*i*がα*i*の妹をぶった》[α*i*：束縛変項（＝自分）]

という論理形式もあると考えれば説明できる。

こちらが選ばれた場合、αは自動的にその文の主語の指示対象で埋められる。

**明意の同一性条件の反例？**

1. （太郎も次郎も奢ってくれるという噂。どちらも江戸っ子で、江戸っ子は普通気前がいいと思われているとする。）太郎は江戸っ子（≒気前のよい江戸っ子）だからありそうな話だけど、?次郎はそうじゃない（≒気前のよい江戸っ子じゃない）から信じがたいね。

山泉(2018)に従って江戸っ子\*＝気前のよい江戸っ子というアドホック概念が構築されていれば、「そう」は表意の同一性条件に従うと江戸っ子\*のはずで、それなら容認できるはずだが、容認度が低い。

###### 参考文献

梶浦 恭平. 2013. 「「よい」の曖昧性とアドホック概念構築」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 471–495. ひつじ書房.

山泉 実. 2018. 「佐藤信夫の「逆隠喩」をめぐって：関連性理論の語彙語用論の観点から」, 『語用論研究』19: 1–21, 日本語用論学会.

第14回

### 6.5　語用論はどこまで意味論から自由であるか（峯島 2013）

この章の今まで：語用論を参考にした意味論の議論（論理形式）

以下：意味論を参考にした語用論の議論

#### 6.5.1　明意構築に働く四つの語用論的操作

(113) a. 曖昧性除去 b. 飽和 c. アドホック概念構築 d. 自由補強

二つの観点から分類できる(120)

※この分類はあまり確立したものとは言い難い。4つ分けている研究でも、アドホック概念構築か自由補強かで意見が分かれる部分もある（峯島 2013: 註5）。

※飽和を2種類（指示対象付与と埋めなければいけない変項を埋めるプロセス）に分けるべきと西山・峯島は考えている。

**曖昧性除去**

(114) 良寛さんが好きな子供たちがやってきた。

① 《良寛さんガ好いている子供たちがやってきた》

② 《良寛さんヲ好いている子供たちがやってきた》

①

②

言語的制約：義務的。曖昧性除去が必要な表現（同音異義語・多義語、構造的ホモニム）は言語のコードで決まっている。選べる解釈の幅はコード化されている候補に限られている。

###### 語用論的プロセスへの言語的制約

(118) a. 義務的。

やらなければ発話が完全な命題にならない。

b. 解釈の候補は、(i) 言語体系によって与えられる（例(114)）、もしくは、(ii) 論理形式（言語的意味表示）に現れるコード化された概念と結びついた言語的・百科全書的知識によって与えられる。

**飽和：**変項を埋める操作(115)と指示対象付与(116)

※変項名詞句の値を埋めるのは何故か飽和とはみなされない。

(115) a. この論文は長すぎる。[xにとって長すぎる]

b. 太郎の本を読んだ。[太郎と関係xにある本]

c. 作者はまだ学生だ。[xの作者]

(116) a. 昨日、太郎が彼女をぶった。b. 《昨日*x*、太郎*y*が彼女*z*をぶった》

1. a.

b.

言語的制約：義務的。飽和の必要な表現（項をとる表現、非飽和名詞、代名詞・固有名詞）

解釈の幅に言語的制約があるか？： (120)…ない。しかし、非飽和名詞のパラメータの意味的制約、「彼」…1人の男という制約。

**アドホック概念構築**

語彙概念をコンテクストに応じて調整し、適切な概念に置き換える語用論的操作。

(117) a′. 山田代議士は鈴木大臣の右腕\*だ。田中府議は鈴木大臣の左腕\*だ。

b. こんな大学は大学\*ではないよ。

義務的ではない。やらなくても命題は得られる。

（概念は言語で使われるたびにアドホックに作られるという立場では当然義務的）

解釈の幅は、元の語彙概念についての言語的・百科全書的な知識が制約。

**自由補強（自由拡充）：**論理形式に[ ]を足して明意の一部にしている。

1. John hit Mary and [then because of this] she left.

(119) a. 学生が皆いなくなった。

→《[さっきまでこの教室にいた]学生が皆いなくなった》

b. 雨が降ってきた。→《雨が[ウィンブルドンで]降ってきた》

c. 私は昼食を済ませました。

→《[30分ほど前]私は昼食を[会社の食堂で]済ませました》

言語的制約：義務的ではない。

（※武内 2015: 7ではIt’s rainingの場所を埋めるのは飽和）

解釈の幅の制約…表意において何を補うべきかは論理形式からは予測不可能。言語的制約はない。

→自由補強は言語的制約から自由な純粋に語用論的なプロセス。

**自由補強とアドホック概念構築との区別**（峯島 2013）

アドホック概念構築：命題の構成要素である概念のレベル。一般性を持つ概念の範囲内で適切な解釈が選択され、特定の対象への言及を含まない一般的な概念でなければならない。

1. 太郎は[川端善明がこれまでに書いた]全ての本を読んだ。
2. やっと[我々が乗る]バスが来た。
3. 太郎は[今日]朝食を食べていない。

自由補強：そういう制約はない。論理形式に新たに加えられる概念は、特定の対象（人・場所・時点）への指示を伴うものでもよい。

まとめ： (120)

自由補強は、関連性原理による制約を受けるだけ、つまり、最適の関連性の期待を満たすように、関連性が高まるように何でも勝手に付け足すようなもの？

——叙述名詞句には適用できない（詳細は後述）。

###### 自由拡充への最小の言語的制約（Minimal Linguistic Constraing）（峯島2013）

自由拡充に限らず、論理形式から明意を導出するときには、出力となる表意は、その**部分として**論理形式を含まなければいけない。

→付け足すことはできても削除はできない。

→「論理形式に含まれる要素の意味論的タイプを保存しなければならない」という制約。たとえば、個体概念を勝手に類概念にしたりすることはできない。

1. 太郎、次郎、三郎、四郎、五郎はバカだ。

→《全ての男はバカだ》（もし伝わるとしたら表意ではなく推意として）

同様に、1項述語（本(x)）を2項述語（著作(x, y)）にするようなことも不可能。

cf. 語用論的な考慮：得られる命題は関連性がなければいけないから、普通は真とみなせて、聞き手の関心を引きつけるもの。

#### 6.5.2　措定コピュラ文と叙述名詞句

**措定文「AはBだ」**

(121) a. 太郎は画家だ。 b. 花子は天才だ。 c. あの人はこの村の村長だ。

定義：Aは指示的名詞句、Bは属性を表す叙述名詞句で、非指示的である。Aの指示対象について属性Bを帰す。Bは主語Aに帰される性質概念として機能している。

意味構造の例は(122)。

**倒置指定文「AはBだ」**

(124) a. 犯人はあの男だ。

Aは変項名詞句（NP involving a variable）[…x…]であり命題関数を表わす。Bは変項xを満たす値を表す。倒置しないのが指定文「BがAだ」

(126) あの男が犯人だ。

#### 6.5.3　叙述名詞句と自由補強

**叙述名詞句は自由補強できない**

叙述名詞句でないから自由補強できる例

(128) a. 画家がいなくなった。 b. 《[この村に住んでいる]画家がいなくなった》

1. a.

b.

変項名詞句の自由補強

（場面：新宿駅西口で銀行強盗が逮捕され、新宿警察署に連行された。）

(142) おい、見ろ！　あの男ガ銀行強盗だ。

(143) 《あの男ガ[昨日、新宿駅西口で新宿警察署員によって逮捕された]銀行強盗だ》



もう一人の人を指差して、

1. こいつもそうだ。cf. 明意の同一性条件。
2. 《こいつも昨日新宿駅西口で新宿警察署員によって逮捕された銀行強盗だ》
3. Ok?《こいつも[別の事件の]銀行強盗だ》

→補強された部分は表意に含まれていると考えられる。

村の村長が住人について話しているときに

(129) a. 太郎は画家だ。―×→ b. 《太郎は[この村に住んでいる]画家だ》

AとBが千里中央行きのバスを待っているときに、Aは千里中央行きのバスが来たと思って

1. A: バスが来た。―○→《[千里中央行きの]バスが来た》

「バス」が指示的名詞句なので自由補強可能。一方、よく見たら茨木行きのバスだったときに、

B: #あれはバスではない。《あれは[千里中央行きの]バスではない》

[ ]を入れなければ偽の命題で関連性がないし、 [ ]を入れれば真の命題になって、十分な関連性があるのに自由補強ができない。

酒場で何人かの画家がテーブルを囲んでビールを飲んでいるところを観察。

(130) a. 画家がみな笑い出した。

―○→ b. 《[あのテーブルでビールを飲んでいる]画家がみな笑い出した》

自由補強をしないで画家を限定しないと、世界中の画家ということになるので偽。ワインを飲んでいる画家を探しているときに、ビールを飲んでいる画家たちを見つけた場合、

(131) a. あそこにいる人々は画家ではない。

―×→b. 《あそこにいる人々は、[ワインを飲んでいる]画家ではない》（真）

1. a.

―×→b.

(131)は[　]を自由補強で足せば真になって関連性が高まるのに偽としか思えない。

→自由補強できない。

自由補強は純粋に語用論的な操作なのに、叙述名詞句という意味論的なカテゴリーに属しているという理由で適用が阻止されるから理論的意義が大きい。

###### (132)　自由補強に対する意味論的制約仮説

a. 叙述名詞句を解釈する際、自由補強は阻止される。

b. 叙述名詞句以外の名詞句（指示的名詞句や変項名詞句）を解釈する際、自由補強は適用可能である。

c. 自由補強以外の操作（曖昧性除去、飽和、アドホック概念構築）は、叙述名詞句にも適用可能である。

叙述名詞句も曖昧性除去・飽和・アドホック概念構築はできる。

(133) a. あれは小さな女の子の学校だ。（曖昧性除去）

b. 豊臣家は敵ではない。《豊臣家は[徳川家の]敵ではない》（飽和）

c. これは良い辞書だ。[枕にするのに良い辞書]（自由変項の飽和）

d′. ぼくは今週、妻が旅行で出かけているから独身\*だ。[妻に束縛されないで自由]

（アドホック概念構築）

#### 6.5.4　予想される反論と応答

反論１：村長が来客に、その村に住んでいる芸術家たちを紹介しているときに

(134) この方は画家です。

(135) 《この方は[この村に住んでいる]画家です》

と理解する。[　]が自由補強で得られたものなら、仮説の反例。

応答：[　]は自由補強で拡充された明意の一部ではない。

明意であれば、真理条件に貢献する筈。では、もしこの方が画家だけれども実は最近引っ越したばかりだとわかっても、(134)は真とみなし得る。だから[ ]は明意には入っていない。(135)はコンテクスト的含意。

(136) a. この方はこの村に住んでいる人です。（コンテクストから）

b. この方は画家です。（明意）

c. ∴ この方はこの村に住んでいる画家です。

明意ではないから自由補強で得られたものではない。

(137) a. 来客：あの方は画家ですか。

b. 村長：あの方は画家ではありません。

(137b)の明意は(138a)ではなくて(138b)

(138)a. 《あの方は［この村に住んでいる］画家ではありません》

b. 《あの方はこの村に住んでいるが、画家ではありません》

というのは、一般に、

1. あいつは、頭の良い男ではない。→　あいつは頭の悪い男だ。
2. これは、有毒の山菜ではない。　→　これは、無毒の山菜だ。

　のごとく、矢印の左から右への推論が誘導されるのと同様、

1. あの方は、この村に住んでいる画家ではありません。　→　あの方は、この村に住んでいない画家です。（以上３つ、西山佑司, p.c.）

のような推論が誘導されやすいが、この場合、「あの方は、この村に住んでいない画家です。」という推論は誘導されないので、表意は(138)aではなくbだろう。

反論２：

太郎はまだ結婚していなくて、のちに妻となった女性は当時小学生だった東京オリンピック当時のことを話題にしているコンテクストで

(139) 太郎の妻は小学生だった。

(140) 《太郎の妻は、[東京オリンピック当時は]小学生だった》

[東京オリンピック当時は]が叙述名詞句「小学生」を拡充しているのであれば、仮説の反例。

応答：叙述名詞句「小学生」を拡充しているのではなく、「小学生だった」を拡充している。 [東京オリンピック当時は]は「小学生」の表わす属性概念が主語名詞句「太郎の妻」の指示対象に帰される過程でその時間を限定している。

(141) 《東京オリンピック当時は、太郎の妻は小学生だった》

このように明意を表示してもよい。名詞句への限定ならこれはできないはず。

1. 太郎は“天才”だ。《太郎は[花子の考えだけでは]“天才”だ。》

[ ]の部分は特定の対象への言及があるからアドホック概念構築ではないはずで、自由補強？—— (139)と同じ。「天才」ではなく「天才だ」の部分の自由拡充（峯島宏次, p.c.）。

1. 花子の考えでは、太郎は天才だ。

#### 6.5.5　対象志向的な概念と自由補強

1. なぜ叙述名詞句は自由補強できないのか？

——叙述名詞句は対象志向的な概念ではないから。

**対象志向的な概念**

指示的名詞句は典型的な対象志向的な概念を表わす言語表現。

1. 画家はどこだ。

話し手が話題にしようとしている対象を選び出す機能。

言語表現の意味は当然手がかりとなるが、それで必要十分な情報が与えられている必要はない。

不完全な情報を元に意図した対象を選び出せたときには、聞き手は意図した対象を選び出すのに十分なだけの情報を明意に付け足している。

自由補強とは、対象を選び出すために与えられた概念をより特定化して選び出せるように概念を付加する語用論的操作。必ず概念を狭めるもの。

（アドホック概念構築は狭めるものも緩めるものもある）

1. Holland is flat.

変項名詞句：対象志向的な概念。変項の値の充足を通して世界と関わる。変項が埋まったら世界の中の対象に対応。

叙述名詞句：対象志向的な概念ではない。他の対象志向的な概念を表わす名詞句の指示対象に帰される属性、性質概念を表わす。

(145) 太郎は画家だ。

対象を選び出すために不十分な言語的情報を補強するということは不必要。

叙述名詞句がどのような概念を表しているのかを決定するだけでよい。その際には、叙述名詞句をコード解読して、必要なら、曖昧性除去、飽和、アドホック概念構築。

1. 太郎はめいだいせいだ。（名古屋大生？ 明治大学生？）
2. 太郎は弟だ。（誰の？）
3. 太郎は怪物\*だ。

→叙述名詞句に自由補強は働かない。自由補強を駆動するのは、命題の意味構造のなかで規定される、対象指向性という機能を有する概念。

聞き手は、論理形式上に対象指向性という機能をもつ概念（指示的名詞句や変項名詞句が表わす概念）を見つけて、その概念だけでは話し手が意図した対象を特定するのに不十分な場合、そこに概念を付け足していく。

対象志向的な概念の対象は個体だけではなく、動詞句が表わす出来事や状態も含む。対象志向的な概念を表わす名詞句と同様に出来事や状態をitやthatなどの代名詞で照応できる。動詞句が表現する概念も自由補強できる。

1. Mary gave John a pen and [then] he wrote down her address [with the pen Mary gave him]. （西山・峯島 2006: 42によるCarston 2002の例の分析）
2. Sam left Jane and [as a result] she became very depressed. （同上）

動詞句が指定する出来事の範囲を限定。

量化の範囲を限定するという機能も対象志向的。

「すべての」という量化表現を伴う場合、指示的ではないと考えられることがあるが、「すべての本」の場合、「本」が表わす概念が量化される対象の範囲を限定するという機能を持つ。「それら」など代名詞で照応もできる。

**まとめ**

(147) a. 自由補強は、対象志向的な概念に対してのみ適用可能。

b. 自由補強は、概念を狭めるプロセスである。

c. 自由補強は、属性概念には適用できない。

(148) a. 指示的名詞句：聞き手に話し手が意図した対象を選び出させるという機能をもつ対象志向的な概念を表わす。話し手が用いている言語表現は、聞き手が指示対象を選び出すための手がかりでしかない。

b. 変項名詞句：非指示的名詞句であるが、変項の値の充足を通して世界と関わり、対象志向的な概念を表わす。

c. 叙述名詞句：主語名詞句の指示対象に帰される性質概念を表し、対象志向的な概念を表さない。聞き手は、叙述名詞句がいかなる概念を表しているかを言語的コントロールのもとに決定する必要がある。

指標主義：自由補強の存在そのものを否定して、論理形式から明意を得るための語用論的プロセスは曖昧性除去と飽和だけと主張する立場。

文脈主義：自由補強を認める立場。関連性理論や教科書。

**[独自研究]　西山・峯島説はそもそも現象の観察レベルで維持できない。**

**１．叙述名詞句以外の述語名詞句は自由拡充できるか？―できない。**

1. （状況：渋谷行きのバスを待ち、４分経った。その間に来たのは、新宿行きのバスと渋谷行きのバスだけ…）4分以内に来たのはバスだけではなかった。…偽

✕ 4分以内に来たのは[渋谷行きの]バスだけではなかった。

↑発話を真にするのに自由拡充ができない。

※述語名詞句＋「だけ」：倒置指定文というタイプの名詞述語文。

→「バス」は叙述名詞句ではなく指示的名詞句（西山 2007: 12）

1. （渋谷行きのバスを２人で待っている状況でバス２台来た）

A:（一方のバスを指して）バスが来た。

B:（別のバスを指して）バスが来た。私のだけがバスだ。（変項名詞句）…偽

✕ 私のだけが[渋谷行きの]バスだ。←発話を真にする自由拡充ができない。

単に発話の焦点は復元不可能だから自由補強できないだけ？ （Hall 2008）

**２．述語でない名詞句への“自由拡充”は可能？―原理的に不可能**

1. （太郎は一匹の猫を飼っている）
2. 太郎（→花子）：猫がどこかへ行ってしまった。(峯島 2013: 538-540)

b. 花子の理解：[太郎が飼っている]猫がどこかへ行ってしまった。

「花子はコンテクストを参照して、太郎が「猫」という表現で意図しているのは太郎が飼っている猫のことなのだと理解し、[太郎が飼っている]という要素を[…]補う必要がある。」…本当？

「聞き手である花子は、「猫」という指示表現を処理するさい、それがコード化している概念を読み取るだけでなく、太郎の指示意図を特定するのに十分な情報を提供するような概念を補う必要がある。」（峯島 2013: 539、タイポ訂正）←必要ない！

主張：**名詞句にコード化された情報だけでは指示が決定不十分なとき、決定十分な概念は表意として伝達されない。**そう考える理由は2つ…

理由１　解釈の論理的順序の問題：意図された指示対象がどれか・どのようなものかがわかっていないと何を付け足すかが決定不可能。意図された指示対象が特定された後には、概念を付け足す必要はもはや無い。たとえ何か付け足す必要があったとしても…

理由２：自由拡充で何が補われるかが決定できない。

その猫についての花子の知識：太郎が飼っている、よく玄関で寝ている、ばななという名前だ、etc.…**どれが[ ]に入る？**

注意：当該の猫の確定記述になれば何でもよいわけではない。

　自由拡充は表意構築プロセスの1つ。→ [ ]の内容は表意の一部。

　[ ]を含む表意は話し手が明示的伝達を意図したもの。

西山・峯島も同意：「太郎が[[38]a]を用いて[[38]b]の命題を花子に伝えようと意図する時、そこには当然、〈この「猫」という表現を用いて太郎が指示しようとしている対象は太郎が飼っている猫のことなのだ〉ということを花子に伝えようとする意図が関与している。」（峯島 2013: 538）

**しかし、そのようなものとしての[ ]の内容は決定できない。**[/独自研究]

#### 6.5.6　言語的（意味）決定不十分性のテーゼについて

(149) 言語的（意味）決定不充分性のテーゼ：言語的にコード化された文の意味は、発話の表出命題を十分に決定するものではない。

自由補強についての制約はこのテーゼに一つ但し書きを付け加えることになる。

(150) ……自然言語の表現は、それを用いて指示しうる対象を唯一的に決定しないだけでなく、それを用いて対象に述語付けられる属性や関係をも本来的に十分に決定しないと考えられる。

叙述名詞句に関しては、自由補強はできないという点では、表わす属性が言語的に決定されている。

### 6.6　意味の科学へ向けて

**教科書の立場**

**意味論研究にとって語用論が重要：**

言語的意味の中身は、発話の明意を考慮することで明確になる。つまり、語用論を仮定することで、はじめて文の意味表示がどういうものか詳しくわかってくる。（例　ウナギ文、do soの受けるもの、「良い」の曖昧性）

可能な「明意を可能にする文の論理形式としていかなる表示を仮定すべきか」という観点から考えて論理形式が明らかになった。

**語用論研究にとって意味論が重要：**

例　自由補強という語用論的プロセスへの意味論的制約。

**教科書と対立する立場**

(151) a. 意味論と語用論の区別はもともとはっきりしない。

b. 言語表現の意味をコンテクストにおけるその表現の具体的な使用から独立のものとして規定しようとする試みはナンセンスである。

c. ことばの具体的な使用から切り離したレベルでの言語表現自体の意味なるものは存在しない。

のように考える立場。

**教科書の立場から自由補強への制約を考える**

意味理論：言語能力を説明するモデルで文法の一部だから、言語能力モジュール。語用論の理論：発話解釈能力を説明するモデル。他人の心を読む能力のモジュールである心の理論モジュールのサブモジュール。

**発話解釈の仕方と他の行動の意図を読む方法との違い**

・伝達的関連性の原理は意図明示的刺激に特化。

意図明示的刺激以外の理解の場合：

1. 人が2人いる。1人が深い穴に体を突っ込んでいる。その人の足をもう一人が引っ張っている。（カーストン 2002/2008：1.4.1から）

何やってると思う？

1. 穴に体を突っ込んでいるのと足を引っ張っている。
2. 穴に落ちた何かを探していて、もう一人はその人が穴に落ちないようにしている。（普通は意図で答える）

推測した意図を2人に帰属させることがこの行動を理解するということ。

この人達にとって望ましい結末を見ることで、その意図を把握できる。つまり、望ましい結末に到達すると、観察者は意図を把握できる。

発話など意図明示的刺激の場合：自分に発話が向けられた。発話者は何を意図しているのか？ 何が発話者にとって望ましい結末か？——聞き手が発話者の意味を把握するのが望ましい結末であり、それが発話の意図。

↑ある人にとっての望ましい結末が何かわかってから、その人の意図を把握するという推論パターンが使えない。

→他のストラテジー（関連性理論による解釈の手順）があるはず。頭の働きとしてはサブモジュール。

別モジュールの研究は、それぞれ独自の原理と規則によって支えられているはず。モジュールをそれぞれ解明していく。モジュール同士の相互関係も考える必要。自由補強の制約はそれについての一つ知見。

**「ことばの意味とはなんだろう」？**

・言語的意味、明意、暗意という風に分けることが必要。

・言語的意味は明意・暗意を説明するのにも必要。

・言語的意味は経験的仮説で、正しいかどうかは妥当な意味理論が判定。

・妥当な意味理論は、語用論、統語論、音韻論の理論との関係で、妥当な言語理論全体のなかで経験的に決まる。

→言葉の意味とは何かは妥当な言語理論が教えてくれる。

###### 参考文献

Hall, Arison. 2008. Free Enrichment or Hidden Indexicals? *Mind & Language,* Vol. 23 No. 4*,* pp. 426*–*456*.*

武内道子. 2015. 『手続き的意味論』ひつじ書房.

西山佑司 (2007). 「名詞句の意味機能について」『日本語文法』7(2): 5-19.

峯島宏次. 2013. 「自由拡充をどのように制約するか」西山佑司編『名詞句の世界』pp. 513–557. ひつじ書房.

~~次回：レポートのドラフトを~~**~~２部~~**~~持参。緑のペンも持参。~~

ピア・レビューのやり方

１．原稿を交換し、一度読む。

* いいと思うところをチェックする。
* 書き手の主張やその根拠などを理解する。

２．コメントを書き込む。✕「上手です」だけ。✕「初級の漢字も書けないのか！」

* 文章全体に関して次の点をチェック。問題があったら書いておく。
* 課題に従っているか？
* 文章全体の構成に足りない要素はないか？
* 要素の順番は適切か？
* 段落の分け方は適切か？
* 段落と段落の関係はわかりやすいか？
* 段落の中の文と文のつながりは自然か？
* 文一つ一つをチェック。次の点に問題があったら下線を引いておく。
* 文法の間違い
* 書き方の間違い（漢字・かな、「、」や「。」など）
* 他の表現が良さそうなところ
* 文体（特に文末の「だ・である」と「です・ます」が混ざっていないか）
* 参考文献表に足りない情報、書き方の不統一はないか。
* よくわからないところ
* 内容に関して
* 根拠の無いことが書いていないか？
* 暗黙の前提におかしなものはないか？

★レビューした人は原稿に自分の名前を書いておく

３．次の点を話し合う。

* 読み手がいいと思うところ
* 読み手がもっと説明してほしいところ
* 読み手が直した方がいいと思うところ
* 書き手が相談したいことがあったら聞く

4．話し合いのやり方

* アドバイスをする時間なのでむやみに非難しない。✕「アホちゃうか！」
* わからないところがあったら積極的に質問し合う。○「なんでなーん？」